

消 防 年 報

平成 16 年度版

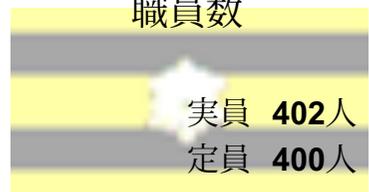
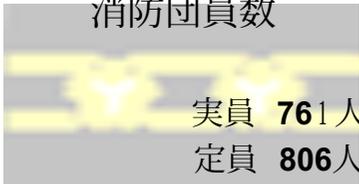
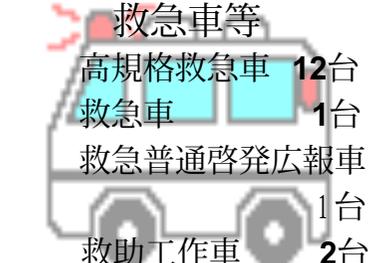
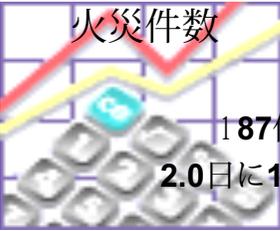
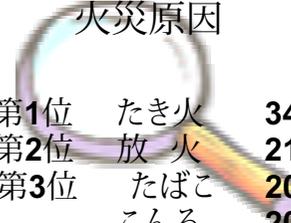
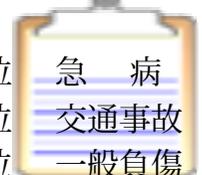


高 松 市 消 防 局

平成 17 年度刊行

総 括

一 目 統 計

<p>地 勢 高 松 市 (受託三町・含む)</p>	<p>面積  194,34km² (330,26km²)</p>	<p>人口密度  1,740人/km² (1,177人/km²)</p>	<p>人口  338,238人 (389,521人)</p>	<p>世帯数  141,969世帯 (159,498世帯)</p>
<p>消 防 予 算 署 所 ・ 人 事</p>	<p>消防予算  39億2000万円 消防費比率 3.80%</p>	<p>署 所  消防局1 消防署4 分署2 出張所6</p>	<p>職 員 数  実員 402人 定員 400人</p>	<p>消防団員数  実員 761人 定員 806人</p>
<p>消 防 車 両 消 防 水 利</p>	<p>ポンプ車等  ポンプ車 13台 タンク車 7台</p>	<p>特殊車両  化学自動車 1台 支援車 1台 梯子車 2台 先端屈折梯子車 1台 化学車 2台 電源照明車 1台 水槽車 1台</p>	<p>救急車等  高規格救急車 12台 救急車 1台 救急普通啓発広報車 1台 救助工作車 2台</p>	<p>消防水利  消火栓 5,680基 防火水槽 407基</p>
<p>火 災 救 急</p>	<p>火災件数  187件 2.0日に1件</p>	<p>火災原因  第1位 たき火 34件 第2位 放 火 21件 第3位 たばこ 20件 こんろ 20件</p>	<p>救急件数  15,824件 1日当たり43.4件</p>	<p>事故種別  第1位 急 病 54% 第2位 交通事故 17% 第3位 一般負傷 12%</p>
<p>予 防 自 主 防 災 組 織</p>	<p>防火対象物  第1種 4,622対象物 第2種 7,014対象物</p>	<p>危険物施設数  製造所 7施設 貯蔵所 863施設 取扱所 449施設</p>	<p>自主防火組織 高松地区 防火安全協会 548事業所 幼少年婦人防火クラブ 63クラブ 自主防災組織 組織数 407組織</p>	<p>*受託三町(綾上・綾南・国分寺)の業務内容に消防団・消防水利は含まれておりません。</p>

高松消防の沿革

- 明治 4年 高松市消防組ができた。
- 明治18年 消火に竜吐水が使用された。
- 明治23年 2月15日 高松に市制が敷かれた。
- 明治27年 2月 勅命により消防組規制が制定されたのに伴い、高松市消防組と改称し全市を五番組にわけ、一番組（東浜町ほか 11 町）、二番組（北古馬場町ほか 16 町）、三番組（天神前ほか 4 町）、四番組（南鍛冶屋町ほか 10 町）、五番組（西新通町ほか 4 町）とし、組頭に川口亀吉が選ばれた。
- 昭和30年 消防機械ポンプとして、手押しポンプ 5 台を購入、内町・西新通町・田町・築地町および鶴屋町に配置した。
- 大正 3年 5月 1日 香川郡宮脇村を合併し、同村消防組を市に加え六番組とした。
- 大正10年 1月 1日 香川郡東浜村を合併し、同村消防組を市に加え七番組とした。
- 11月 1日 香川郡栗林村を合併し、同村消防組を市に加え、五番組消防を 1 部（内町ほか 17 町）、2 部（西通町ほか 10 町）、3 部（南新町ほか 12 町）、4 部（築地町ほか 9 町）、5 部（鶴屋町ほか 12 町）、6 部（宮脇町ほか 3 町）、7 部（松島町ほか 4 町）、8 部（栗林町ほか 6 町）と、救護部（市内一円）に再編成した。
- 昭和 2年 初代組頭川口亀吉が退職し、2 代目組頭に井戸文四郎が選ばれ各部に頭部、小頭を置いて消防手 218 人とした。
- また、装備も順次機械化され、1・2・3・4 部に自動車ポンプを、5・6 部に腕用ポンプを、7・8 部にガソリンポンプを配置した。
- 昭和 7年 1 部屯所に運転手 2 名を常置し、夜間各部から当番員を勤務させ、出動体制の強化をはかった。これが常備消防の前身となった。
- 昭和 9年 3月13日 組頭井戸文四郎死去、3 代目組頭に 1 部の部頭池田伊三郎が選ばれた。
- 昭和11年 日本消防協会から全国優良消防組として表彰旗を授与された。
- 4月 1日 高松市消防組が半常備制に改められた。
- 昭和14年 1月 6日 高松市消防組出初式が、玉藻城内桜の馬場で行われた。
- 戦時下、防空防火の必要にせまられ、家庭防空組合がつくられた。
- 4月 1日 警防団令の公布により、高松市消防組を高松市警防団と改称、消防業務のほか防空救護の業務を附加し、市内学校区にしたがって 10 分団に再編成され 4 代目団長に富家政市が選ばれた。
- 昭和15年 2月11日 香川郡鷺田村・太田村・木田郡木太村・古高松村・屋島町の 1 町 4 ヶ村の合併により 10 分団を 15 分団とし、自動車ポンプ 5 台、小型自動車ポンプ 2 台、手挽ガソリンポンプ 1 台、サイドカー 2 台を配置した。
- 昭和17年 団長富家政市が退任、後任として 5 代目団長鈴木義伸が選ばれた。
- 昭和18年 1月 日本警防協会から全国優良警防団として表彰旗を授与された。
- 昭和19年 5月 戦争苛烈を極めるにおよび防空消防の実をあげるため、消防選任部員を任命し、警

- 防団消防部 1 部屯所に、9 名の常備消防部員を配属した。
- 昭和19年 7月 さらに防空消防の実をあげるため、市役所に防空業務担当の防空課を設け、初代課長に関信栄が任命され、常備消防を 15 人に増員、自動車ポンプ 2 台、サイドカー 1 台をもって市内警備にあたることとなった。
- 昭和20年 7月 4日 未明の大空襲により、市内の 80%を焼失し、罹災者 87, 000 人、罹災家屋 15,000 戸の被災を受けた。
- 昭和22年10月 1日 消防団令の公布により高松市警防団を高松市消防団と改称、従来の 15 分団を 10 分団、団員定数 1, 000 名として 6 代目団長に国東照太、副団長に池田伊三郎が就任した。
- 昭和23年 4月 昭和 23 年 3 月 7 日に施行された消防組織法により、11 分団に再編成、7 代目団長に池田伊三郎、副団長に筒井隆、中条義輝が就任した。
- 12月13日 消防本部、消防署を内町 47 番地に設置、庶務係、予防係、消防係の 3 係を置き、初代消防長関心栄以下 27 人で発足した。
- 昭和24年 5月 四国で初めて水槽付消防ポンプ自動車を購入配置するとともに、消防職員を 35 人に増員した。
- 昭和25年 水槽付消防ポンプ自動車をさらに 1 台購入配置するとともに、消防職員を 45 人に増員した。
- 昭和26年10月 1日 消防団長池田伊三郎が退団、8 代目消防団長に片山繁雄が就任した。
- 昭和27年 2月11日 (財)日本消防協会から、優良消防団として竿頭綬を授与された。
- 4月29日 高松市少年消防クラブが 16 校 419 人で結成された。
- 8月18日 隣接の牟礼村と消防に関する相互応援協定を締結した。
- 10月 1日 消防職員の定員を 85 人に改める。
- 昭和28年 3月 7日 国家消防本部から優良消防本部、消防団として竿頭綬を授与された。
- 4月 1日 消防本部に機会係を設置し、庶務係、予防係、消防係、機会係の 4 係とした。
- 5月 7日 (財)香川県消防協会から、優良消防団として表彰旗および高松宮殿下観閲記念竿頭綬を授与された。
- 昭和29年 2月16日 消防職員 15 人採用、現員 56 人となる。
- 5月 ジープ型消防自動車を指令車として配置した。
- 8月 五番町 16 番地に消防本部、消防署を移転した。
- 12月 (社)日本損害保険協会から、水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け消防ポンプ自動車計 7 台となった。
- 昭和30年 2月 1日 香川県公安委員会と緊急の事態における消防の警察に対する特別な援助協力について援助協定を締結した。
- 3月 7日 全国少年消防クラブ運営指導協議会から優良少年消防クラブとして竿頭綬を授与された。
- 5月19日 消防本部庁舎屋上に、地上高 26 メートルの望楼が完成し、時報サイレンを庁舎屋上から移設した。

- 昭和31年 9月30日 木田郡前田村, 川添村, 林村, 三谷村, 香川郡仏生山町, 多肥村, 一宮村, 川岡村, 円座村, 檀紙村, 弦打村, 上笠居村, 香西町, 下笠居村, 雌雄島村の2町13ヶ村を合併し, 消防団を26分団に再編成, 団員数1,350人となる。
- 11月 関信栄消防長退任する。
- 昭和32年 2月 (財)日本消防協会から, 優良消防団として表彰旗を授与された。
- 4月 1日 2代目消防長に, 増田伸一就任する。
- 〃 消防本部に教養監察係を設置し, 庶務係, 予防係, 消防係, 機械係, 教養監察係の5係とする。
- 昭和35年 1月20日 消防署に18メートル級はしご付消防ポンプ自動車を配置した。
- 8月20日 13時18分ごろ国鉄旧高松駅助役詰所付近の倉庫から出火し, ルネッサンス様式の駅舎をはじめ, 四国鉄道管理局周辺の建物など130棟を焼失し, 17時に鎮火した。損害約4億6千万円, 被災人員51世帯174人, 負傷者67人。原因, たばこの吸殻(推定)。
- 昭和36年 9月 1日 消防職員暫定定員89人, 現員80人となる。
- 昭和37年 4月 1日 消防職員暫定定員98人, 現員98人となる。
- 昭和38年 2月 1日 救急隊を編成, 救急業務を開始した。
- 3月 7日 消防庁長官から, 優良消防団として表彰旗を授与された。
- 4月 1日 消防職員暫定定員115人, 現員110人となる。
- 11月 1日 東部消防隊を設置し, 管轄区域を古高松, 屋島, 前田地区とした。
- 昭和39年 5月30日 消防団員の定員を1,250人とした。
- 7月15日 消防本部に課制をし, 総務, 予防, 警防の3課を設置, 庶務係, 予防係, 保安係, 消防係, 救急係の5係を置いた。
- 12月 1日 警防課に通信係を, 消防署に鶴尾消防隊を設置し, 管轄区域を鶴尾, 円座, 川岡, 檀紙, 一宮地区とした。
- 12月19日 高松市危険物保安協会が設立された。
- 昭和40年 4月 1日 増田伸一消防長退任する。
- 〃 消防職員暫定定員115人, 現員133人となる。
- 4月 2日 3代目消防長に, 内海辰雄就任する。
- 11月12日 消防署に化学消防自動車を配置した。
- 12月 1日 香西消防隊を設置し, 管轄区域を弦打, 香西, 鬼無, 下笠居地区とした。
- 12月24日 内海辰雄消防長 急逝
- 昭和41年 4月 1日 消防職員暫定定員168人, 現員160人となる。
- 4月 2日 4代目消防長に, 井上徳市就任する。
- 6月15日 高松市消防団男木部を男木分団に昇格させ消防団を27分団にした。
- 7月 1日 木田郡山田町を合併し, 消防団を28分団に再編成した。
- 8月 1日 消防署に救急車を配置し, 救急隊を2車隊に再編成した。
- 昭和42年 4月 1日 消防職員暫定定員193人, 現員179人となる。

- 昭和42年 4月15日 高松市内の19病院が救急病院に認定告示された。
- 5月1日 消防独身寮を新築し使用を開始した。
- 10月1日 消防団員の定員を1,120人とした。
- 11月1日 消防署に救助消防車を配置し、救助消防隊を編成した。
- 昭和43年 4月1日 消防職員暫定定員218人、現員194人となる。
- 昭和44年 2月1日 高松市東ハゼ町744番地の1に南消防署の庁舎が完成した。
南消防署庁舎完成に伴い、鶴尾消防隊を廃止し、消防の機構を改め、1本部2署（北・南）とし、署に次席をおき、東部、香西の消防隊を出張所（北署管内）に昇格させるとともに仏生山出張所（南署管内）を設置して管轄区域を仏生山、多肥、三谷、林、山田地区とした。
また、消防本部総務課に施設機械係を、署に庶務係、予防係を置いた。
- 4月1日 消防職員暫定定員244人、現員232人となる。
- 6月13日 高松海上保安部と船舶消防に関する相互援助協定を締結した。
- 6月30日 井上徳市消防長退任する。
- 7月10日 5代目消防長に、三木清就任する。
- 10月10日 0時57分ごろ、楠上町二丁目36番地光洋精工株式会社高松工場ベアリング製造場から出火し、耐火造3階建の工場棟7,053㎡を全焼。6時に鎮火した。損害約7億2千万円、原因、切削油の引火。
- 11月16日 全国消防長会法制委員会を玉藻公園披雲閣で開催した。
- 12月13日 消防団長片山繁雄死去、9代目消防団長に花崎直次郎就任する。
- 昭和45年 4月1日 消防職員暫定定員269人、現員263人となる。
- 7月10日 北消防署川添出張所を設置し、管轄区域を川添、前田、林地区とした。
- 〃 南消防署円座出張所を設置し、管轄区域を円座、一宮、檀紙、川岡地区とした。
- 10月14日 木田郡庵治町、牟礼町、三木町、香川郡香川町、香南町、塩江町、綾歌郡国分寺町の7町と消防相互応援協定を締結した。
- 11月20日 北消防署に(社)日本損害保険協会寄贈による屈折はしご付消防自動車を配置した。
- 昭和46年 3月27日 全国少年消防クラブ運営指導協議会から優良少年クラブとして表彰旗を授与された。
- 4月1日 消防職員暫定定員299人、現員292人となる。
- 〃 大阪航空局高松空港事務所と空港の周辺における消火救難活動に関する協定を締結した。
- 5月29日 北消防署に香川県交通安全保障協会寄贈による救急車を配置した。
- 6月15日 南消防署に救急車を配置、救急業務を開始した。
- 〃 高松市防火協会が設立された。
- 9月26日 消防本部に高松葵ラオンズクラブ寄贈による広報車を配置した。
- 9月27日 北消防署に30メートル級はしご付消防ポンプ自動車を配置した。
- 10月1日 消防本部の機構を改め、総務課に庶務係、経理係、人事教養係を、予防課に予防係、危険物係、建築係を、警防課に消防係、通信係、救急係、機械係を置いた。

- 昭和46年10月22日 北消防署の18メートル級はしご付消防ポンプ自動車を南消防署へ配置換えした。
- 昭和47年 4月 1日 消防職員暫定定員311人、現員305人となる。
- 〃 高松市総合計画に基本目標として、消防力の拡充強化と消防の近代化、科学化を推進し、5分間消防体制の確立を図ることにした。
- 〃 高松市消防団の第1次近代化を実施、中央分団を廃止して管轄区域を団本部直轄とし、西部分団と西浜分団を統合して26分団に再編成、団員定数を846人とした。
- 〃 綾歌郡国分寺町と救急業務の応援に関する申し合わせ事項が成立し、救急業務の応援出場を開始した。
- 4月18日 高松市消防団火災出場要領を改め市域を7区分して方面隊とし、出動区分を明確にした。
- 6月 1日 救急車のサイレンにピーポー音を採用した。
- 10月14日 第3回全国消防操法大会が東京消防庁消防学校で開催され、香川県代表として高松市消防団が出場、優秀な成績を収めた。
- 昭和48年 1月16日 高松市婦人防火クラブが結成された。
- 2月12日 12時30分ごろ屋島山麓の屋島神社神殿から出火し、安土桃山時代の建築様式を伝える拜殿、中殿、本殿等178.5㎡を焼失14時9分鎮火。神殿の金箔張り、拜殿天井に描かれた龍の壁画等貴重文化遺産を焼失した。当時の建築費を換算すると、約9億円の損害。原因は神殿の栓皮の葺き替え作業人のたき火の不始末。
- 2月20日 財団法人日本消防協会から、優良消防団として竿頭綬を授与された。
- 4月 1日 消防職員暫定定員311人、現員311人となる。
- 〃 消防本部の機構を改め、課に課長補佐を置き、署の次席を署長補佐に改め警防課消防係を警防係に、各署の消防隊、救急防をそれぞれ警防係、救急係に改称した。
- 4月 1日 綾歌郡綾上町、綾南町、国分寺町の3町から救急事務委託を受ける。
- 5月 1日 全国消防長会人事教養委員会を市民文化センターで開催した。
- 5月28日 香川県知事から優良消防団として竿頭綬を、また、財団法人香川県消防協会から竿頭綬を授与された。
- 5月31日 三木清消防長退任する。
- 6月 1日 6代目消防長に、谷本和正就任する。
- 6月13日 高松市宮脇町一丁目2番34号に消防本部、北消防署合同庁舎建設起工式を実施した。
- 7月 4日 北消防署に国際ロータリークラブ寄贈による指令車を配置した。
- 7月13日 少雨のため、各水源の貯水量が減少し、7月13日第一次給水制限を開始、7月21日第二次給水制限、更に8月には、第三次給水制限にまで突入した。
- 7月13日から9月14日までの64日間におよぶ給水制限で、市民生活は甚大な影響を受けた。
- 昭和49年 2月23日 北消防署に高松市危険物保安協会寄贈による広報車を配置した。
- 3月 1日 南消防署山田出張所を設置し、管轄区域を山田地区とした。

- 昭和49年 3月28日 消防本部に東京火災海上保険株式会社寄贈による査察車を配置した。
- 4月 1日 消防職員暫定定員 327 人，現員 314 人となる。
- 〃 高松市消防団の第 2 次近代化を実施，団員定数 806 人とした。
- 5月28日 香川県知事から優良消防団として表彰旗を授与される。
- 7月 1日 高松市宮脇町一丁目 2 番 34 号に消防庁舎が落成し，消防本部，北消防署を移転した。
これを機に望楼勤務を廃止した。
- 〃 高松市消防本部を高松市消防局に改称した。
- 〃 高松市西宝町石清尾山頂に消防無線中継所を設置した。
- 昭和50年 4月 1日 坂出市と消防相互応援協定を締結した。
- 〃 消防職員暫定定員 335 人，現員 335 人となる。
- 6月15日 南消防署に高松西ライオンズクラブ寄贈による広報車を配置した。
- 8月21日 第 4 回消防救助技術四国地区指導会を開催，四国地区各消防本部から 389 人が参加した。
- 10月11日 香川県消防操法大会に鬼無分団が出場し，ポンプ車の部で優秀賞を得た。
- 11月21日 北消防署に久米加石油樹寄贈による救急車を配置した。
- 昭和51年 3月 7日 ㈱日本消防協会から優良婦人消防隊として県営住宅一宮団地婦人消防隊が表彰された。
- 3月12日 北消防署に日本自動車工業会寄贈による救急車を配置した。
- 4月 1日 消防職員暫定定員 335 人，現員 330 人となる。
- 4月 8日 21 時 20 分ごろ，瓦町二丁目の精肉店で発生した火災で高松市消防団南部分団班長荒内和美が消火活動中殉職，2 階級特進し副分団長となる。
また，市民会館において消防団葬を行った。
- 5月26日 北消防署に住友生命保険相互会社寄贈による救急車を配置した。
- 8月 1日 松島町高松琴平電鉄志度線で電車の正面衝突事故が発生し負傷者 230 人を搬送，救急業務開始以来の重大事故となった。
- 8月10日 第 5 回消防救助技術四国地区指導会を開催，四国地区各消防本部から 436 人が参加した。
- 10月29日 全国消防長会秋季役員会を高松国際ホテルで開催した。
- 12月 1日 消防局に高松南ロータリークラブ寄贈による指令車を配置した。
- 12月12日 香川県消防操法大会に一宮分団が出場し，ポンプ車の部で優秀賞を得た。
- 12月25日 香川県と防災資機材使用貸借契約書を締結し，泡消火剤運搬用タンク車 1 台，泡放射砲車 2 台，高発泡器 2 基が消防局に委託された。
- 昭和52年 3月 2日 北消防署に高松東ロータリークラブ寄贈による火災予防査察車を配置した。
- 4月 1日 消防職員暫定定員 335 人，現員 329 人となる。
- 10月 2日 香川県消防操法大会に古高松分団が出場し，ポンプ車の部で優秀賞を得た。
- 11月 1日 讃岐地区広域消防組合と消防相互応援協定を締結した。
- 12月17日 消防団長花崎直次郎退団する。

- 昭和52年12月18日 10代目消防団長に浅倉勝就任する。
- 昭和53年 3月 9日 自治体消防制度発足 30周年を記念し、勤続 30年以上の消防団員 135人を表彰した。
- 4月 1日 高松市消防団員健康管理推進要綱の施行に伴い、これに該当する分団長を含む 14人の団員が退団した。
- 7月 3日 谷本和正消防長退任し、7代目消防長に岡本開三就任する。
- 8月29日 高松市高松町 91番地の 7において東消防署庁舎建設起工式を実施した。
- 9月23日 香川県消防操法大会に下笠居分団が出場し、ポンプ車の部で最優秀賞を得た。
- 9月25日 高松市職員定数条例の全部改正により、消防職員暫定定員 335人、現員 327人となる。
- 11月 7日 自治体消防制度発足 30周年記念行事として「みんなで考える防災展」を三越高松支店で開催した。
- 昭和54年 2月28日 香川県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受けた。
- 4月 1日 高松市高松町 91番地の 7に東消防署の庁舎が完成した。これに伴い、北消防署東部出張所を廃止し、1局 3署 5出張所とし、従来の北消防署川添出張所および南消防署山田出張所を東消防署の管内として業務を開始した。
- また、夜間・休日における責任体制等の明確化をはかるため警防課通信担当および各署に複数の隔日勤務の課長補佐、署長補佐制度を採用するとともに、総務課に消防団係をおいた。
- // 東消防署に朝日住宅(株)寄贈による火災予防査察車を配置した。
- // 東消防署開設に伴い、高松市消防団火災出場要領による 7方面隊を 8方面隊に改めた。
- // 消防職員暫定定員 335人、現員 334人となる。
- 4月10日 全国消防長会人事教養委員会をホテル川六で開催した。
- 9月23日 香川県消防操法大会に太田分団が出場し、ポンプ車の部で優良賞を得た。
- 10月 1日 火災、救急等の情報案内の適正化をはかるため、テレホンサービス業務を開始した。
- 11月20日 高松市少年婦人防火委員会が設立された。
- 12月11日 久米加石油(株)から広報車および火災予防査察車の寄贈を受け、東消防署および南消防署へ配置した。
- 12月13日 高松市消防発足 30周年記念誌「高松消防 30年のあゆみ」を刊行した。
- 12月25日 (財)日本損害保険協会から救急車の寄贈を受けた。
- 昭和55年 2月12日 (財)日本消防協会から優良消防団として、高松市消防団が最高栄誉賞「まとい」を、また、優良婦人消防隊として下笠居地区婦人消防隊に表彰旗が授与された。
- 4月17日 高松市出作町 348番地の 6に南消防署仏生山出張所の庁舎が完成し、移転した。
- 4月23日 高松市元山町 124番地の 5に東消防署川添出張所の庁舎が完成し、移転した。
- 8月 8日 (財)日本防火協会から優良少年消防クラブとして、亀阜小学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。
- 8月21日 高松市朝日新町 1番 16号において北消防署朝日分署庁舎建設起工式を実施した。

- 昭和55年 8月23日 高松市香西南町 603 番地の 1 において西消防署庁舎建設起工式を実施した。
- 9月21日 香川県消防操法大会に市街地 4 分団（東部、西部、南部、北部の各分団選抜）が
出場し、ポンプ車の部で最優秀賞を得た。
- 昭和56年 4月 1日 高松市香西南町 603 番地の 1 に西消防署の庁舎が、また高松市朝日新町 1 番 16 号に
北消防署朝日分署の庁舎が完成した。これに伴い、北消防署香西出張所を廃止し、1
局 4 署 1 分署 4 出張所とし、西消防署は弦打、鬼無、香西、下笠居地区を管轄に、
また北消防署朝日分署は北部分団地域、女木、男木地区を管轄として業務を開始し
た。
- // 消防職員暫定定員 346 人、現員 346 人となる。
- // 香川県と香川県防災資機材センターの管理委託契約を締結した。
なお、昭和 51 年 12 月 25 日付防災資機材使用賃借契約を廃止した。
- 5月22日 高松市婦人防火クラブ連絡協議会が設立された。
- 5月30日 高松北、南、東警察署、四国瓦斯(株)高松支社、四国簡易ガス協会、香川県一般高圧
ガス保安協会、(株)香川県エルピーガス保安協会、香川県冷凍設備保安協会、香川県
高圧ガス防災協議会および四国電力(株)高松営業所とガス爆発事故等防止対策に関す
る協定書を締結した。
- 7月 1日 岡本開三消防長退任し、8 代目消防長に藤本準一就任する。
- 8月21日 高松市少年消防クラブ連絡協議会が設立された。
- 9月 1日 西消防署開設に伴い、高松市消防団方面隊編成および火災出動要領を改め、8 方面隊
を 6 方面隊に、また各方面隊に方面隊長を設けた。
- 9月20日 香川県消防操法大会に三谷分団が
出場し、小型ポンプの部で優良賞を得た。
- 10月 1日 綾歌郡綾上町、綾南町、国分寺町の 3 町と消防業務の事務委託に関する規約を制定
した。
- 10月29日 南消防署に(財)日本消防協会寄贈による救急車を配置した。
- 11月27日 消防局に高松市婦人防火クラブ連絡協議会寄贈による広報車を配置した。
- 昭和57年 1月12日 綾歌郡綾上町山田下 1160 番地 1 において西消防署綾歌東部分署（仮称）庁舎建設起
工式を実施した。
- 1月27日 南消防署に 25 メートル級屈折はしご付消防ポンプ自動車
を配置した。
- // 南消防署の 18 メートル級はしご付消防ポンプ自動車を北消防署へ配置換えした。
- 2月10日 (財)日本消防協会から優良婦人消防隊として、日新校区婦人消防隊に表彰旗が授与さ
れた。
- 3月31日 旅館、ホテル等にかかる防火対象物の表示公表制度に基づき、72 対象物に対し 28
施設に表示マークを交付した。
- 4月 1日 消防職員暫定定員 367 人、現員 362 人となる。
- 8月 3日 (財)日本防火協会から優良少年消防クラブとして、桜町中学校少年消防クラブに表彰
盾が授与された。
- 9月15日 香川県消防操法大会に前田分団が
出場し、ポンプ車の部で最優秀賞を得た。

- 昭和57年10月 1日 西消防署綾歌東部分署の庁舎が完成し、高松市と綾上町、綾南町および国分寺町との間において締結した消防業務の事務委託に関する消防業務を開始した。
 なお、昭和48年4月1日に締結した救急業務の事務委託に関する規約は廃止となる。
 // 香川県知事から、綾上町、綾南町および国分寺町の危険物施設の許可等の事務の引き継ぎを行い所掌事務となる。
- 昭和58年 2月19日 北消防署に日本自動車工業会寄贈による救急車を配置した。
 3月 1日 高松市円座町 1035 番地の 1 に南消防署円座出張所の庁舎が完成し、移転した。
 3月29日 全国少年消防クラブ運営指導協議会から優良少年消防クラブとして、亀阜小学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。
 4月 1日 消防職員暫定定員 380 人、現員 378 人となる。
 5月18日 消防局および北消防署に高松市危険物保安協会寄贈による消防査察車を配置した。
 7月28日 第 12 回四国地区消防救助技術指導会を花塚消防総監出席のもと、高松一高において開催、四国地区各消防本部から 404 人が参加した。
 8月 2日 ㈸日本防火協会から優良少年消防クラブとして、栗林小学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。
 9月 1日 高松市消防団員家族表彰（勤続 35 年以上）制度を発足させ 95 人を表彰した。
 9月11日 香川県消防操法大会に檀紙分団が出場し、ポンプ車の部で優秀賞を得た。
 10月 1日 藤本準一消防長退任し、9 代目消防長に松本正博就任する。
 // 綾歌郡国分寺町新名 695 番地 4 に、西消防署国分寺出張所を設置し、管轄区域を国分寺町とした。
 12月20日 防火基準適合表示制度の拡大に基づき、劇場、百貨店等 116 対象物に対し 55 施設に表示マークを交付した。
- 昭和59年 1月 6日 自治体消防発足 35 周年を記念して、出初式において勤続 35 年以上の消防団員 93 人を表彰した。
 1月31日 北消防署に日産自動車㈸寄贈による救急車を配置した。
 2月10日 ㈸日本消防協会から優良婦人消防隊として松島校区婦人消防隊福東支部に表彰旗が授与された。
 3月26日 北消防署の救助工作車を更新し、配置した。
 4月 1日 南消防署太田出張所を設置し、管轄区域を太田地区とした。
 // 消防職員暫定定員 380 人、現員 379 人となる。
 // 消防局予防課に火災原因調査要員を配置し、各署の火災原因調査事務を統括的に実施するように努めた。
 4月12・13日 昭和 59 年度全国消防長会四国支部役員会・総会を高松市において開催した。
 8月 1日 第 13 回消防救助技術四国地区指導会を㈸全国消防協会常務理事神楽岡昌治出席のもと、高松一高において開催、四国地区各消防本部から 425 名が参加した。
 9月 2日 香川県消防操法大会に山田分団が出場し、ポンプ車の部で優秀賞を得た。

- 昭和59年11月20日 高松市幼年消防クラブが結成された。
- 昭和60年 2月 8日 (財)日本消防協会から優秀婦人消防隊として二番丁校区婦人消防隊昭和町西部支部に表彰旗が授与された。
- 3月28日 北消防署朝日分署の化学消防ポンプ自動車を更新し、配置した。
- 3月29日 全国少年消防クラブ運営指導協議会から優良少年消防クラブとして、桜町中学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。
- 4月 1日 消防職員暫定定員 380 人、現員 376 人となる。
- 9月22日 香川県消防操法大会に鶴尾分団が出場し、ポンプ車の部で優秀賞を得た。
- 10月 2日 全国消防長会主催昭和 60 年度消防長研修会を開催し、四国支部各消防本部から 47 人が受講した。
- 10月22日 第 1 回全国婦人消防操法大会が横浜市消防訓練センターで開催され、香川県を代表して下笠居婦人消防隊が出場し、優秀な成績を収めた。
- 12月20日 西消防署に香川県共済農業協同組合連合会寄贈による救急車を配置した。
- 昭和61年 2月22日 1 月 1 日 4 時 18 分ごろ由良町で発生した建物火災で、高松市消防団山田分団員稲塚光弘が出場中に発病し殉職。1 階級特進し班長となる。
- 3月28日 全国少年消防クラブ運営指導協議会から優良少年消防クラブとして、栗林小学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。
- 4月 1日 松本正博消防長退任し、10 代目消防長に寒川豊茂就任する。
- 〃 消防職員暫定定員 380 人、現員 375 人となる。
- 5月20日 消防組織の再編、統合をはかるため、消防局予防課の建築係と指導係を統合して、指導係にするとともに各署の火災原因調査事務を統括的に実施する調査係を置いた。また、各消防署の庶務係を廃止し、事務分掌の見直しを行った。
- 5月24日 香川県知事から優良消防団として竿頭綬を授与された。
- 7月 9日 消防局に(財)日本宝くじ協会寄贈による救急普及啓発広報車を配置した。
- 8月 8日 北消防署に(社)日本損害保険協会寄贈による化学消防ポンプ自動車を配置した。
- 9月14日 香川県消防操法大会に川添分団が出場し、ポンプ車の部で優秀賞を得た。
- 10月19日 19 時 14 分ごろ、高松市民の総氏神として親しまれている石清尾八幡神社から出火し、本殿、上拝殿、神饌殿の 3 棟計 124 m²を焼失 22 時 20 分鎮火。上拝殿内の市指定有形文化財の「松下頼重奉納三十六歌仏絵扁額」が焼失した。
- 12月 1日 香川県下の 4 市 38 町および 6 消防組合消防本部と香川県消防相互応援協定を締結した。
- なお、昭和 45 年 10 月 14 日、昭和 50 年 4 月 1 日および昭和 52 年 11 月 1 日に隣接 1 市 6 町 1 消防組合消防本部と締結した消防相互応援協定は廃止となる。
- 12月 6日 各消防署の救急車に久米加石油株式会社寄贈による自動式人工呼吸器を配置した。
- 昭和62年 3月25日 北消防署に高松南ロータリークラブ寄贈による広報車を配置した。
- 3月26日 全国少年消防クラブ運営指導協議会から優良少年消防クラブとして、紫雲中学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。

- 昭和62年 4月 1日 消防職員暫定定員 380 人，現員 376 人となる。
- 6月24日 北消防署および南消防署に(株)セシール寄贈による救急車を配置した。
- 9月10日 北消防署に(財)日本消防協会寄贈による電源照明車を配置した。
- 9月20日 香川県消防操法大会に多肥分団が出場し，ポンプ車の部で優秀賞を得た。
- 11月12日 (財)日本防火協会から優良少年消防クラブとして，三溪小学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。
- 11月26日 建設大臣から昭和 62 年 10 月の台風第 19 号災害に際し，水害の防止にあたり国土の保全に尽くした功績により，高松市消防団が表彰された。
- 昭和63年 3月 9日 (財)日本消防協会から優良婦人消防隊として，亀阜校区西宝町支部婦人消防隊に表彰旗が授与された。
- 〃 (財)日本防火協会から優良防火委員会として，高松市少年婦人防火委員会が表彰された。
- 〃 (財)日本防火協会から優良婦人防火クラブとして，下笠居校区婦人防火クラブが表彰された。
- 3月29日 全国少年消防クラブ運営指導協議会から優良少年消防クラブとして，三溪小学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。
- 4月 1日 消防職員暫定定員 380 人，現員 376 人となる。
- 5月 5日 消防団長浅倉勝急逝
- 5月11日 全国消防長会人事教養委員会をホテルリッチ高松で開催した。
- 5月19日 消防局に高松市危険物保安協会寄贈による査察車を配置した。
- 5月23日 (株)セシール寄贈による指令車を消防局に，広報車および救急車を北消防署に配置した。
- 6月 3日 第 12 回婦人防火全国大会が高松市総合体育館で開催された。
- 6月25日 11 代目消防団長に，桑崎武雄就任する。
- 9月 1日 内閣総理大臣から昭和 62 年 10 月の台風 19 号に際し，被災者の救護および水防活動に尽くした功績により，高松市消防団が表彰された。
- 9月18日 香川県消防操法大会に弦打分団が出場し，ポンプ車の部で優秀賞を得た。
- 10月 1日 北消防署に救助係をおいた。
- 〃 北消防署朝日分署に救急係を，東消防署山田出張所に救急車隊を置き救急業務を開始した。
- 10月 6日 高松消防発足 40 周年記念講演会を香川県厚生年金会館で開催した。
- 12月23日 国際消防救助隊として，11 人の救助隊員を登録した。
- 12月27日 消防緊急情報システム整備工事に着手した。
- 昭和64年 1月 1日 給料表を 7 級制から 11 級制に改めるとともに，副主幹および消防主任制を敷いた。
- 平成元年 1月 9日 東消防署に高松西ロータリークラブ寄贈による査察広報車を配置した。
- 2月10日 (財)日本消防協会から優良婦人消防隊として，屋島校区屋島西団地支部婦人消防隊に表彰旗が授与された。

- 平成元年 2月17日 (財)日本防火協会から優良幼年消防クラブとして、高松聖ヤコブ幼年消防クラブ、優良婦人消防隊として、松島校区婦人防火クラブ福東支部が表彰された。
- 4月 1日 消防職員暫定定員 380 人、現員 377 人となる。
- 6月 2日 (財)日本防火協会から優良少年消防クラブとして十河小学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。
- 7月10日 自治省消防庁の消防吏員服制準則の一部改正に伴い新救急服を導入した。
- 9月17日 香川県消防操法大会に林分団が出場し、ポンプ車の部で準優勝に輝いた。
- 10月 4日 全国消防長会主催消防長研修会をホテルリッチ高松で開催し、四国支部各消防本部から 65 人が受講した。
- 12月16日 新高松空港の開港に伴い、運輸省大阪航空局高松空港事務所と周辺の地方公共団体との間で、高松空港およびその周辺における消火救難活動に関する協定を締結した。
- 平成 2年 1月 6日 旧高松空港跡地において消防出初式を挙行了した。
- 1月 8日 木太町四区 J R 高德線踏切で特急列車とトラックが衝突し、多数の負傷者を搬送した。
- 4月 1日 消防救急情報システム整備工事が完成し運用を開始した。
- 〃 消防局の機構を改め、通信指令課を新設した。
- 〃 北消防署に隔日勤務の主幹を配置した。
- 〃 消防職員暫定定員 380 人、現員 377 人となる。
- 9月23日 香川県消防操法大会に仏生山分団が出場し、ポンプ車の部で優秀賞を得た。
- 9月30日 消防団長桑崎武雄退団する。
- 10月 1日 12 代目消防団長に小松博之就任する。
- 10月 9日 (財)日本顕彰会から社会貢献者として、高松市幼少年婦人防火委員会が表彰された。
- 10月24日 第 6 回全国婦人消防操法大会が横浜市消防訓練センターで開催され、香川県を代表して綾上町婦人消防隊が出場し、優秀な成績を収めた。
- 11月18日 市制施行 100 周年記念日に市勢伸展の功績により、高松市消防団が表彰された。
- 12月10日 消防団活性化整備計画で消防団の全車両に 2 年計画で消防無線の装備に着手した。
- 12月20日 北消防署の 15 メートル級屈折はしご車を 35 メートル級はしご付ポンプ自動車に更新した。
- 平成 3年 3月 4日 東消防署に香川県共済農業協同組合連合会寄贈による救急車を配置した。
- 3月26日 全国少年消防クラブ運営指導協議会から、特に優秀な少年消防クラブとして、亀阜小学校少年消防クラブに表彰旗が授与された。
- 4月 1日 寒川豊茂消防長退任し、11 代目消防長に村上健三就任する。
- 〃 消防職員暫定定員 388 人、現員 378 人となる。
- 5月15日 盛夏帽および盛夏服を茶褐色から灰色に変更した。
- 5月18日 東消防署に八栗ライオンズクラブ寄贈による広報車を配置した。
- 7月17日 第 20 回消防救助技術四国地区指導会を高松市西部運動センターおよび香川県総合水泳プールにおいて開催、四国地区各消防本部から 454 人が参加した。

- 平成 3年 9月16日 香川県消防操法大会に西部分団が出場し、ポンプ車の部で優秀賞を得た。
- 11月27日 第1回高松市婦人防火大会を香川厚生年金会館で開催した。
- 12月19日 北消防署の32メートル級はしご付ポンプ自動車を50メートル級はしご付消防自動車に更新し、配置した。
- 平成 4年 2月25日 多肥下町地区の不発弾（250 爆弾）処理に伴う消防警備体制の万全を期すため消防職員19人、消防団員31人が消防警備についた。
- 3月27日 全国少年消防クラブ運営指導協議会から優良少年消防クラブとして、植田小学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。
- 4月 1日 消防職員暫定員388人、現員385人となる。
- 〃 南消防署円座出張所に救急車隊を置き救急業務を開始した。
- 4月19日 四国横断自動車道の供用開始に伴い、県下6消防本部で香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する覚書および日本道路公団高松建設局と高速自動車道における火災および救急業務に関する覚書を締結した。
- 4月21・22日 平成4年度全国消防長会四国支部役員会、総会を高松市において開催した。
- 5月22日 救急救命中央研修所の開校に伴い、職員1人を派遣し香川県下第1号の救急救命士国家資格を取得した。
- 7月17日 第21回消防救助技術四国地区指導会を高松市西部運動センターおよび香川県総合水泳プールにおいて開催、四国地区各消防本部から467人が参加した。
- 9月20日 香川県消防操法大会に香西分団が出場し、ポンプ車の部で優勝に輝いた。
- 10月21日 第8回全国婦人消防操法大会が横浜市日本消防協会中央消防訓練所で開催され、香川県を代表して多肥婦人消防隊が出場し優秀な成績を収めた。
- 11月 8日 第2回高松市婦人防火大会を亀阜小学校で開催した。
- 平成 5年 2月16日 ㈱日本消防協会から優良婦人消防隊として、多肥婦人消防隊に表彰旗が授与された。
- 2月19日 ㈱日本防火協会から優良少年消防クラブとして、日新小学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。
- 3月 1日 救急救命士による高度救急処置3項目の業務を開催した。
- 3月26日 全国少年消防クラブ運営指導協議会から優良少年消防クラブとして、日新小学校少年消防クラブに表彰盾が授与された。
- 4月 1日 女性消防士2人採用
- 〃 消防職員暫定定員388人、現員388人となる。
- 5月28日 消防局および北消防署に高松市危険物安全協会（高松市危険物保安協会の名称を変更）寄贈による査察車2台を配置した。
- 8月 1日 香川県消防操法大会に屋島分団が出場し、小型ポンプの部で優秀賞を得た。
- 9月 5日 第48回国民体育大会夏季大会が香川県総合水泳プールをメイン会場に9月8日まで開催され、消防警備体制の万全を期するため、消防職員延べ200人、消防団員延べ20人が消防警備についた。

- 平成 5年10月25日 第48回国民体育大会秋季大会が、香川県総合運動公園をメイン会場に10月29日まで開催され、消防警備体制の万全を期するため、消防職員延べ260人を市内各会場に、救急自動車2台を香川県総合運動公園に配置した。
- 10月31日 第3回高松市婦人防火大会を亀阜小学校で開催した。
- 11月25・26日 全国消防協会四国地区支部予防広報講習会を亀阜小学校で開催した。
- 11月28日 ㈸日本防火協会から優良少年消防クラブとして、一宮小学校少年消防クラブ、優良幼年消防クラブとして、高松南保育園幼年消防クラブに表彰盾が授与された。
- 12月22日 高松市北消防署に高規格救急自動車（メルセデス・ベンツ）1台を配置した。
- 平成 6年 1月20日 香川県防災航空隊発足に伴う香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定を締結し、職員1人を香川県に派遣した。
- 2月23日 高松市南消防署に高規格救急自動車（ニッサン）1台を配置した。
- 4月 1日 村上健三消防長退任し、12代目消防長に久保義則就任する。
- 〃 女性消防士2人採用し、4人となる。
- 〃 消防職員暫定定員394人、現員388人となる。
- 〃 香川県防災航空隊が発足し、香川県知事、香川県下5市長、38町長および6消防組合管理者と香川県防災ヘリコプター応援協定を締結した。
- 6月28日 少雨のため、水源の早明浦ダムで貯水量の低下が続き、四国地方建設局で6月28日に、本市でも6月29日に渇水対策本部が設置され、第一次給水制限を開始、7月7日第二次給水制限、7月14日には5時間給水に至り、更に7月17日には第三次給水制限まで突入した。
- 6月29日から11月14日までの139日間に及ぶ給水制限で市民生活は甚大な影響を受けた。
- 〃 消防局でも第一次給水宣言の前日から消防渇水対策本部を設置し、異常渇水体制をとって対応した。
- 9月25日 香川県消防操法大会に円座分団が出場し、ポンプの部で準優勝に輝いた。
- 10月16日 第4回高松市婦人防火大会を亀阜小学校で開催した。
- 10月22日 第7回全国健康福祉祭かがわ大会が香川県総合運動公園をメイン会場に10月25日まで県下各会場で開催され、本市消防局においても消防警備体制の万全を期するため、消防職員延べ88人、消防団員延べ20人および救急車など消防車延べ14台を市内各会場に配置した。
- 11月 2日 西消防署用地拡張のため1351.72㎡の用地を購入した。
- 11月 7日 東消防署庁舎30.19㎡を増築した。
- 平成 7年 1月 1日 高松市の姉妹・友好都市に職員を派遣し、語学研修、行政研修を行うとともに市民との交流を進め、国際感覚に優れた人材の育成と友好親善を進めることを目的とした、平成6年度姉妹・友好都市派遣留学生として、職員1名を6ヶ月間フランス共和国アンドル・エ・ロワール県トゥール市へ派遣した。
- ～ 7月 2日

- 平成 7年 1月17日 阪神・淡路大震災に救急・救助・消火隊の応援として消防職員延べ 32 人、車両延べ 12 台を 3 月 4 日まで被災地である神戸市へ派遣した。
- 2月24日 多肥下町の不発弾（250kg 爆弾）処理に伴う消防警備体制の万全を期するため、消防職員 22 人、消防団員 35 人が消防警備についた。
- 4月 1日 消防職員暫定定員 394 人、現員 392 人となる。
- 4月10日 東消防署および西消防署に高規格救急自動車（メルセデス・ベンツ）をそれぞれ 1 台配置した。
- 6月22日 消防団本部に生活協同組合、全日本消防人共済会から寄贈による指揮広報車（ニッサン・ブルーバード）を配置した。
- 6月30日 阪神・淡路大震災を教訓に国の緊急消防援助隊発足に伴い加盟、救助・消火および支援部隊として隊員 10 人を登録した。
また、東京で行われた発足式および合同訓練に救助隊員 4 人が参加した。
- 9月 1日 香川県震災対策訓練が坂出市番の州において実施され、本市から車両 5 台消防職員 26 人が参加した。
- 9月 9日 香川県救急医療情報システムの端末機器を設置し、運用を開始した。
- 9月17日 香川県消防操法大会に木太分団が出場し、ポンプ車の部で優秀賞を得た。
- 11月 8日 ㈱日本防火協会から最優良幼年消防クラブとして白樺保育園幼年消防クラブに表彰盾が授与された。
- 11月12日 第 5 回高松市婦人防火大会を亀阜小学校で開催した。
- 平成 8年 2月22日 阪神淡路大震災を教訓として、第 1 号の耐震性貯水槽（60 m³）を扇町三丁目の市道に設置した。
- 3月12日 南消防署円座出張所庁舎 61.91 m²を増築した。
- 3月26日 震災等大規模災害対策として、支援車および高度救助用資機材等を整備し、北消防署に配置した。
- 3月28日 中・四国地区の 9 県庁所在都市間で「中国・四国地区都市防災連絡協議会災害時相互応援協定」を締結した。
- 〃 高松市峰山町、消防無線中継所改修整備工事に着手した。
- 〃 高松市災害情報画像伝送システム整備工事に着手した。
- 4月 1日 消防職員暫定定員 394 人、現員 396 人となる。
- 〃 香川県消防学校派遣職員に関する協定を締結し、職員 1 名を香川県消防学校に派遣した。
- 7月19日 ㈱日本防火協会から優良婦人防火クラブとして、十河校区婦人防火クラブが表彰を受けた。
- 9月 1日 香川県震災対策総合訓練が林町香川インテリジェントパークにおいて実施され、本市から車両 20 台消防職・団員 110 人が参加した。
- 〃 香川県・高松市合同震災対策総合訓練が多肥上町多肥小学校において実施され、住民 1,100 人が参加した。

- 平成 8年 9月15日 震災対策事業の一環として「わが家の防災ハンドブック」を13万部製作し、高松市内の全世帯に配布した。
- 9月16日 香川県消防操法大会に川岡分団が出場し、ポンプ車の部で優勝に輝いた。
- 9月26日 高松市消防職員委員会規則を制定公布し、12月3日に委員長ほか委員18名を指名した。
- 10月12日 第6回高松市婦人防火大会を亀阜小学校で開催した。
- 11月7日 緊急消防援助隊四国ブロック合同訓練が徳島市において実施され、本市から車両4台消防職員7人が参加した。
- 11月25日 消防無線中継所改修整備工事および災害情報画像伝送システム整備工事が完成し、運用を開始した。
- 平成 9年 3月10日 西消防署綾歌東部分署に高規格救急自動車(トヨタ・ハイメディク)1台を配置した。
- 3月25日 震災時の飲料水等の確保のため、第1号の飲料水兼用耐震性貯水槽(100m³)を中央公園内に設置した。
- 3月26日 震災対策用資機材として各消防分団に照明機・タンカ・チェンソー・バールおよびジャッキ等を、各消防署にチェンソーを配備した。
- 3月31日 西消防署に救助訓練施設等(3棟延べ492.2m²、地上高さ17m、鉄骨造)を建設した。
- 4月1日 消防職員暫定定員394人、現員394人となる。
- 〃 高松市地域防災計画(震災対策編)に基づき、地震災害消防計画を作成した。
- 〃 高松市自主防災組織育成推進要綱および高松市防災資機材助成要綱を制定し、自主防災組織の育成を全市的に積極的に推進することとした。
- 8月31日 香川県・高松市合同震災対策総合訓練が生島町下笠居小学校において実施され住民1,000人が参加した。
- 9月1日 香川県震災対策総合訓練が大内町とらまる公園において実施され、本市から車両6台、消防職員22人が参加した。
- 9月14日 香川県消防操法大会に古高松分団が出場し、ポンプ車の部で優勝に輝いた。
- 10月9日 第21回婦人防火大会が熊本市で開催され、都道府県婦人防火クラブ連合役員会の部で、香川県婦人防火クラブ連絡協議会副会長の喜多和子が表彰された。
- 10月11日 第7回高松市婦人防火大会を亀阜小学校で開催した。
- 10月23日 第13回全国婦人消防操法大会が横浜市日本消防協会中央消防訓練場で開催され、香川県を代表して鬼無町婦人消防隊が出場し優秀な成績を収めた。
- 平成10年1月6日・17日 緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練が岡山市において実施され、本市から車両4台消防職員7人が参加した。
- 3月2日 北消防署の北救助工作車Ⅱ型を救助工作車Ⅲ型(イスズ)に更新し、配置した。
- 〃 消防局・北消防署庁舎耐震改修工事が完了した。
- 3月7日 財団法人日本消防協会から、鬼無町婦人消防隊が表彰された。
- 3月9日 東消防署山田出張所に高規格救急自動車(ニッサン)1台を配置した。

- 3月19日 北消防署に電源照明車（イスズ）を設置した。
- 3月23日 震災時の飲料水等の確保のため第2号飲料水兼用耐震性貯水槽（100 m³）1基を亀岡町亀岡公園内に設置した。
- 3月31日 消防団長小松博之退団する。
- 4月1日 消防職員暫定定員394人、現員396人となる。
- 4月13日 第13代目消防団長に宮武登司雄就任する。
- 6月5日 第21回全国消防職員意見発表会において本市職員が入賞した。
- 6月26日 高松市消防支援隊が結成（隊員112人）された。
- 9月1日 香川県震災対策総合訓練が丸亀市において実施され、本市から車両6台、消防職員22人が参加した。
- 9月13日 香川県消防操法大会に鬼無分団が出場し、ポンプ車の部で優秀賞を得た。
- 10月10日 第8回高松市婦人防火大会を亀阜小学校で開催した。
- 11月1日 携帯電話等からの119番通報を、香川県内を東讃、中讃、西讃地域の3ブロックに分割し、東讃ブロックの代表消防本部として119番通報を受信するシステムの運用を開始した。
- 11月5・6日 緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練が高松市神在川窪町で開催し、中国・四国の40消防本部、車両60台、ヘリコプター5機、消防艇1隻、隊員280人が参加した。
- 11月12日 第26回日本救急医学総会が高松市で開催され、救急隊員部会に823人が参加した。
～14日
- 12月 高松市消防発足50周年記念誌「高松消防50年のあゆみ」を発行した。
- 12月15日 南消防署円座出張所に高規格救急自動車（イスズ）1台を配置した。
- 平成11年 3月7日 (財)日本消防協会から優良婦人消防隊として下笠居校区婦人消防隊が表彰された。
- 3月24日 震災時の飲料水確保のため第3号飲料水兼用耐震性貯水槽（100 m³）1基を松島町二丁目松島公園内に設置した。
- 4月1日 消防職員暫定定員394人、現員395人となる。
// 高松市消防吏員服装規則を改正し、執務服及びアポロキャップを導入した。
- 7月22日 第28回消防救助技術四国地区指導会を香川県屋島陸上競技場補助競技場および高松市屋島中学校プールにおいて開催、四国地区各消防本部から399人が参加した。
- 8月29日 高松市震災対策総合訓練が二番町小学校において実施され、住民900人が参加した。
- 9月12日 香川県消防操法大会に一宮分団が出場し、ポンプ車の部で優秀な成績を収めた。
- 10月9日 第9回高松市婦人防火大会を亀阜小学校で開催した。
- 10月26日 高松市消防協力隊（企業21事業所）が結成された。
- 11月2日 (財)日本防火協会から優良婦人防火クラブとして古高松南校区婦人防火クラブさつきヶ丘支部が表彰を受けた。
- 11月17日 緊急消防援助隊四国ブロック合同訓練が松山市において実施され、本市から車両2
・18日 台、消防職員4人が参加した。

- 平成11年11月30日 消防局・北消防署合同庁舎の耐震改修の工事を竣工した。
- 12月 7日 北消防署朝日分署に高規格救急自動車（ニッサン）1台を配置した。
- 平成12年 2月 9日 (財)日本消防協会から優良消防団として高松市消防団に表彰旗が授与された。
- 2月22日 北消防署に小型動力消防ポンプ付水槽車（10 t 三菱）1台を配置した。
- 3月 1日 民間による患者等搬送事業に対する指導及び認定に関する高松市患者等搬送事業市道要綱を定めた。
- 3月31日 震災時の飲料水等の確保のため第4号飲料水兼用耐震性貯水槽（100 m³）1基を朝日町一丁目朝日町公園内に配置した。
- 4月 1日 久保義則消防長退任し、13代目消防長に世羅義昭就任する。
- 〃 消防職員暫定定員394人、現員396人となる。
- 〃 高松市危険物安全協会と高松市防火協会を統合し、高松地区防火安全協会が設立された。
- 4月17・18日 平成12年度全国消防長会四国支部役員会、総会を高松市において開催した。
- 5月18日 消防業務妨害者に対する告訴を行った。
- 7月26日 第29回消防救助技術四国地区指導会を香川県屋島陸上競技場補助競技場および高松市立屋島中学校プールにおいて開催、四国地区各消防本部から383名が参加した。
- 9月10日 香川県消防操法大会に下笠居分団が出場し、ポンプ車の部で優勝に輝いた。
- 10月 4日 消防団員にアポロキャップを導入した。
- 10月14日 第10回高松市婦人防火大会を亀阜小学校で開催した。
- 10月19日 第17回全国消防操法大会が横浜市消防訓練センターで開催され、香川県を代表して高松市消防団第1方面隊が出場し、ポンプ車の部で優秀な成績を収めた。
- 10月23日・24日 緊急消防援助隊全国合同訓練が東京都において実施され、本市から車両3台消防職員12名が参加した。
- 11月20日 国際消防援助隊登録隊員8人となる。
- 11月22日 北消防署に高規格救急自動車（トヨタ）を1台配置し、2台体制とした。
- 12月20日 南消防署太田出張所に(財)日本損害保険協会寄贈による水槽付消防ポンプ自動車を配置した。
- 平成13年 1月 1日 消防局情報ネットワークシステム整備工事が完成し、運用を開始した。
- 1月30日 高松市患者等搬送事業指導要綱に定める第1号業者を認定した。
- 3月29日 高松自動車道高松中央インターチェンジから東区間の供用に伴い、県下8消防本部で香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する覚書および日本道路公団四国支社と高速自動車道における救急業務、火災消火業務に関する覚書を締結した。
- 3月31日 震災時の飲料水等の確保のため第5号飲料水兼用耐震性貯水槽（100 m³）1基を木太町高松市立木太南小学校に設置した。
- 4月 1日 消防職員暫定定員394人、現員394人となる。
- 〃 地方分権に伴う香川県事務処理の特例に関する条例の一部改正により、液化石油ガス供給設備の工事の届出の受理ならびに当該供給設備に係る立入検査および修理等

- の命令事務が委譲された。
- // 情報指令課に消防情報を統括的に管理する情報管理係を置いた。
- 5月30日 女木島および男木島での災害発生時における消防職団員の渡島輸送について高松市瀬戸内漁業協同組合、株式会社瀬戸内マリンおよび海望企画株式会社と渡島応援協定を締結した。
- 9月 5日 高松市自主防災組織連絡協議会が設立された。
- 9月 9日 香川県消防操法大会に太田分団が出場し、ポンプ車の部で優秀な成績を収めた。
- 10月13日 第11回高松市婦人防火大会を亀阜小学校で開催した
- 10月18・19日 平成13年度全国消防長会、秋季役員会を高松市において開催した。
- 10月23・24日 緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練が高知市において実施され、本市から車両3台消防職員9名が参加した。
- 平成14年 1月10日 西消防署綾歌東部分署の庁舎耐震改修工事が竣工した。
- 3月29日 震災時の飲料水等の確保のため第6号飲料水兼用耐震性貯水槽(100 m³)1基を伏石町伏石中央公園内に設置した。
- 4月 1日 世羅義昭消防長退任し、14代目消防長に佐伯真作就任する。
- // 高松市職員定数条例の一部を見直し、採用の日から1年を経過しないものは職員の定数外とした。消防職員暫定定員394人、現員403人となる。
- 7月 1日 西消防署の庁舎耐震改修および増築改修工事が竣工した。
- 9月15日 香川県消防操法大会に前田分団が出場し、ポンプ車の部で優勝に輝いた。
- 10月12日 第12回高松市婦人防火大会を亀阜小学校で開催した。
- 10月16・17日 緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練が山口県において実施され、本市から車両2台、消防職員6名が参加した。
- 平成15年 3月30日 高松自動車道高松西インターチェンジから高松中央インターチェンジ区間の新規供用開始に伴い、徳島・香川県境から香川・愛媛県境までの区間において、県下8消防本部で香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する覚書および日本道路公団四国支社との高松自動車道における救急業務、火災消火業務等に関する覚書を締結した。平成13年3月29日付で締結した覚書は廃止した。
- 4月 1日 消防職員暫定定員400人、現員405人となる。
- 8月31日 高松市震災対策総合訓練が古高松中学校において実施され、住民2,000人が参加した。
- 9月14日 香川県消防操法大会に三谷分団が出場し、ポンプ車の部で優秀な成績を収めた。
- 10月16日 緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練が呉市において開催され、本市から車両5台、消防職員が9名参加した。
- 10月23日 全国女性消防操法大会が横浜市で開催され、香川県代表として古高松女性消防隊が出場し、8位に入賞した。
- 11月 1日 消防緊急情報システム整備工事が完了し、運用を開始した。
- 11月 1～4日 全国スポーツレクリエーション大会が香川県で開催され、高松市で実施されたスポーツの各会場において、職員が警備にあたった。

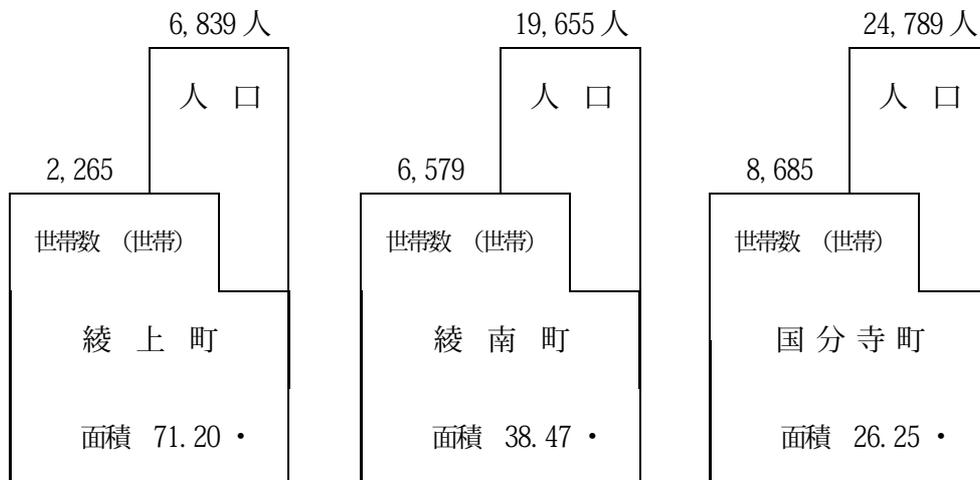
- 平成16年 2月 6日 消防庁長官から地域活動功勞として仏生山分団が表彰された。
- 2月13日 (財)日本消防協会から優良消防団員として高松市消防団に竿頭綬が授与された。
- 4月 1日 佐伯眞作消防長退任し、15代消防長に富永典郎就任する。
- 4月 1日 西消防署国分寺出張所に救急車隊を置き救急業務を開始した。
- 8月30日 台風16号の通過にともない、市内沿岸部を中心に台風による浸水が15,561戸34,421人り災した。
- 9月12日 香川県消防操法大会に檀紙分団が出場し、ポンプの部で優秀な成績を収めた。
- 10月12日 台風23号集中豪雨の影響で市内各地に避難勧告が発令されるとともに自衛隊の要請を行った。また、南部及び西部を流れる河川の氾濫により、特に山田地区及び鬼無地区では住宅が水に浸かり床上床下浸水により5,665戸、り災者数3702人が被害にあった。
- 10月16・17日 緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練が徳島県板野郡板野町において開催され、本市から車両3台、消防職員が6名参加した。
- 平成17年2月24日 消防庁長官から台風16号による豪雨災害に際し、被災者の救出・救護活動に尽くした功績により高松市消防団が表彰された。

市の位置および地勢

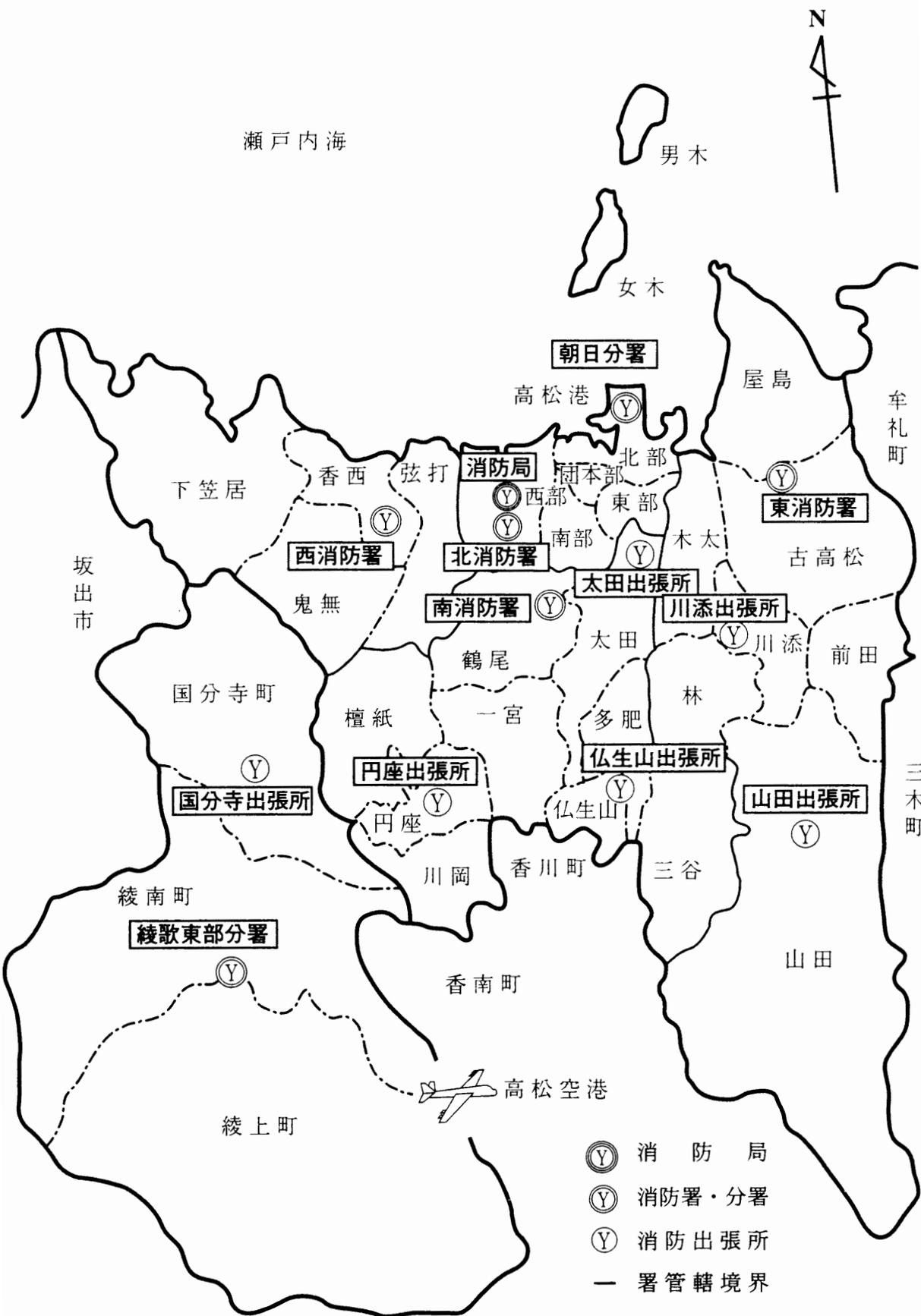
高松市は、香川県の中央部に位置し、東は、源平古戦場の屋島を隔てて木田郡庵治町・牟礼町に接し、西は風光明媚な海岸線をもつ下笠居を経て坂出市に至り、南は紫雲山麓の名勝栗林公園を抱き、香東川流域にある香川町・香南町と接し、さらには高松市の中心部に東西に渡り高松自動車道が延び、西は愛媛県から東は徳島県、または京阪神をつなぐ四国の要衝をなし、高松港外約4キロメートルのところに雌雄島が横たわり、付近には数多くの島嶼が点在し、瀬戸内海国立公園の中核をなしている。

地勢は、市中心部は概して平坦であるが、内海に面する北方を除き周辺部に丘陵が起伏している。

人口	338,238人	(平成17.4.1現在の住民基本台帳+外国人登録)
世帯数	141,969世帯	
位置	東経134°02′	北緯34°20′
面積	194.34km ²	
広ぼう	東西19.4km	南北27.7km

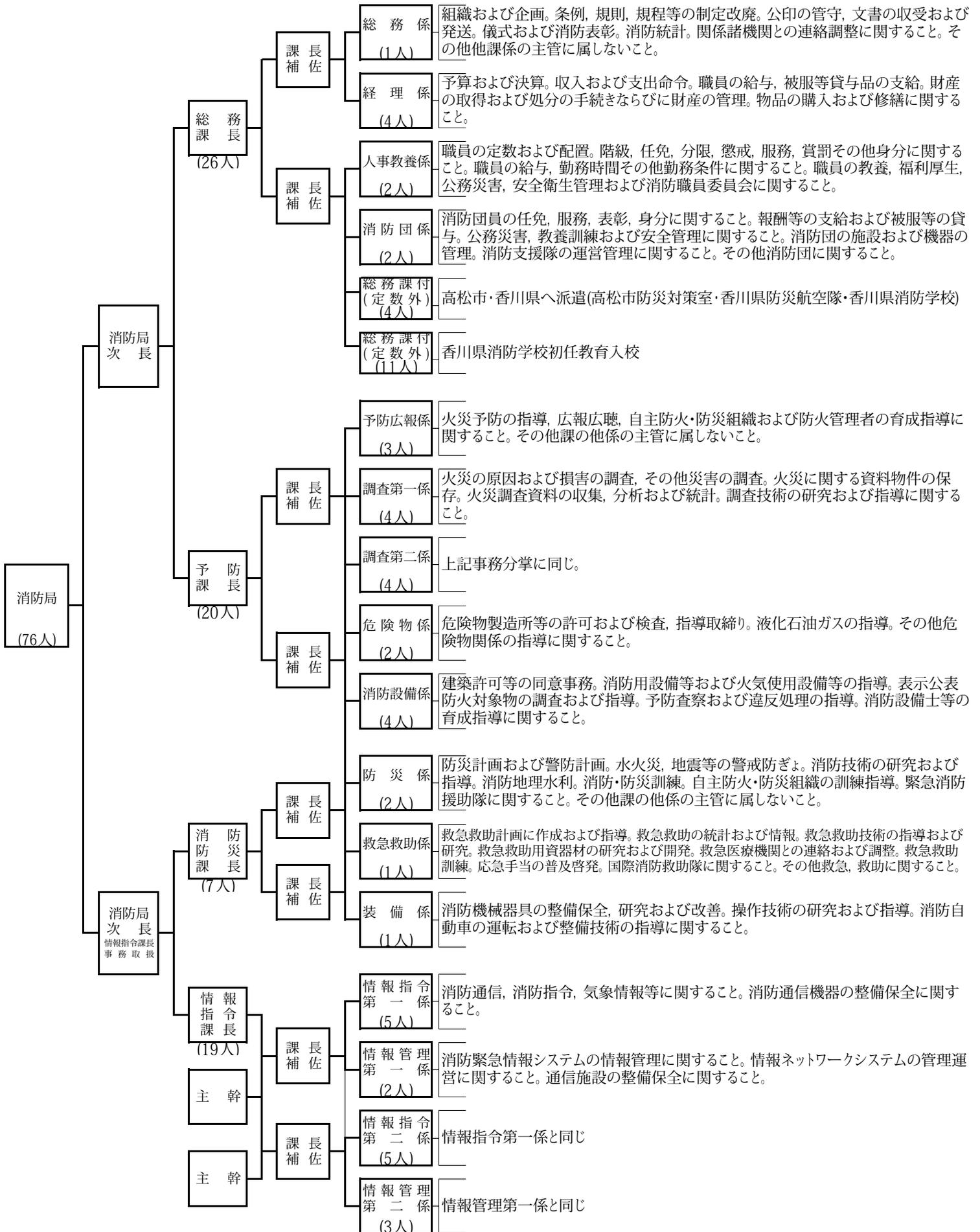


消防局・署所配置図



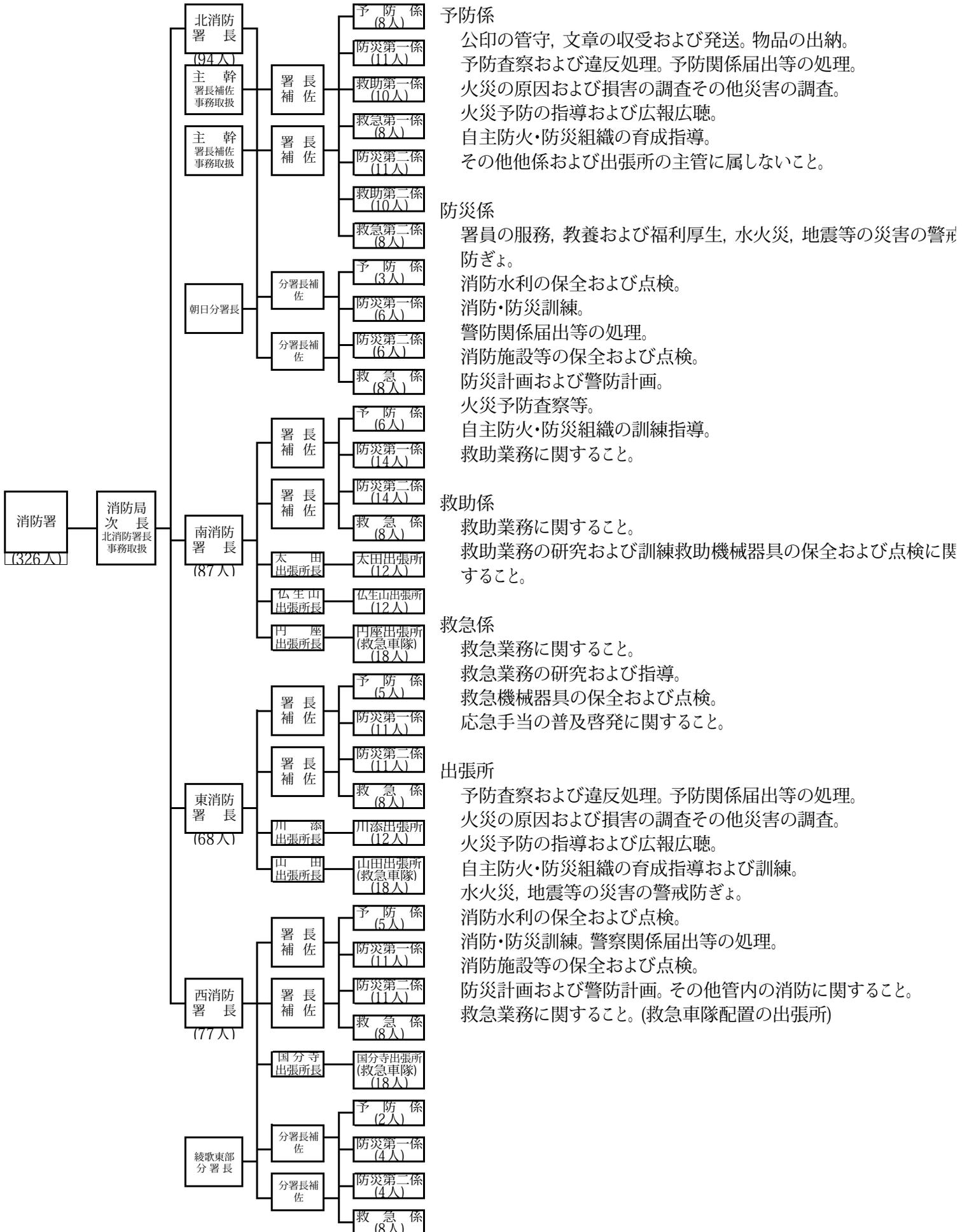
消防局の組織および事務分掌

(平成17年4月1日 現在)



消防署の組織および事務分掌

(平成17年4月1日 現在)



消 防 力 の 現 勢

(平成17年4月1日)

区 分	常 備	非 常 備
署 所 等	消 防 局 1 消 防 署 4 分 署 2 出 張 所 6	消 防 団 本 部 1 消 防 分 団 26 屯 所 55
消 防 車 両 等	消 防 ポンプ自動車 13 水 槽 付 消 防 ポンプ自動車 7 はしご付消防自動車 (50m級) 1 はしご付消防ポンプ自動車 (35m級) 1 はしご付消防自動車 (30m級先端屈折) 1 化学消防ポンプ自動車 2 救 助 工 作 車 1 ポンプ付救助工作車 1 化学機動車 1 電 源 照 明 車 2 指 令 車 5 原 因 調 査 車 1 広 報 車 6 査 察 車 8 高規格救急自動車 12 救 急 自 動 車 1 救急普及啓発広報車 1 支 援 車 1 積 載 車(トラック) 1 災 害 用 人 員 搬 送 車 1 小 型 動 力 ポンプ付積載車 1 積 載 車 1 小 型 動 力 ポンプ 17 小 型 動 力 ポンプ付水槽車 1	34 — — — — — — — — — — 1 — — — — — 6 15 19 —
人 員	定 員 400人 実 員 402人	定 員 806人 実 員 753人
消 防 水 利	消 火 栓 5,680 個 防 火 水 槽 407 個	

消 防 庁 舎 等 の 現 況

(平成17年4月1日)

区 分	所 在 地	構 造	敷地面積 (m ²)	建築面積 (m ²)	延べ面積 (m ²)	建 築 年 月 日	
消 防 局 庁 舎	宮脇町一丁目	鉄筋コンクリート造	2,039.01	1,190.40	4,937.86	49.6.30	
北 消 防 署 併 置 消 防 団 本 部	2番34号	地下1階地上4階建					
北 署	本 署	消防局庁舎の1, 2階を使用					
	訓 練 塔	鉄骨造		地 上 高 さ 33.8m		49.6.30	
	水 防 倉 庫 (自 転 車 置 場)	鉄骨造2階建		60.00	114.31	〃	
	自 転 車 置 場	鉄骨スレート造平家建		24.00	24.00	〃	
	油 庫	コンクリートブロック造平家建		7.50	7.50	平8.11.22	
	倉 庫	鉄骨コンクリートブロック造平家		21.76	21.76	〃	
	朝 日 分 署	朝日新町	鉄筋コンクリート造2階建	560.00	357.58	672.62	56.3.31
		1番16号					
	自 転 車 置 場	鉄骨造平家建		16.80	16.80	〃	
	油 庫	コンクリートブロック造平家建		10.00	10.00	〃	
南 署	本 署	東ハゼ町	鉄筋コンクリート造2階建	1,249.96	393.54	805.67	44.2.17
		17番地8					
	訓 練 塔		鉄筋コンクリート造		地 上 高 さ 29m		〃
	水 防 倉 庫 (自 転 車 置 場)		鉄骨造2階建		64.00	128.00	51.5.11
	油 庫		コンクリートブロック造平家建		9.78	9.78	〃
	仏 生 山 出 張 所	出作町	鉄筋コンクリート造平家建	1,281.00	224.63	224.63	55.3.31
		348番地6					
	倉 庫		コンクリートブロック造平家建		4.88	4.88	〃
	自 転 車 置 場		鉄骨造平家建		12.00	12.00	〃
	油 庫		コンクリートブロック造平家建		4.88	4.88	〃
	円 座 出 張 所	円座町	鉄筋コンクリート造2階建	639.86	143.10	222.40	58.2.28
		1035番地1				(増 築 61.91 平 8.3.12)	
	倉 庫 ・ 油 庫		コンクリートブロック造平家建		13.63	13.63	〃
	自 転 車 置 場		鉄骨造平家建		10.86	10.86	〃
太 田 出 張 所	松縄町	鉄筋コンクリート造平家建	454.69	205.89	205.89	59.3.31	
	29番地5						
油 庫 ・ 倉 庫		コンクリートブロック造平家建		18.25	18.25	〃	
自 転 車 置 場		鉄骨造平家建		7.26	7.26	〃	

区 分		所 在 地	構 造	敷 地 面 積 (m ²)	建 築 面 積 (m ²)	延 べ 面 積 (m ²)	建 築 年 月 日
東 署	本 署	高松町	鉄筋コンクリート造3階建	788.62	356.31	828.05	54.3.31
		91番地7				(増築30.19平6.11.7)	
	訓 練 塔		鉄骨造		地上高さ19.95m		〃
	水 防 倉 庫 (油 庫)		鉄骨造2階建		17.78	35.56	〃
	自 転 車 置 場		鉄骨造平家建		20.28	20.28	〃
	川 添 出 張 所	元山町	鉄筋コンクリート造2階建	509.66	134.52	224.52	56.4.22
		124番地5					
	倉 庫 ・ 油 庫		鉄骨ブロック造平家建		14.49	14.49	〃
	自 転 車 置 場		鉄骨造平家建		10.64	10.64	〃
	山 田 出 張 所	川島本町	鉄筋コンクリート造2階建	494.89	227.20	296.20	49.2.10
	191番地3						
	水 防 倉 庫		コンクリートブロック造平家建		30.00	30.00	〃
	油 庫		〃		2.00	2.00	51.8.22
	自 転 車 置 場		鉄骨平家建		7.20	7.20	49.2.10
西 署	本 署	香西南町	鉄筋コンクリート造2階建	3,089.32	442.55	748.83	56.3.31
		603番地1	(平6.11.2購入1,350)				
	訓 練 塔		鉄骨造		地上高さ20m		〃
	救 助 訓 練 施 設 塔 (3 棟)		〃				
			1棟169.65 2棟140.88 3棟181.67		地上高さ17m	492.20	9.3.31
	自 転 車 置 場		鉄骨造平家建		14.70	14.70	〃
	油 庫 (土のう置場)		コンクリートブロック造平家建		12.43	12.43	〃
	綾 歌 東 部 分 署	綾歌郡綾上町					
		山田下	鉄筋コンクリート造2階建	2,682.51	469.42	815.03	57.8.31
		1160番地1					
訓 練 塔		鉄骨造		地上高さ20m		〃	
油 庫		鉄筋コンクリート造平家建		11.72	11.72	〃	
国 分 寺 出 張 所	綾歌郡国分寺						
	町新名	鉄筋コンクリート造2階建	664.00	186.58	321.63	58.3.27	
	695番地4						
	水 防 倉 庫						
	油 庫		鉄骨ブロック造2階建		11.00	22.00	〃
	自 転 車 置 場						
無 線 中 継 所	西宝町西石清尾 国有林	鉄筋コンクリート造平家建	230.00	56.55	56.55	平8.11.22	

総務

総 務 課

総 務

- (1) 組織および企画に関すること。
- (2) 条例，規則，規定等の制定改廃に関すること。
- (3) 公印の管守に関すること。
- (4) 文書の收受および発送に関すること。
- (5) 儀式および消防表彰に関すること。
- (6) 消防統計に関すること。
- (7) 関係諸機関との連絡調整に関すること。
- (8) その他他課係の主管に属しないこと。

経 理 係

- (1) 予算および決算に関すること。
- (2) 収入および支出命令に関すること。
- (3) 職員の給与の支給に関すること。
- (4) 職員の被服等貸与品の支給に関すること。
- (5) 財産の取得および処分の手続ならびに財産の管理に関すること。
- (6) 物品の購入および修繕に関すること。

人事教養係

- (1) 職員の定数および配置に関すること。
- (2) 職員の階級，任免，分限，懲戒，賞罰その他身分に関すること。
- (3) 職員の給与，勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (4) 職員の教養に関すること。
- (5) 職員の福利厚生に関すること。
- (6) 職員の公務災害に関すること。
- (7) 職員の衛生および安全管理に関すること。
- (8) 消防職員委員会に関すること。

消 防 団 係

- (1) 消防団員の任免，服務，表彰その他身分に関すること。
- (2) 消防団員の報酬等の支給に関すること。
- (3) 消防団員の被服等の貸与に関すること。
- (4) 消防団員の公務災害に関すること。
- (5) 消防団員の教養訓練および安全管理に関すること。
- (6) 消防団の施設および機器の管理に関すること。
- (7) その他消防団に関すること。
- (8) 消防支援隊の運営管理に関すること。

予 算

単位:千円 (平成17年度)

一	般 会 計 予 算	102,589,000
消	防 費 (水防費含む)	3,919,954
市	予 算 に 対 す る 消 防 費 比 率 //	3.82 %
市	民 1 人 当 り の 消 防 費 (受託分含む)	10,085 円
一	世 帯 当 り の 消 防 費 //	24,659 円
常	備 消 防 費	3,581,662
	職 員 給 与 費 等	3,262,949
	人 事 管 理 費	38,800
	消 防 活 動 費	89,153
	消 防 業 務 受 託 事 業 費	23,447
	消 防 庁 舎 等 管 理 費	112,855
	消 防 庁 舎 等 整 備 費	4,794
	常 備 消 防 事 務 費	28,623
	自 主 防 災 組 織 等 育 成 費	21,041
非	常 備 消 防 費	132,744
	消 防 団 員 費	111,667
	消 防 団 活 動 費	16,711
	消 防 屯 所 管 理 費	4,366
消	防 施 設 費	197,894
水	防 費	7,654

市 予 算 と 消 防 予 算

単位:千円

年 度	市 予 算 (当 初)	消 防 予 算 (当 初)	比 率 (%)
平成 6 年度	97,841,400	4,088,472	4.18
7	105,284,236	4,156,814	3.95
8	113,563,000	4,324,083	3.81
9	114,762,957	4,351,348	3.79
10	114,491,500	4,429,134	3.87
11	114,251,000	4,691,554	4.11
12	122,525,000	4,493,701	3.67
13	111,511,000	4,314,953	3.87
14	113,650,000	4,554,861	4.01
15	117,100,000	4,216,748	3.60
16	114,794,000	4,138,943	3.61
17	102,589,000	3,919,954	3.82

諸手当支給状況

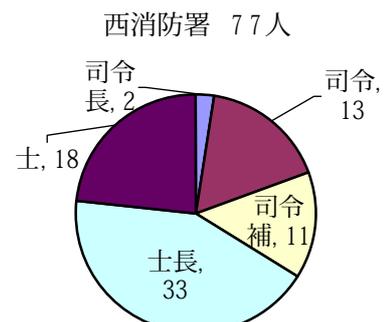
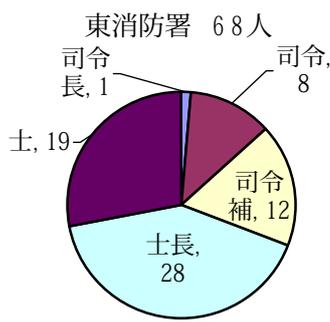
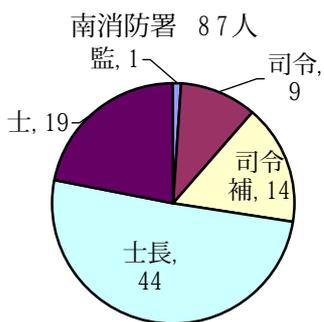
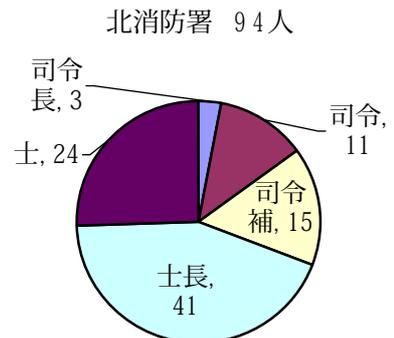
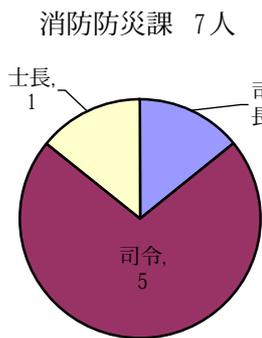
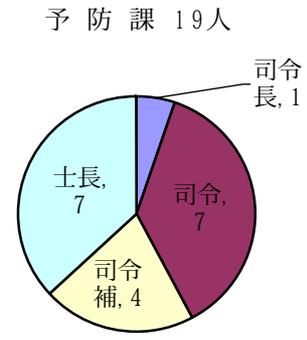
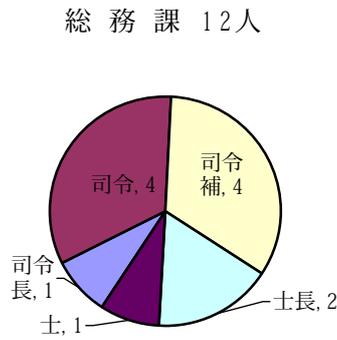
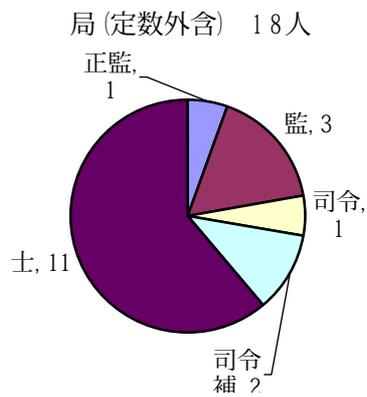
(平成17年4月1日)

種 別	対 象 者	単 位	支給額(円)
消 防 業 務 手 当	消防業務に従事する消防吏員（救急業務手当および救助業務手当に定める者を除く）	月 額	1,700
消 防 自 動 車 乗 務 職 員 手 当	(1) 大型免許を要する消防用自動車の運転に従事した消防吏員	1 勤務につき	240
	(2) 普通自動車を要する消防ポンプ自動車の運転に従事した消防吏員	1 勤務につき	210
	(3) 普通免許を要する消防用自動車の運転に従事した消防吏員	1 勤務につき	190
夜 間 特 殊 業 務 手 当	隔日勤務者で、正規の勤務時間による勤務の一部または全部が深夜（午後10時から翌日の午前5時までの間）において行われる業務に従事した消防吏員		
	ア 深夜勤務が5時間以下のもの イ 深夜勤務が2時間未満のもの	1 回につき 1 回につき	730 410
救 急 業 務 手 当	(1) 救急救命士の資格を有する消防吏員で救急救命処置の業務に従事するもの	月 額	7,000
	(2) 救急業務に従事する消防吏員（前号に定めるものを除く）	月 額	3,400
救 助 業 務 手 当	救助業務に従事する消防吏員	月 額	3,400
年 末 年 始 勤 務 手 当	年末年始に平常勤務の態様で勤務に従事した消防吏員	1 日につき	1,700
災 害 応 急 作 業 等 手 当	(1) 異常な自然現象により重大な災害が発生し、または発生するおそれがある現場において巡回監視の業務に従事した職員	1 日につき	480
	(2) 異常な自然現象により重大な災害が発生した箇所または発生するおそれの著しい箇所で応急作業または応急作業のための災害状況の調査の業務に従事した職員	1 日につき	730

消防職員の推移と配置状況

(平成17年4月1日)

階級別 年度別	総 数	正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士
平成5年度	388	1	2	9	25	44	114	97	96
6	388	1	2	9	33	41	110	94	98
7	392	1	2	9	36	39	108	94	103
8	396	1	2	9	35	45	119	79	106
9	394	1	2	9	35	50	131	63	103
10	396	1	2	12	28	62	131	53	107
11	395	1	2	12	29	71	132	49	99
12	396	1	2	11	32	74	128	54	94
13	394	1	3	12	39	85	136	41	77
14	404	1	3	12	43	82	152	18	93
15	405	1	3	12	50	74	169	-	96
16	406	1	4	11	56	72	164	-	98
17	402	1	3	12	62	67	163	-	94



消防職員状況

(平成17年4月1日)

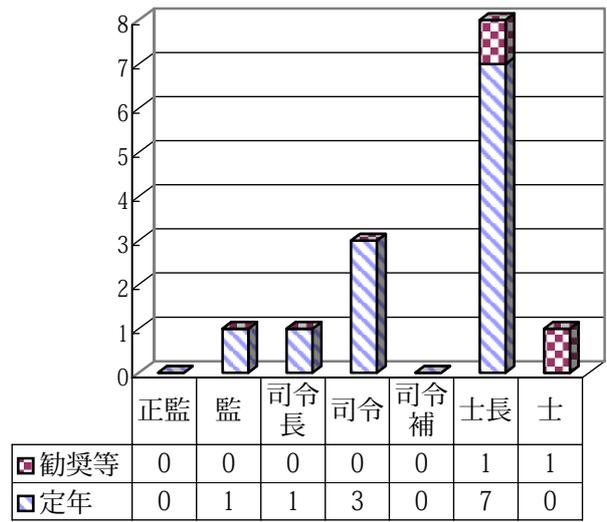
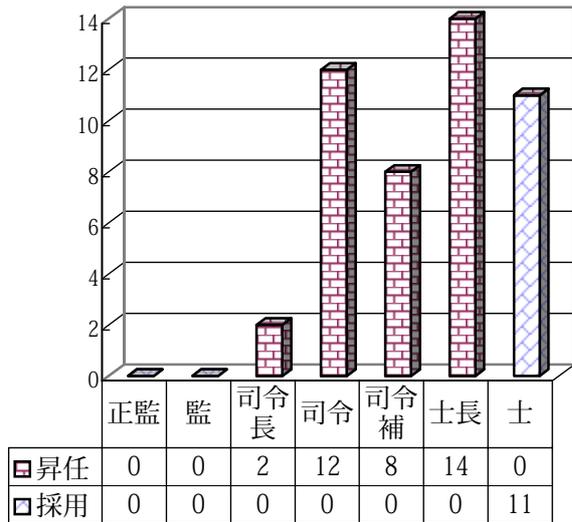
年齢別

勤続年数別



消防職員の任用および退職状況

(平成16年度)



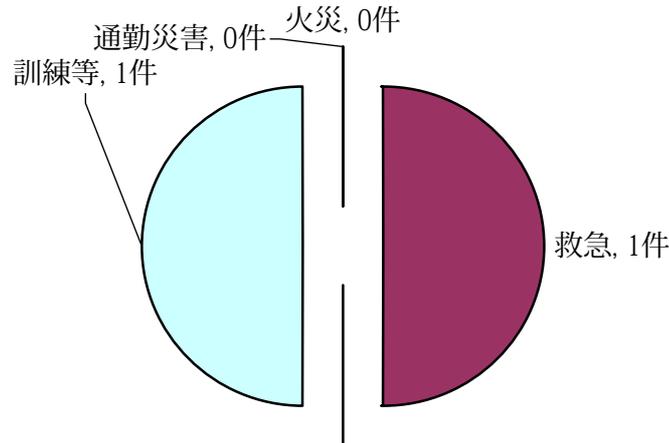
消防職員資格等状況

(平成17年4月1日)

区分		総数	59歳	54歳	49歳	44歳	39歳	34歳	29歳	24歳
			～55歳	～50歳	～45歳	～40歳	～35歳	～30歳	～25歳	～18歳
大型1種	2級小型船舶操縦士	162	38	40	16	20	5	21	19	3
	第1級陸上特殊無線技士	79	28	18	8	14	3	3	4	1
	はしご自動車講習	11	5	2	-	4	-	-	-	-
	第3種冷凍機械	56	13	18	3	11	4	4	3	-
		5	1	-	-	1	-	3	-	-
予防関係	危険物甲種	2	1	-	-	-	-	-	1	-
	" 乙種	129	16	13	4	8	-	20	64	4
	" 丙種	11	-	-	-	1	-	5	4	1
	消防設備士甲種	9	5	1	2	1	-	-	-	-
	" 乙種	14	5	2	2	-	-	2	3	-
救急関係	救急救命士	39	5	3	6	5	5	9	6	-
	救急標準課程	99	1	2	-	-	3	24	58	11
	救急Ⅱ課程	106	31	25	9	27	9	5	-	-
	救急Ⅰ課程	262	99	75	28	45	10	5	-	-
	応急手当指導員	107	26	20	6	15	9	16	15	-
安全衛生関係	潜水士	57	4	10	6	14	2	9	10	2
	第二種酸素欠乏者危険作業主任者	59	-	3	2	10	2	15	23	4
	ガス溶接	19	-	-	-	3	1	11	4	-
	安全衛生推進者	20	12	3	1	2	-	2	-	-
	第一種衛生管理者	15	1	1	5	5	2	1	-	-
	小型移動式クレーン運転技能	36	1	4	3	13	-	9	6	-
	玉掛技能	12	-	-	-	1	-	5	6	-

公務災害等発生状況

(平成16年度)



消防職員等表彰状況

(平成16年度)

区分	総数	消長防庁官	知事	市長	消防局長	日協会本消防会長	香消会川防協 県会長	全消会防長 国会長	全消会防協 国長長	その他
消防職員	126	5	7	15	9	16	15	58	1	-
永年勤続功労章	72	5	5	-	-	-	4	58	-	-
功績章	3	-	-	-	-	1	2	-	-	-
精積章	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
勤続章	24	-	-	-	-	15	9	-	-	-
現場功労	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
永年勤続	15	-	-	15	-	-	-	-	-	-
優良職員	10	-	-	-	9	-	-	-	1	-
幼少年婦人防火委員会	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4
婦人防火クラブ	13	-	-	-	-	-	-	-	-	13
幼年消防クラブ	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4
少年消防クラブ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
消防協力者等	15	-	-	-	15	-	-	-	-	-

署別人口・世帯数・面積の状況

(平成17年4月1日)

区分	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (k m ²)
総数	389,521	159,498	330.26
北消防署	78,674	38,132	15.37
南消防署	108,072	44,024	55.35
東消防署	117,395	46,324	86.37
西消防署	85,380	31,018	173.17
消防職員1人当たり	969.0	396.8	0.82
消防ポンプ自動車1台当たり	19,476.0	7,974.9	16.5
救急車1台当たり	38,952.1	15,949.8	33.03

消 防 職 員 研 修 等 状 況

(平成16年度)

区 分	種 別	研修日数	人数	研修対象
消防大学校	専科教育 火災調査科	46	1	消防士長以上
	幹部研修科	66	1	消防司令以上
	予防科	66	1	消防司令補以上
	違反是正講習会	5	1	係長級
香川県消防学校	初任教育	124	18	新規採用職員
	専科教育 救助科	20	8	救助業務従事者等
	救急科(救急標準課程)	36	18	新規採用職員等
	予防科火災調査課程	10	8	予防業務従事者等
	特別教育 気管挿管講習	9	4	救急救命士
	小型クレーン・玉掛技能講習	5	4	—
応急手当指導員講習	2	8	—	
救急救命東京研修所	救急救命士	約6ヵ月	1	救急係員
救急救命九州研修所	救急救命士	約6ヵ月	1	救急係員
実務研修	独立行政法人消防研究所 火災原因調査基礎講座	2	1	調査係員
	海洋科学技術センター 潜水技術研修	10	2	救助係員
	安全衛生教育センター 安全衛生管理講座	4	1	安全衛生担当者
	香川救命救急研究会 外傷セミナー	1	4	救急救命士
資格取得研修	第1種大型自動車運転免許	—	2	—
	第1種衛生管理者	4	1	—
	安全衛生推進者養成講習	2	4	—
	潜水土	3	2	—
	ガス溶接技能	2	2	—
	第2種酸素欠乏危険作業主任技能	2	2	—
	2級小型船舶操縦士免許	2	1	—
	第3種冷凍機械責任者	1	1	—
	第3種冷凍機械講習・検定	4	2	—
第1級陸上特殊無線技士	12	1	情報指令課員	
職場内研修	課内研修等 総務課	6	—	課員
	予防課	5	—	課員
	消防防災課	6	—	課員
	情報指令課	4	—	課員
	北消防署	48	—	署員
	南消防署	63	—	署員
	東消防署	70	—	署員
西消防署	36	—	署員	

消防相互応援協定等の締結状況

平成17年4月1日現在

船舶消防相互援助協定

昭和44年6月13日締結 高松市長・高松海上保安部長

ガス爆発事故等防止対策に関する協定

昭和56年5月30日締結 高松市消防局長・高松北警察署長・高松南警察署長・高松東警察署長・四国瓦斯(株)高松支店長・四国簡易ガス協会会長・香川県一般高圧ガス保安協会会長・(株)香川県エルピーガス保安協会会長・香川県冷凍設備保安協会会長・香川県高圧ガス防災協議会長・四国電力(株)高松営業所

消防業務の事務委託に関する規約

昭和56年10月1日締結 高松市長・綾上町長・綾南町長・国分寺町長

ガス爆発事故等防止対策に関する覚書

昭和51年6月1日締結 高松市消防局長・四国瓦斯(株)高松支店長

香川県消防相互応援協定

昭和61年12月1日締結 香川県下5市長・38町長・6消防組合管理者

高松空港およびその周辺における消火救難活動に関する協定

平成元年12月16日締結 運輸省大阪航空局高松空港長・讃岐地区広域消防組合管理者・高松市長・塩江町長・香南町長・綾南町長・三木町長・香川町長・綾上町長・国分寺町長

香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定

平成6年1月20日締結 高松市長・香川県知事

香川県防災ヘリコプター応援協定

平成6年4月1日締結 香川県知事・香川県下5市長・38町長・6消防組合管理者

中国・四国地区都市防災連絡協議会災害時相互応援協定

平成8年3月28日締結 高松市長・鳥取市長・松江市長・岡山市長・広島市長・山口市長・徳島市長・松山市長・高知市長

香川県消防学校派遣職員の取扱に関する協定

平成8年4月1日締結 高松市長・香川県知事

災害発生時における女木島・男木島への渡島応援協定書

平成13年5月30日締結 高松市長・高松市瀬戸内漁業組合長・株式会社瀬戸内マリン代表取締役・海望企画株式会社取締役社長

香川県消防相互応援協定に基づく高速自動車道に関する覚書

平成15年3月30日締結 高松市消防局長・坂出市消防長・飯綾消防組合消防長・丸亀市消防長・善通寺市消防長・三豊地区広域市町村圏振興事務組合消防長・大川広域消防長・讃岐地区広域消防長

高松自動車道（徳島・香川県境～香川・愛媛県境）救急業務、火災消火業務等に関する覚書

平成15年3月30日締結 高松市消防局長・坂出市消防長・飯綾消防組合消防長・丸亀市消防長・善通寺市消防長・三豊地区広域市町村圏振興事務組合消防長・大川広域消防長・讃岐地区広域消防長・日本道路公団四国支社営業部長

鉄道災害時の安全対策に関する覚書（J R 四国）

平成 15 年 12 月 1 日締結 高松市消防局・坂出市消防本部・丸亀市消防本部・善通寺市消防本部・三豊地区広域市町村圏振興事務組合消防本部・仲多度南部消防組合消防本部・多度津町消防本部・大川広域消防本部・讃岐地区広域消防本部・四国旅客鉄道株式会社

鉄道災害時の安全対策に関する覚書（コトデン）

平成 15 年 12 月 9 日締結 高松市消防局・仲多度南部消防組合消防本部・大川広域消防本部・飯綾消防組合消防本部・讃岐地区広域消防本部・高松琴平電気鉄道株式会社

事後検証業務委託協定書及び救急隊員が行う救急活動に係る事後検証業務委託に関する覚書（香川救命救急研究会および香川県メディカルコントロール協議会）

平成 16 年 5 月 1 日締結 高松市消防局・坂出市消防本部・丸亀市消防本部・三豊地区広域市町村圏振興事務組合消防本部・仲多度南部消防組合消防本部・多度津町消防本部・小豆地区消防本部・大川広域消防本部・飯綾消防組合消防本部・讃岐地区広域消防本部・香川救命救急研究会・香川県メディカルコントロール協議会

火災調査協力員に関する協定

平成 16 年 6 月 1 日締結 高松市消防局・独立行政法人消防研究所

予

防

予 防 課

予防広報係

- (1) 火災予防の指導に関すること。
- (2) 広報広聴に関すること。
- (3) 自主防火・防災組織の育成指導に関すること。
- (4) 防火管理者の育成指導に関すること。
- (5) その他課の他係の主管に属しないこと。

調査第一係 調査第二係

- (1) 火災の原因および損害の調査その他災害の調査に関すること。
- (2) 火災に関する資料物件の保存に関すること。
- (3) 火災調査資料の収集、分析および統計に関すること。
- (4) 調査技術の研究および指導に関すること。

危険物係

- (1) 危険物製造等の許可および検査に関すること。
- (2) 危険物製造所等の指導取締りに関すること。
- (3) 液化石油ガスの指導に関すること。
- (4) その他危険関係の指導に関すること。

消防設備係

- (1) 建築許可等の同意事務に関すること。
- (2) 消防用設備等の指導に関すること。
- (3) 火気使用設備等の指導に関すること。
- (4) 表示公表防火対象物の調査および指導に関すること。
- (5) 予防査察および違反処理の指導に関すること。
- (6) 消防設備士等の育成指導に関すること。

防 火 対 象 物 状 況

(平成17年4月1日)

用途別	署 別	総	第防	第防	北	第防	第防	南	第防	第防	東	第防	第防	西	第防	第防	受	第防	第防
		数	火 一対 象 種物	火 二対 象 種物	署	火 一対 象 種物	火 二対 象 種物	署	火 一対 象 種物	火 二対 象 種物	署	火 一対 象 種物	火 二対 象 種物	署	火 一対 象 種物	火 二対 象 種物	託	火 一対 象 種物	火 二対 象 種物
消	総	11,615	4,612	7,003	4,307	2,016	2,291	2,853	996	1,857	2,723	990	1,733	888	283	605	844	327	517
防	1項	9	8	1	6	5	1	1	1	—	1	1	—	—	—	—	1	1	—
法	2項	259	257	2	36	36	—	70	70	—	65	63	2	39	39	—	49	49	—
施	3項	19	18	1	4	4	—	2	2	—	5	5	—	3	3	—	5	4	1
行	4項	432	389	43	126	110	16	151	140	11	90	83	7	21	19	2	44	37	7
令	5項	723	496	227	218	134	84	233	163	70	177	135	42	33	18	15	62	46	16
別	6項	166	86	80	109	54	55	12	2	10	29	22	7	4	2	2	12	6	6
表	7項	3,127	720	2,407	1,020	282	738	908	170	738	927	222	705	188	34	154	84	12	72
第	8項	263	141	122	83	53	30	79	39	40	66	32	34	13	8	5	22	9	13
一	9項	177	153	24	31	27	4	51	44	7	60	50	10	11	10	1	24	22	2
の	10項	48	46	2	8	8	—	16	16	—	15	15	—	5	5	—	4	2	2
防	11項	118	114	4	40	38	2	27	27	—	26	25	1	12	12	—	13	12	1
火	12項	6	5	1	2	1	1	—	—	—	2	2	—	1	1	—	1	1	—
対	13項	16	15	1	16	15	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
象	14項	23	13	10	10	2	8	4	4	—	6	5	1	1	1	—	2	1	1
物	15項	6	2	4	4	2	2	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—
	16項	148	88	60	16	10	6	48	32	16	44	26	18	20	17	3	20	3	17
	17項	1,161	105	1,056	148	18	130	279	15	264	382	28	354	182	21	161	170	23	147
	18項	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—
	19項	143	2	141	99	2	97	11	—	11	19	—	19	7	—	7	7	—	7
	20項	2	—	2	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1	—	1
	21項	910	18	892	205	6	199	255	4	251	224	2	222	125	—	125	101	6	95
	22項	1,214	428	786	563	251	312	315	80	235	170	55	115	79	16	63	87	26	61
	23項	1,728	1,258	470	1,094	838	256	217	139	78	254	179	75	81	53	28	82	49	33
	24項	834	184	650	433	96	337	157	31	126	143	25	118	57	20	37	44	12	32
	25項	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	26項	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	27項	4	2	2	—	—	—	1	1	—	1	1	—	—	—	—	2	—	2
	28項	12	—	12	12	—	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	29項	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30項	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注1 第一種防火対象物とは、防火管理者を必要とする防火対象物および共同防火管理を必要とする防火対象物

地 下 ・ 地 上 階 の

階 別 用 途 別		地下	地下	〃	〃	地上階	4	5	
		総	1	2	3		階	階	階
数		数	階	階	階	数	階	階	
	総	783	728	49	6	3,547	1,681	814	
消	1 項	イ 劇 場 ・ 映 画 館	9	9	—	—	6	4	—
		ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	4	4	—	—	7	3	3
防	2 項	イ キャバレー・ナイトクラブ	—	—	—	—	1	—	1
		ロ 遊 技 場 ・ ダンスホール	9	9	—	—	4	2	—
法	3 項	ハ 風 俗 営 業 等	—	—	—	—	3	2	1
		イ 待 合 ・ 料 理 店	1	1	—	—	3	3	—
施	4 項	ロ 飲 食 店	31	31	—	—	43	16	18
		百 貨 店 ・ マーケット	30	27	2	1	82	44	23
行	5 項	イ 旅 館 ・ ホ テ ル	21	20	1	—	71	20	8
		ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	66	65	1	—	1,379	596	301
令	6 項	イ 病 院 ・ 診 療 所	26	25	1	—	100	46	24
		ロ 老 人 福 祉 施 設 等	16	15	1	—	27	15	6
表	7 項	ハ 幼 稚 園 ・ 養 護 学 校	1	1	—	—	1	1	—
		学 校	20	20	—	—	121	89	19
第	8 項	図 書 館 ・ 美 術 館	4	4	—	—	2	2	—
		イ 蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	1	1	—	—	15	11	3
一	9 項	ロ 公 衆 浴 場	—	—	—	—	1	1	—
		停 車 場	1	1	—	—	0	—	—
の	10 項	社 寺 ・ 教 会	11	11	—	—	4	3	1
		イ 工 場 ・ 作 業 場	11	9	2	—	36	30	2
防	11 項	ロ 映 画 ・ テレビスタジオ	—	—	—	—	0	—	—
		イ 車 庫 ・ 駐 車 場	6	3	3	—	18	13	3
火	12 項	ロ 格 納 者	—	—	—	—	—	—	—
		倉 庫	4	4	—	—	28	19	6
対	13 項	上 記 以 外 の 事 業 所	198	176	19	3	390	151	82
		イ 複 合 用 途 (特 定 含 む)	256	241	13	2	829	423	219
象	14 項	ロ 〃 (そ の 他)	57	51	6	—	376	187	94
		16 の 2 項 地 下 街	—	—	—	—	—	—	—
物	15 項	準 地 下 街	—	—	—	—	—	—	—
		文 化 財	—	—	—	—	—	—	—
16 項	ア	一	—	—	—	—	—	—	
		ケ	—	—	—	—	—	—	

各種訓練等の指導状況

(平成16年度)

用途別	区分	総数	自衛消防隊	と訓練の合同	避難訓練等	消防の指導	等の指導	防火講話	防火座談会	防火映画	消火実験	その他	参加人数	
	総数	319		8	175	105	258	34	72	76	116		36,295	
消防法施行令別表第一の防火対象物	1項	イ 劇場・映画館 ロ 公会堂・集会場	4	—	2	—	1	1	—	1	1	1	114	
	2項	イ キャバレー・ナイトクラブ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		ロ 遊技場・ダンスホール	1	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	4
	3項	イ 風俗営業等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		ロ 待合・料理店 飲食店	1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	5
	4項	百貨店・マーケット	9	—	10	8	8	—	—	—	2	6	273	
	5項	イ 旅館・ホテル	3	—	3	1	1	—	—	—	2	1	990	
		ロ 寄宿舎・共同住宅	7	—	5	3	6	1	3	4	3	3	215	
	6項	イ 病院・診療所	10	—	8	4	6	—	1	6	1	1	369	
		ロ 老人福祉施設等	44	—	44	28	42	2	16	8	10	10	2,775	
	7項	ハ 幼稚園・養護学校	6	1	7	2	6	—	2	—	5	9	1,511	
	8項	学 校	46	2	39	16	44	4	4	11	9	19,541		
	9項	図書館・美術館	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	10項	イ 蒸気浴場・熱気浴場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		ロ 公衆浴場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11項	停車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	12項	社寺・教会	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	41
	13項	イ 工場・作業場	6	—	5	6	5	—	—	5	1	1	323	
ロ 映画・テレビスタジオ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
14項	イ 車庫・駐車場	1	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	16	
	ロ 格納者庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
15項	倉庫	2	—	1	1	—	—	—	—	—	1	2		
16項	上記以外の事業所	14	—	11	5	11	1	2	18	3	3	981		
16の2項	イ 複合用途(特定含む)	29	—	21	2	14	4	—	4	12	12	1,132		
	ロ " (その他)	2	—	1	—	1	—	1	—	1	—	877		
16の3項	地下街	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
17項	準地下街	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
18項	文化財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
物	ア ケー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	イ 危険物施設	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	15	
	ロ 自治会・その他	24	—	4	5	22	3	3	3	4	4	1,406		
	庁舎見学	56	—	—	8	53	7	29	—	44	44	3,377		
	自主防火組織等	34	3	5	11	22	2	2	4	10	10	1,302		

防火宣伝実施状況

(平成16年度)

区分	実施状況
宣伝回数(回)	286
延べ時間(時間)	407:30
延べ人員(人)	775

各種届出等事務処理状況

(平成16年度)

区分		署別	総数	北署	南署	東署	西署	受託
防関 火 管 理 係	計		755	330	167	147	47	64
	防火管理者選任届		414	178	93	83	25	35
	防火管理者解任届		303	116	73	64	21	29
	共同防火管理協議事項の届		38	36	1	—	1	—
消 防 用 設 備 等 届	計		624	440	113	3	24	44
	防火対象物使用開始届		308	114	133	16	22	23
	消防用設備等設置届		780	492	119	38	61	70
	消防用設備等点検報告		1,728	860	448	48	186	186
消 着 防 用 工 設 備 等 届	計		355	181	111	10	24	29
	第一種		77	48	14	—	6	9
	第二種		5	2	3	—	—	—
	第三種		13	8	3	1	1	—
	第四種		190	84	65	7	15	19
	第五種その他		38	18	18	—	1	1
火 を 使 用 す る 設 備 等 の 届 出	計		195	93	58	6	15	23
	炉		1	1	—	—	—	—
	風炉		—	—	—	—	—	—
	厨房設備		2	1	1	—	—	—
	温風暖房機		1	—	1	—	—	—
	ボイラー・給湯沸設備		26	7	10	1	3	5
	乾燥設備		3	—	3	—	—	—
	サウナ設備		—	—	—	—	—	—
	ヒートポンプ冷暖房機		2	2	—	—	—	—
	火花を生ずる設備		—	—	—	—	—	—
	放電加工機		—	—	—	—	—	—
	変電設備		86	38	24	3	5	16
	蓄電池設備		38	21	9	1	5	2
	発電設備		33	21	9	1	2	—
ネオン管灯設備		3	2	1	—	—	—	
水素ガスを充てんする気球の設備		—	—	—	—	—	—	
ま ぎ ら わ し い 火 災 と 行 為 届	計		153	36	58	1	16	42
	火災とまぎらわしい煙等行為届		54	12	18	1	6	17
	煙火打上(仕掛)届		85	11	40	—	10	24
	催物開催届		14	13	—	—	—	1
危 険 物 等 の 届	計		185	48	55	44	20	18
	少量危険物貯蔵取扱届		39	15	8	6	5	5
	少量危険物貯蔵取扱廃止届		25	6	4	5	3	7
	毒劇物貯蔵取扱届		—	—	—	—	—	—
	毒劇物貯蔵取扱廃止届		—	—	—	—	—	—
	指定可燃物貯蔵取扱届		16	10	1	4	1	—
	指定可燃物貯蔵廃止届		8	6	—	2	—	—
	液化石油ガス届		94	9	42	27	10	6
	液化石油ガス廃止届		2	1	—	—	1	—
そ の 他	計		48	14	5	20	3	6
	修学旅行宿泊設備調査		2	2	—	—	—	—
	旅館等関係意見書処理		—	—	—	—	—	—
	液化石油ガス意見書処理		1	—	—	—	1	—
	液化石油ガス設備工事届		30	2	4	16	2	6
裸火使用承認申請		15	10	1	4	—	—	
各 種 証 明		257	106	30	111	9	1	

危険物施設立入検査状況

(平成16年度)

署別 製造所等の区分	総数		北署		南署		東署		西署		受託	
	施設数	立入検査数	施設数	立入検査数	施設数	立入検査数	施設数	立入検査数	施設数	立入検査数	施設数	立入検査数
総数	1,319	285	527	31	239	120	215	66	165	17	173	51
製造所	7	—	4	—	—	—	—	—	3	—	—	—
屋内貯蔵所	148	5	53	1	20	4	34	—	20	—	21	—
屋外タンク貯蔵所	88	—	51	—	7	—	10	—	8	—	12	—
屋内タンク貯蔵所	33	2	19	1	5	1	3	—	4	—	2	—
地下タンク貯蔵所	323	71	107	18	62	30	70	11	40	4	44	8
簡易タンク貯蔵所	2	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—
移動タンク貯蔵所	232	17	156	—	31	5	15	9	24	—	6	3
屋外貯蔵所	37	2	14	—	5	2	2	—	15	—	1	—
給油取扱所	300	176	62	9	90	71	55	45	33	12	60	39
第一種販売取扱所	6	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第二種販売取扱所	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
移送取扱所	3	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一般取扱所	139	12	51	2	19	7	26	1	17	1	26	1

月 別 消 防 手 数 料 状 況

(平成16年度)

単位:円

区分 月別	総 数		危険物関係 設置許可		危険物関係 変更許可		危険物関係 設置完成 検 査		危険物関係 変更完成 検 査		危険物関係 水圧検査		危険物関係 水張検査		危険物関係 溶接部検査		危険物関係 使用承認		危険物 貯取 承認		火災予 防水 防圧 検査		火災予 防水 防張 検査		火災その 他 の 証 明	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総 数	476	3,612,400	13	410,000	62	1,245,500	14	218,000	62	617,800	24	369,600	7	57,000	—	—	43	232,200	34	183,600	5	35,000	30	180,000	182	63,700
4 月	41	246,350	1	52,000	3	49,000	1	13,000	5	62,000	2	38,800	—	—	—	—	2	10,800	—	—	—	—	2	12,000	25	8,750
5 月	34	333,450	2	78,000	5	138,000	1	13,000	4	44,500	1	11,000	—	—	—	—	5	27,000	1	5,400	—	—	2	12,000	13	4,550
6 月	32	227,000	2	78,000	2	45,500	1	13,000	2	29,500	1	11,000	—	—	—	—	2	10,800	4	21,600	—	—	2	12,000	16	5,600
7 月	38	364,650	1	26,000	8	123,500	4	91,000	2	19,500	3	45,400	2	17,000	—	—	4	21,600	2	10,800	—	—	1	6,000	11	3,850
8 月	32	285,900	1	26,000	4	91,000	1	13,000	8	71,500	4	48,000	—	—	—	—	2	10,800	2	10,800	—	—	2	12,000	8	2,800
9 月	45	334,950	1	26,000	6	120,500	—	—	3	32,500	3	41,400	1	11,000	—	—	3	16,200	12	64,800	—	—	3	18,000	13	4,550
10 月	64	483,750	1	26,000	9	215,500	—	—	11	113,750	1	11,000	—	—	—	—	7	37,800	10	54,000	—	—	3	18,000	22	7,700
11 月	46	423,950	1	26,000	10	159,500	—	—	13	127,500	2	34,800	1	11,000	—	—	5	27,000	—	—	1	11,000	4	24,000	9	3,150
12 月	22	170,150	1	26,000	3	52,000	1	13,000	4	26,000	2	39,200	—	—	—	—	1	5,400	1	5,400	—	—	—	—	9	3,150
1 月	33	154,250	1	26,000	2	32,500	1	13,000	1	1,300	—	—	1	6,000	—	—	2	10,800	1	5,400	—	—	9	54,000	15	5,250
2 月	42	299,800	—	—	8	166,500	1	13,000	2	19,500	2	22,000	1	6,000	—	—	8	43,200	—	—	4	24,000	—	—	16	5,600
3 月	47	288,200	1	20,000	2	52,000	3	36,000	7	70,250	3	67,000	1	6,000	—	—	2	10,800	1	5,400	—	—	2	12,000	25	8,750

年度別建築同意事務処理状況

年別	区別	総 数	消 防 法 施 行 令 別 表 第 一 の 防 火 対 象 物	住 宅
	昭和58年度	2,347	589	1,758
	59	1,390	712	678
	60	1,259	632	627
	61	1,348	702	646
	62	1,582	884	698
	63	1,513	858	655
	平成元年度	1,590	934	656
	2	1,534	890	644
	3	1,455	821	634
	4	1,508	858	650
	5	1,624	920	704
	6	1,472	767	705
	7	1,401	743	658
	8	1,553	730	823
	9	1,368	721	647
	10	1,235	645	590
	11	957	696	261
	12	927	714	213
	13	869(3)	674 (2)	195 (1)
	14	848(13)	671 (7)	177 (6)
	15	828(99)	604(72)	224 (27)
	16	945(298)	667(214)	278(84)

()内は、指定認可機関からの同意数

月別建築同意事務処理状況

(平成16年度)

月別 区別	総数	消防法施行令別表 第一の防火対象物						住 宅					
		計	北 署	南 署	東 署	西 署	受 託	計	北 署	南 署	東 署	西 署	受 託
総数	945 (298)	667 (214)	156 (43)	209 (76)	203 (66)	52 (15)	46 (14)	278 (84)	53 (25)	106 (26)	58 (23)	22 (6)	39 (5)
4月	64 (18)	49 (13)	16 (3)	18 (6)	7 (3)	2	6 (1)	15 (5)	6 (4)	5 (1)	—	—	4
5月	73 (17)	43 (13)	5	12 (3)	22 (7)	3 (2)	1 (1)	29 (4)	4 (1)	15 (2)	5 (2)	1	4
6月	103 (22)	72 (17)	17 (3)	24 (6)	22 (7)	5	4 (1)	31 (5)	7 (1)	9	5 (4)	5	5
7月	73 (26)	49 (21)	9 (1)	18 (13)	15 (4)	4 (2)	3 (1)	21 (5)	7	4 (1)	7 (4)	1	2
8月	119 (42)	75 (28)	18 (4)	20 (7)	28 (13)	6 (2)	3 (2)	40 (14)	4 (2)	20 (6)	14 (6)	—	2
9月	66 (24)	40 (13)	19 (3)	15 (3)	12 (4)	3 (2)	1 (1)	23 (11)	3 (2)	11 (6)	3 (1)	2 (1)	4 (1)
10月	75 (27)	55 (13)	16 (6)	15 (3)	17 (3)	5 (1)	2	20 (14)	3 (7)	4	6 (3)	5 (4)	2
11月	77 (24)	60 (18)	16 (4)	17 (6)	20 (7)	3	4 (1)	17 (6)	4 (3)	6 (3)	1	5	1
12月	79 (24)	52 (18)	9 (4)	21 (8)	16 (5)	2	4 (1)	37 (6)	6 (2)	16	5 (2)	2 (1)	8 (1)
1月	49 (19)	40 (15)	9 (4)	16 (8)	11 (2)	4 (1)	—	9 (4)	1	5 (3)	1 (1)	1	1
2月	91 (28)	74 (23)	18 (4)	18 (6)	19 (4)	7 (4)	12 (5)	17 (5)	3	5 (4)	7	—	2 (1)
3月	76 (27)	58 (22)	14 (7)	15 (7)	14 (7)	9 (1)	6	19 (5)	5 (3)	6	4	—	4 (2)

()内は、指定認可機関からの同意数

用途別建築同意状況

(平成16年度)

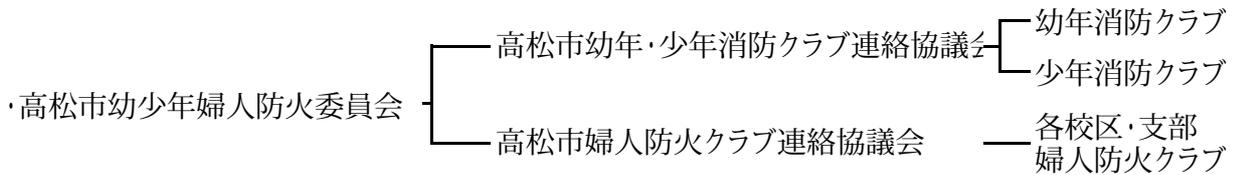
用途別		区	分	総 数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
					月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
	総		数	945 (298)	65 (18)	72 (17)	106 (22)	70 (26)	121 (42)	63 (24)	75 (27)	77 (24)	79 (24)	49 (19)	91 (28)	77 (27)
消 防	1 項	イ	劇場・映画館	2	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
		ロ	公会堂・集会場	18 (4)	1	1	2 (2)	—	3	1 (1)	6	1 (1)	—	1	1	1
法	2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		ロ	遊技場・ダンスホール	5 (1)	—	1	—	—	2	—	—	—	1	—	1	—
施	3 項	ハ	風俗営業等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		イ	待合・料理店	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
行	4 項	ロ	飲食店	19 (11)	1 (1)	5 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (1)	2 (1)	—	1	1 (1)	1	—	3 (3)
			百貨店・マーケット	66 (30)	12 (6)	5 (3)	6	3 (1)	6 (2)	6 (2)	4	5 (3)	2 (2)	6 (4)	7 (4)	4 (2)
令	5 項	イ	旅館・ホテル	8 (1)	2	—	1	—	—	—	1	—	1	1 (1)	2	—
		ロ	寄宿舍・共同住宅	178 (80)	8 (3)	11 (6)	15 (3)	17 (12)	26 (16)	13 (6)	12 (6)	21 (6)	15 (8)	9 (4)	22 (7)	9 (3)
別	6 項	イ	病院・診療所	15 (1)	—	—	3	1	—	1	1	—	—	5 (1)	2	2
		ロ	老人福祉施設等	38 (6)	2	—	6 (1)	1	4 (1)	1	4	6	3 (2)	1	5	5 (2)
表	7 項	ハ	幼稚園・養護学校	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
			学 校	11	3	1	1	2	—	1	—	1	2	—	—	—
第	9 項		図書館・美術館	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		イ	蒸気浴場・熱気浴場	2 (1)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
一	10 項	ロ	公衆浴場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			停車場	4 (2)	1 (1)	—	1 (1)	—	1	—	—	1	—	—	—	—
の	11 項		社寺・教会	15 (4)	1	2	—	1 (1)	2 (1)	—	1	—	1	2	1	4 (2)
		イ	工場・作業場	35 (6)	3	1	1	4	1	3	3 (1)	2	2	4 (1)	7 (2)	4 (2)
防	12 項	ロ	映画・テレビスタジオ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		イ	車庫・駐車場	8 (1)	—	2	3	—	—	—	—	1 (1)	—	—	1	1
火	13 項	ロ	格納者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			倉庫	29 (4)	3	2	2	—	2	—	5	3 (3)	2	3	2 (1)	5
対	14 項		上記以外の事業所	153 (45)	9 (2)	11 (3)	19 (4)	14 (4)	15 (3)	9 (3)	11 (3)	15 (5)	12 (3)	6 (4)	18 (7)	14 (4)
		イ	複合用途(特定含む)	42 (9)	2	1	8 (2)	2	6 (1)	2	5 (1)	3	2 (1)	1 (1)	5 (1)	5 (2)
象	15 項	ロ	“(その他)	17 (7)	1	—	2 (1)	2 (1)	3 (3)	—	2	1	3 (1)	1	—	2 (1)
			地下街	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
物	16 項	の2	準地下街	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		の3	文化財	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
住	17 項		アーケード	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		小計	667 (214)	49 (13)	43 (13)	72 (17)	49 (21)	75 (28)	40 (13)	55 (13)	60 (18)	52 (18)	40 (15)	74 (23)	58 (22)	
	住宅	278 (84)	16 (5)	29 (4)	34 (5)	21 (5)	46 (14)	23 (11)	20 (14)	17 (6)	27 (6)	9 (4)	17 (5)	19 (5)		

()内は、指定認可機関からの同意数

自主防火組織の現況

(平成17年5月1日)

・高松地区防火安全協会(設立 平成12.4.1) 会員数 565 事業所



幼年消防クラブ

(平成17年5月1日)

名称	所轄	結成年月日	クラブ員数
総数			1,146
高松聖母幼稚園	北消防署	昭59.11.20	36
高松阜幼稚園	"	59.11.27	56
高松保育園高松第二保育園	"	59.11.28	104
高松聖ヤコブ幼稚園	"	59.11.29	137
高松幼稚園	"	59.12.8	75
とぎわ幼稚園	西消防署	60.11.1	24
高松西保育園	南消防署	60.11.9	21
小山学園愛育幼稚園	"	60.11.12	27
つくし幼稚園	東消防署	61.2.8	64
高松中央高校幼稚園	北消防署	61.4.21	37
高松南保育園	南消防署	61.5.17	69
白樺保育園	東消防署	62.2.28	78
いずみ保育園	西消防署	63.3.1	75
新田幼稚園	東消防署	63.6.1	27
香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎	北消防署	平4.10.30	68
若葉保育園	東消防署	6.4.23	24
高松市立下笠居幼稚園	西消防署	7.9.1	56
高松市立川添幼稚園	東消防署	8.7.6	66
高松市立林幼稚園	"	10.2.14	54
綾南町立陶保育所	西消防署	10.5.28	48

少年消防クラブ

(平成17年5月1日)

名称	所轄	結成年月日	クラブ員数
総数			337
桜町中学校	北消防署	昭27.4.29	13
紫雲中学校	"	"	19
亀阜小学校	"	"	22
栗林小学校	"	"	19
三溪小学校	南消防署	52.6.13	32
十日河小学校	東消防署	53.5.18	79
日新宮小学校	北消防署	54.7.11	7
一仏生山小学校	南消防署	56.5.19	16
植田小学校	"	57.2.17	41
屋島東小学校	東消防署	57.12.12	22
新塩屋町小学校	"	58.12.1	25
古高松南小学校	北消防署	60.12.1	10
多肥小学校	東消防署	平3.8.1	12
綾上町立綾上小学校	南消防署	7.4.1	14
	西消防署	9.7.18	6

婦 人 防 火 ク ラ ブ

(平成17年5月1日)

名 称	所 轄	結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数
総 数			7,553
一宮校区婦人防火クラブ県営住宅一宮団地支部	南 消 防 署	昭48. 1. 16	32
下笠居校区婦人防火クラブ	西 消 防 署	51. 7. 16	52
松島校区婦人防火クラブ福東支部	北 消 防 署	53. 6. 13	37
日新校区婦人防火クラブ	〃	54. 7. 10	9
亀阜校区婦人防火クラブ	〃	54. 12. 12	40
屋島西校区婦人防火クラブ屋島西団地支部	東 消 防 署	56. 10. 22	500
十河校区婦人防火クラブ	〃	56. 12. 7	50
古高松南校区婦人防火クラブさつきヶ丘支部	〃	56. 12. 15	210
仏生山校区婦人防火クラブ	南 消 防 署	57. 3. 18	58
円座校区婦人防火クラブ	〃	57. 4. 29	70
鬼無町婦人防火クラブ	西 消 防 署	57. 10. 27	33
多肥地区連合婦人防火クラブ	南 消 防 署	58. 2. 20	2,180
綾上町山田地区婦人防火クラブ	西 消 防 署	45. 1. 7	744
〃 粉所地区婦人防火クラブ	〃	〃	231
〃 西分地区婦人防火クラブ	〃	〃	225
〃 羽床上地区婦人防火クラブ	〃	〃	9
綾南町羽床校区婦人防火クラブ	〃	58. 12. 1	290
東植田校区婦人防火クラブ	東 消 防 署	59. 9. 1	398
太田南校区婦人防火クラブ	南 消 防 署	61. 4. 30	40
一宮地区婦人防火クラブ	〃	61. 5. 10	41
女木校区婦人防火クラブ	北 消 防 署	61. 11. 27	20
綾南町昭和校区婦人防火クラブ	西 消 防 署	平元 4. 1	670
〃 陶校区婦人防火クラブ	〃	〃	400
〃 滝宮校区婦人防火クラブ	〃	〃	490
三谷地区婦人防火クラブ	南 消 防 署	元 5. 1	580
国分寺町婦人防火クラブ	西 消 防 署	4. 11. 22	40
新田地区婦人防火クラブ	東 消 防 署	6. 5. 14	54
春日地区婦人防火クラブ	東 消 防 署	12. 6. 26	50

自主防災組織の現況

(平成17年 4月 1日)

地 区 名	結成組織数	自治会数	加入世帯数	管轄
合 計	406	508	41,888	
松 島	11	11	2,359	北署
花 園	7	7	704	〃
築 地	4	4	682	〃
新 塩 屋 町	3	3	161	〃
四 番 丁	4	4	448	〃
二 番 丁	9	9	1,469	〃
日 新	4	4	699	〃
亀 阜	22	30	1,991	〃
栗 林	10	5	1,146	〃
鶴 尾	4	6	715	南署
太 田	14	14	1,128	〃
太 南	7	7	705	〃
木 太	23	38	8,302	東署
屋 高 島	10	8	2,372	〃
古 高 松	42	42	4,270	〃
前 田	15	15	588	〃
川 添	14	14	1,559	〃
林	13	13	734	〃
三 溪	16	16	603	南署
仏 生 山	22	23	1,255	〃
多 肥	12	11	564	〃
一 宮	15	15	972	〃
川 岡	7	18	453	〃
円 座	2	2	109	〃
檀 紙	5	8	391	〃
弦 打	7	7	964	西署
鬼 無	8	47	1,303	〃
香 西	10	13	1,130	〃
下 笠 居	24	32	1,790	〃
女 木	2	10	129	北署
男 木	1	10	145	〃
川 島	8	8	441	東署
十 河	11	11	490	〃
東 植 田	16	18	401	〃
西 植 田	24	25	716	〃

消 防 防 災

消防防災課

防 災 係

- (1) 防災計画および警防計画に関すること。
- (2) 水火災，地震等の警戒防御に関すること。
- (3) 消防技術の研究および指導に関すること。
- (4) 消防地理水利に関すること。
- (5) 消防・防災組織の訓練指導に関すること。
- (6) 自主防火・防災組織の訓練指導に関すること。
- (7) 緊急消防援助隊に関すること。
- (8) その他課の他係の主管に属しないこと。

救急救助係

- (1) 救急救助計画の作成および指導に関すること。
- (2) 救急救助の統計および情報に関すること。
- (3) 救急救助技術の指導および研究に関すること。
- (4) 救急救助資器材の研究および開発に関すること。
- (5) 救急医療機関との連絡および調整に関すること。
- (6) 救急救助訓練に関すること。
- (7) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (8) 国際消防救助隊に関すること。
- (9) その他救急救助に関すること。

装 備 係

- (1) 消防機械器具の整備保全に関すること。
- (2) 消防機械器具の研究および改善に関すること。
- (3) 消防機械器具の操作技術の研究および指導に関すること。
- (4) 消防自動車の運転および装備技術の指導に関すること。

1 6 年 火 災 活 動 状 況

区 分	総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
火災件数	187	19	15	19	20	15	16	14	30	13	9	9	8
出場延回数	595	84	53	66	70	49	51	47	74	37	22	27	15
北 署	120	16	4	14	13	9	10	7	23	12	4	6	2
南 署	250	34	23	24	32	21	18	21	28	14	12	18	5
東 署	118	21	7	14	9	9	15	10	17	6	1	3	6
西 署	50	7	8	5	7	4	5	5	3	2	3	-	1
受 託	57	6	11	9	9	6	3	4	3	3	2	-	1
出場延台数	1,059	165	95	110	129	87	95	72	124	65	38	51	28
北 署	309	38	14	36	42	29	26	16	46	28	9	16	9
南 署	382	66	36	34	49	28	26	28	38	18	20	31	8
東 署	200	39	12	21	16	15	28	17	29	10	1	4	8
西 署	93	19	17	7	12	5	9	5	6	5	6	-	2
受 託	75	3	16	12	10	10	6	6	5	4	2	-	1
出場延人員	3,233	469	286	350	394	264	295	221	381	210	123	153	87
北 署	907	119	40	112	122	84	74	45	136	80	27	44	24
南 署	1,176	164	113	115	149	91	87	95	108	63	67	97	27
東 署	651	119	38	61	52	47	92	55	105	36	7	12	27
西 署	256	56	45	20	35	10	24	13	16	15	16	-	6
受 託	243	11	50	42	36	32	18	13	16	16	6	-	3
放水件数	124	14	14	16	10	10	9	10	15	9	10	6	1
北 署	30	1	2	4	3	4	1	4	7	3	1	-	-
南 署	38	6	4	3	2	3	2	2	3	2	6	5	-
東 署	39	6	1	7	3	3	5	4	4	3	1	1	1
西 署	6	1	1	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-
受 託	11	-	6	2	2	-	-	-	-	1	-	-	-
放水延台数	132	14	14	16	11	12	10	10	18	9	11	6	1
北 署	33	1	2	4	4	6	1	4	7	3	1	-	-
南 署	40	6	4	3	2	3	2	2	4	2	7	5	-
東 署	42	6	1	7	3	3	6	4	6	3	1	1	1
西 署	6	1	1	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-
受 託	11	-	6	2	2	-	-	-	-	1	-	-	-
放水延時間	109:08	40:56	17:08	13:11	4:26	8:30	2:45	3:02	3:49	2:29	6:29	6:14	0:09
北 署	20:38	4:01	3:30	2:17	1:27	5:27	-	1:29	0:34	0:24	1:29	-	-
南 署	25:08	2:16	6:44	1:10	0:57	1:33	0:26	0:35	2:22	0:22	3:15	5:28	-
東 署	26:17	6:52	0:56	9:32	1:04	1:30	1:45	0:58	0:52	1:38	0:15	0:46	0:09
西 署	30:59	27:47	1:07	-	-	-	0:34	-	0:01	-	1:30	-	-
受 託	6:06	-	4:51	0:12	0:58	-	-	-	-	0:05	-	-	-

16年火災以外の活動状況

区分	出場別	総数	北署	南署	東署	西署	受託	市外
総	件数	600	209	161	153	45	32	
	出場台数	969	400	219	218	79	53	
	出場人員	2,894	1,179	672	677	221	145	
火災警戒出場	件数	232	74	66	60	17	15	
	出場台数	401	150	100	93	32	26	
	出場人員	1,171	435	304	280	82	70	
てい察出場	件数	151	75	25	27	15	9	
	出場台数	214	109	32	35	22	16	
	出場人員	591	291	88	108	63	41	
誤報・虚報出場	件数	70	20	25	16	6	3	
	出場台数	149	58	40	32	13	6	
	出場人員	448	172	130	96	34	16	
水防出場	件数	147	40	45	50	7	5	
	出場台数	205	83	47	58	12	5	
	出場人員	684	281	150	193	42	18	

その他出場	出場別	総数	北署	南署	東署	西署	受託	市外
訓練指導等	件数	281	74	55	74	12	66	—
	人員	889	221	120	280	50	218	—

ホース配置状況

(平成17年 4月 1日)

区分	総数	40 mm		50 mm		65 mm		
		ゴム引ホース	軽量ホース	外面加工ホース	軽量ホース	外面加工ホース	軽量ホース	
総数	1,700	7	65	274	388	277	689	
北消防署	本署	452	3	24	76	118	77	154
	朝日分署	265	2	15	35	82	27	104
	朝日分署	187	1	9	41	36	50	50
南消防署	本署	485	0	25	73	107	48	232
	本署	225		10	47	53	15	100
	太田出張所	95		10	7	23	14	41
	仏生山出張所	85		5	7	18	11	44
	円座出張所	80			12	13	8	47
東消防署	本署	362	2	8	64	74	78	136
	本署	202	2	8	40	48	51	53
	川添出張所	80			14	11	15	40
	山田出張所	80			10	15	12	43
西消防署	本署	401	2	8	61	89	74	167
	本署	210	2	8	48	47	47	58
受託	綾歌東部分署	90			10	25	4	51
	国分寺出張所	101			3	17	23	58

消火剤および油除去剤等の保有状況

(平成17年 4月 1日)

区	分	消 火 剤 油 除 去 剤 等							
		エアフォーム 3% (・)	界面活性剤 高低発泡(・)	粉末剤 (kg)	ライトウォーター ター (・)	耐アルコール 系 (・)	オイルキャッ チャー(kg)	オイルフェ ン ス (m)	油 処 理 剤 (・)
総	数	2,900	50,442	235	280	1,820	973	1,460	160
北	消 防 署	2,900	8,792	235	280	1,820	626	100	160
	本 署	500	4,580	—	280	—	500	100	100
	朝 日 分 署	2,400	4,212	235	—	1,820	126	—	60
	{ 県防災資器材 センター }	—	35,000	—	—	—	119	1,260	—
南	消 防 署	—	2,120	—	—	—	99	20	—
	本 署	—	1,460	—	—	—	23	20	—
	太 田 出 張 所	—	180	—	—	—	43	—	—
	仏生山 出 張 所	—	180	—	—	—	20	—	—
	円 座 出 張 所	—	300	—	—	—	13	—	—
東	消 防 署	—	1,980	—	—	—	94	40	—
	本 署	—	1,440	—	—	—	70	40	—
	川 添 出 張 所	—	260	—	—	—	15	—	—
	山 田 出 張 所	—	280	—	—	—	9	—	—
西	消 防 署	—	2,550	—	—	—	35	40	—
	本 署	—	1,130	—	—	—	5	40	—
受	{ 綾歌東部分署	—	1,120	—	—	—	20	—	—
託	{ 国分寺出張所	—	300	—	—	—	10	—	—

条例に基づく道路占用工事等処理状況

(平成16年度)

区	分	総	道 路 占 用		通行禁止	通行制限	その他の占用
			数	条件付 処理件数	無条件 処理件数	受理件数	受理件数
総	数	6,250	751	1,863	839	1,171	1,626
北	消 防 署	1,861	330	646	170	296	419
南	消 防 署	1,758	213	477	252	326	490
東	消 防 署	1,740	145	607	243	294	451
西	消 防 署	891	63	133	174	255	266

消防・救助活動用主機器等配置状況

(平成17年 4月 1日)

区分	品名	総数	北署	南署	東署	西署	区分	品名	総数	北署	南署	東署	西署	
消防活動用器具	かぎ付はしご	4	2	1	—	1	切断用器具	エアーツール	1	1	—	—	—	
	チタン製一連はしご	3	3	—	—	—		大型油圧切断機	1	1	—	—	—	
	金属性二つ折りはしご	11	2	4	2	3		エンジンカッター	8	3	2	1	2	
	二連はしご	16	3	5	4	4		ガス溶断器	2	1	1	—	—	
	三連はしご	8	4	2	1	1		チェーンソー	34	10	8	6	10	
	発電機一式	24	7	8	5	4		鉄線カッター	36	7	12	11	6	
	防水シート	45	10	18	9	8		空気鋸	2	1	1	—	—	
	発泡器(アスピレータ)	2	1	1	—	—		酸素切断機	1	1	—	—	—	
	発泡器(三愛)	7	1	2	1	3		破壊用器具	万能斧	26	7	8	6	5
	泡管そう	25	6	7	5	7			大ハンマー	27	6	6	12	3
	ラインプロポーションナー	21	4	7	4	6	削岩機		2	1	1	—	—	
	強力ライト	25	8	8	5	4	ハンマードリル		2	1	1	—	—	
	防爆携帯電灯・水中ライト	31	13	6	7	5	電気ドリル		3	1	—	—	2	
	ホースカー	21	5	5	5	6	携帯用コンクリート破壊器具		1	—	—	—	1	
	器具	携帯拡声器	25	8	7	5	5	測定用器具	可燃性ガス測定器	12	3	4	3	2
		ホースブリッジ	28	7	11	5	5		有毒ガス測定器	1	1	—	—	—
		組立貯水槽	6	2	2	1	1		酸素濃度測定器	7	1	3	2	1
		無人放水器	4	3	1	—	—		放射線測定器	2	1	1	—	—
		ホース背負器	28	8	6	6	8		複合型ガス検知器	2	—	1	—	1
		背負い式ポンプ(ジェットシューター)	74	22	23	13	16		可燃性酸素濃度有毒ガス測定	1	—	1	—	—
難燃シート		4	2	2	—	—	呼吸保護・隊員保護用器具	空気呼吸器	71	20	21	14	16	
ガス緊急防災工具		10	4	2	2	2		空気ボンベ(軽量)	210	57	63	42	48	
送排風機		2	1	1	—	—		酸素呼吸器	13	4	5	2	2	
救助活動用器具		画像探査機Ⅰ型	2	1	1	—		—	酸素ボンベ	21	6	7	4	4
	画像探査機Ⅱ型	1	1	—	—	—		簡易呼吸器	24	8	9	3	4	
	地中音響探知機	1	1	—	—	—		化学防護服	5	3	2	—	—	
	熱画像直視装置	2	1	1	—	—		安全帯	88	34	31	11	12	
	夜間用暗視装置	1	1	—	—	—		耐電手袋	16	9	7	—	—	
	空気式救助マット・幕	2	1	1	—	—		耐電衣	14	9	5	—	—	
	救助ネット	6	2	1	1	2		耐電ズボン	5	2	3	—	—	
	救命索発射銃	2	1	1	—	—	耐電長靴	12	7	5	—	—		
	救命用縛帯	16	6	4	4	2	防毒衣	5	3	2	—	—		
	昇降担架	2	2	—	—	—	耐熱服	20	10	6	2	2		
器具	平担架	25	5	8	6	6	水難救助用器具	絶縁ヘルメット	14	9	5	—	—	
	サーバイバーリング	4	2	1	1	—		メガネ付ヘルメット	5	—	5	—	—	
	救助用バスケット	2	2	—	—	—		X線防護服	2	2	—	—	—	
	バスケット担架	2	1	1	—	—		潜水器具一式	11	5	2	2	2	
	緩降機	5	3	2	—	—		救命胴衣	74	40	9	14	11	
	救助袋	1	1	—	—	—		水中投光器	1	1	—	—	—	
	ロープ登降機	4	3	1	—	—	救命浮環	33	7	9	9	8		
	マンホール救助器具	1	1	—	—	—	浮標	8	3	2	1	2		
	重量物排除用器具	ポートパワー	4	1	—	2	1	水難救助用器具	救命ボート	11	4	3	2	2
		油圧ジャッキ	5	1	2	1	1		船外機	5	2	1	1	1
ハイジャッキ		1	1	—	—	—	その他器具等		空気充填機	1	1	—	—	—
油圧スプレッター		4	1	1	1	1			非常用濾過機	2	1	1	—	—
可搬式ウインチ		11	2	3	3	3			ユニット式ポンププレッシャー	1	1	—	—	—
チェーンブロック		1	1	—	—	—			照明装置	1	—	—	1	—
空気式ジャッキ一式		3	2	1	—	—	エアータント一式	1	1	—	—	—		
大型油圧スプレッター		2	1	1	—	—	救助隊用支援資器材一式	1	1	—	—	—		
ツヨロンスリング		6	4	2	—	—								

消 防 水 利 状 況

(平成17年 4月 1日)

区 分	消 火 栓		防 火 水 槽								そ の 他			
	公 設	私 設	公 設				私 設				井 戸	用 水	プ ー ル	採 水 口
			100 m ³ 以上	60 m ³ 以上 100 m ³ 未 満	40 m ³ 以上 60 m ³ 未 満	40 m ³ 未 満	100 m ³ 以上	60 m ³ 以上 100 m ³ 未 満	40 m ³ 以上 60 m ³ 未 満	40 m ³ 未 満				
総 数	5,680	304	6	46	328	27	8	18	231	26	4	105	86	74
北消防署	1,660	11	4	17	105	11	5	6	55	10	2	23	26	30
南消防署	1,719	142	1	12	91	2	—	3	74	10	1	19	27	11
東消防署	1,693	101	1	14	95	11	2	7	76	5	1	29	25	22
西消防署	608	50		3	37	3	1	2	26	1	—	34	8	11

消火栓管径別状況（公設）

(平成17年 4月 1日)

区 分	総 数	50 mm	75 mm	100 mm	150 mm	200 mm	250 mm	300 mm	350 mm	400 mm	500 mm	600 mm
総 数	5,680	3	733	2,563	554	1,330	25	413	9	27	21	2
北 消 防 署	1,659		197	668	282	356	25	109	7	6	9	
南 消 防 署	1,721	1	218	804	119	480		97				2
東 消 防 署	1,692	2	239	785	106	362		168	2	16	12	
西 消 防 署	608		79	306	47	132		39		5		

消 防 局 ・ 署 車 両 現 況

(平成17年4月1日)

局署別	名 称	車 両 番 号	車 名	定 員	種 別	登録年月日	性 能 等		小 型 ポ ン プ		無 線 (たかしょう)		
							型式等	メーカー	型式	メーカー	呼 出 名	波 数	
消 防 局	局 指 令 車	300つ6008	トヨタ	5		H16.6.29	A	T			たかしょう	2	7
	広 報 車 1	88な2915	トヨタ	6	ライトバン	S62.9.29					たかしょう	1	7
	広 報 車 2	58す8067	ニッサン	9	ワゴン	H7.12.8	A	T			たかしょう	4	7
	査 察 車 1	40ゆ1836	スズキ	4	バ ン	H5.5.25					たかしょう	5	3
	査 察 車 2	41う7388	マツダ	4	バ ン	H10.5.12	A	T			たかしょう	7	7
	調 査 車	88す2100	トヨタ	7	バ ン	H10.10.26	A	T			たかしょう	3	7
	支 援 車	88さ9816	日 野	6		H8.3.26			モリタ		たかしょう	10	8
	軽 積 載 車	80あ662	スバル	2	バ ン	H9.9.26				B-3	ラビット		

消 防 局 ・ 署 車 両 現 況

(平成17年4月1日)

局署別	名 称	車 両 番 号	車 名	定 員	種 別	登録年月日	性 能 等		小 型 ポ ン プ		無 線 (たかしょう)		
							型式等	メーカー	型式	メーカー	呼 出 名	波 数	
北 消 防 署	指 令 車	88さ5180	ニッサン	5		S63.5.17	4 W D				たかしょうきた	5	7
	1 号 車	800は278	三 菱	6		H16.2.24	水 II	モリタ			たかしょうきた	1	7
	2 号 車	800さ4982	いすゞ	7		H17.3.24	C D I	日 機	C-1	ト-ハッ	たかしょうきた	2	3
	3 号 車	88さ2669	三 菱	7		S56.12.22	水 II	モリタ			たかしょうきた	3	3
	第1はしご車	88や3473	日 野	6		H3.12.17	5 0 m	モリタ			たかしょうきた	11	7
	南はしご車 (先端屈折)	800は330	日 野	6		H.17.3.15	3 0 m	モリタ			たかしょうみなみ	12	7
	救助工作車	88や4132	いすゞ	7		H10.3.2	III 型	モリタ			たかしょうきた	9	7
	広 報 車	88な2751	ニッサン	6	ライトバン	S62.3.23					たかしょうきた	6	7
	査 察 車	40ゆ1835	スズキ	4	バ ン	H5.5.25					たかしょうきた	7	7
	積 載 車	88や7496	日産UD	3	ダ ンプ	H4.7.10					たかしょうきた	4	7
	電源照明車1	88や4138	いすゞ	3		H10.3.19			タダノ		たかしょうきた	8	7
	小型動力ポンプ 付水そう車	800は56	三 菱	2		H12.2.22	II 型	新明和	B-3	ト-ハッ	たかしょうきた	13	7
	北 救 急 1	800さ2558	ニッサン	7		H13.12.10	高規格 A T 4 W D	オーテック			たかしょうきた きゅうきゅう	1	8
	北 救 急 2	800さ1622	トヨタ	7		H12.11.22	高規格 A T 4 W D	セントラル			たかしょうきた きゅうきゅう	2	8
	北 救 急 5	88さ8365	ニッサン	8		H6.2.7	高規格 A T				たかしょうきた きゅうきゅう	3	3
	二 輪	い1312	ホンダ	1		S58.10.12	50 c c						
二 輪	け8912	ヤマハ	2		H2.10.26	80 c c							
北 朝 消 防 分 署	1 号 車	88さ9671	三 菱	5		H8.2.13	C D I A T	モリタ	C-1	ラビット	たかしょうあさひ	1	7
	化学第1号 車	88さ4110	日 野	7		S61.8.5	I 型	吉 谷			たかしょうあさひ	11	7
	化学第2号 車	88や1770	三 菱	7		S60.3.28	IV 型	日 機			たかしょうあさひ	13	7
	北 救 急 3	800さ608	ニッサン	8		H11.12.7	高規格 A T	オーテック			たかしょうあさひ きゅうきゅう	1	8
	査 察 車	41き4135	マツダ	4	バ ン	H12.6.16	A T				たかしょうあさひ	7	7
	二 輪	こ752	ヤマハ	2		H4.8.28	80 c c						

消 防 局 ・ 署 車 両 現 況

(平成17年4月1日)

局署別	名 称	車 両 番 号	車 名	定 員	種 別	登録年月日	性 能 等		小 型 ポ ン プ		無 線 (たかしょう)	
							型式等	メーカー	型式	メーカー	呼 出 名	波 数
南 本 消 署	指 令 車	88さ8726	ニッサン	5		H6.9.29	4 W D A T				たかしょうみなみ	5 7
	1 号 車	800は229	日 野	6		H15.2.25	水 II	日 機			たかしょうみなみ	1 7
	救助工作車	88や3628	日産UD	6		H5.3.12	II 型	モリタ			たかしょうみなみ	9 7
	3 号 車	88さ1714	日 野	7		S59.10.8	水 II	モリタ	C-1	ラビット	たかしょうみなみ	3 2
	第2はしご車	88や3473	三 菱	6		H2.12.18	3 5 m	モリタ			たかしょうきた	12 7
	広 報 車	88な5584	ニッサン	6	ライトバン	H2.11.27					たかしょうみなみ	6 3
	査 察 車	40め141	三 菱	4	バ ン	H3.7.18					たかしょうみなみ	7 7
	南救急1	88さ8365	ニッサン	8		H6.2.7	高規格 A T 4 W D	オーテック			たかしょうみなみ きゅうきゅう	1 8
	二 輪	い1393	ホ ン ダ	1		S61.7.10	50 c c					
	二 輪	け7390	ホ ン ダ	2		H1.8.10	70 c c					
防 署	太 田 車	800は120	三 菱	6		H12.12.20	水 II	小 川			たかしょうおおた	1 7
	二 輪	い2210	ホ ン ダ	2		S59.3.28	70 c c					
	仏 生 山	800さ4971	い す ゞ	6		H17.3.17	C D I	日 機	C-1	トーハ ツ	たかしょう ぶっしょうざん	1 7
署 座 出 張 所	二 輪	ね1716	ヤ マ ハ	1		H7.1.20	50 c c					
	円 座 車	88さ5050	ト ヨ タ	6		S63.2.16	C D I	モリタ	C-1	ラビット	たかしょうえんざ	1 7
	南救急2	88ず2213	い す ゞ	8		H10.12.15	高規格 A T	い す ゞ			たかしょうえんざ きゅうきゅう	1 8
	南救急3	88さ8365	ニッサン	8		H6.2.7	高規格 A T				たかしょうえんざ きゅうきゅう	2 8
二 輪	い1932	ホ ン ダ	2		S56.7.13	70 c c						

消 防 局 ・ 署 車 両 現 況

(平成17年4月1日)

局署別	名 称	車 両 番 号	車 名	定 員	種 別	登録年月日	性 能 等		小 型 ポ ン プ		無 線 (たかしょう)	
							型式等	メーカー	型式	メーカー	呼 出 名	波 数
東 消 防 署	本 署	指 令 車	88さ6356	ニッサン	5		H2.8.24	4 W D				たかしょうひがし 5 7
		1 号 車	88や4123	日産UD	7		H10.2.13	水 II	日機			たかしょうひがし 1 7
		2 号 車	88さ9672	三菱	5		H8.2.13	C D I A T	モリタ	C-1	ラビット	たかしょうひがし 2 7
東 消 防 署	本 署	3 号 車	88さ2312	いすゞ	7		S55.11.6	C D II	モリタ	C-1	ラビット	たかしょうひがし 3 3
		広 報 車	800さ4923	ニッサン	5	ライトバン	H17.3.3					たかしょうひがし 6 7
		査 察 車	41き4316	マツダ	4	バン	H12.6.16	A T				たかしょうひがし 7 7
		東 救 急 1	800さ3290	トヨタ	7		H14.12.10	高規格 A T	テクノ			たかしょうひがし きゅうきゅう 1 8
		東 救 急 3	88さ7732	トヨタ	8		H4.12.11	2 - B A T				たかしょうひがし きゅうきゅう 2 8
		二 輪	い1260	ホンダ	1		S57.8.18	50 c c				
		二 輪	け9922	ホンダ	2		H3.10.21	70 c c				
防 署	川 添 出 張 所	川 添 車	88さ4332	三菱	7		S62.3.19	C D I	モリタ	C-1	ラビット	たかしょうかわぞえ 1 7
		二 輪	い2502	ホンダ	2		S62.7.24	70 c c				
	山 田 出 張 所	山 田 車	88さ2970	三菱	7		S58.1.27	CDII	モリタ	C-1	ラビット	たかしょうやまだ 1 7
	東 救 急 2	88す1507	ニッサン	8		H10.3.9	高規格 A T	オーテック			たかしょうやまだ きゅうきゅう 1 8	
	二 輪	こ753	ヤマハ	2		H4.8.28	80 c c					

消 防 局 ・ 署 車 両 現 況

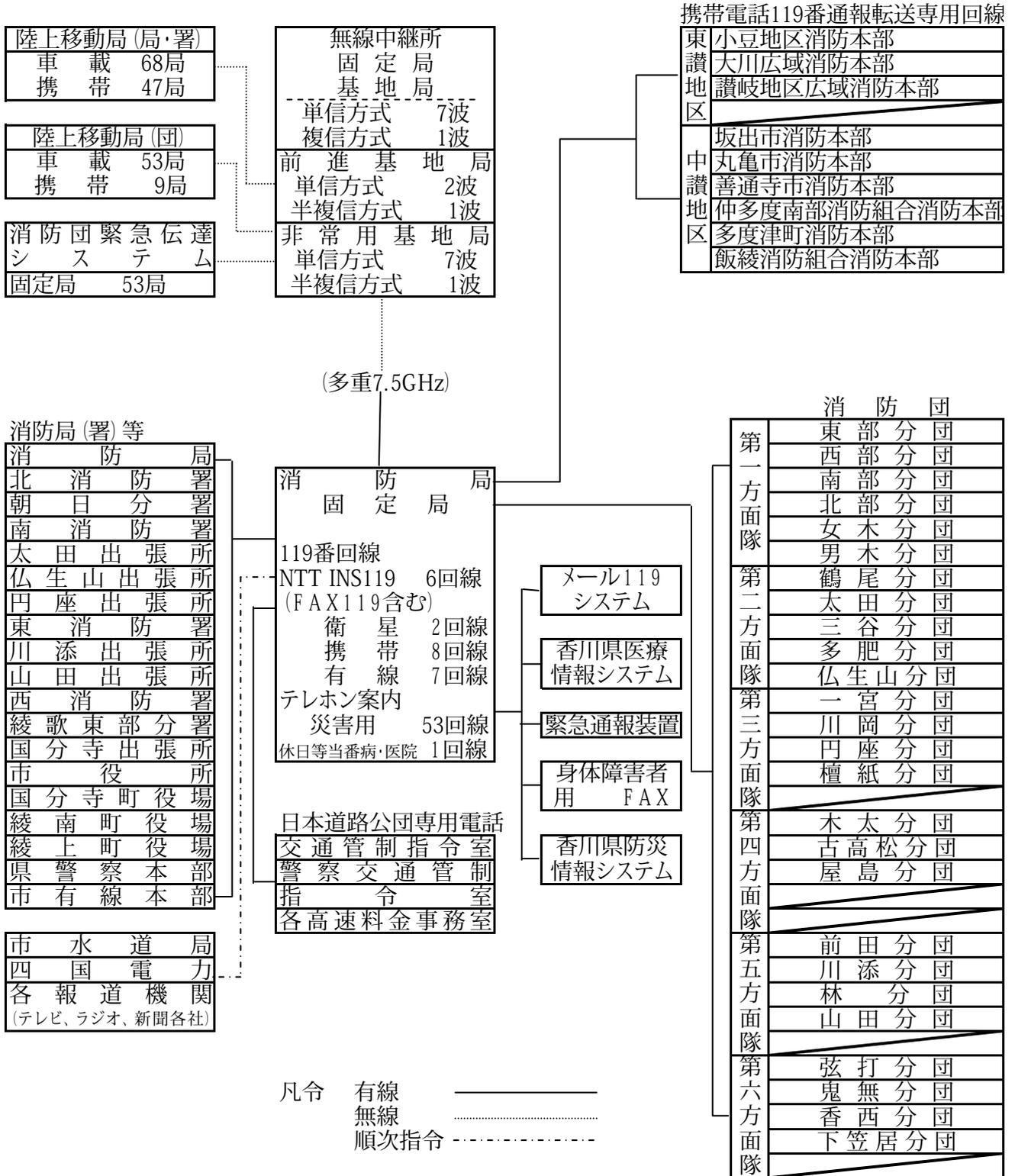
(平成17年4月1日)

局署別	名 称	車 両 番 号	車 名	定 員	種 別	登録年月日	性 能 等		小 型 ポ ン プ		無 線 (たかしょう)	
							型式等	メーカー	型式	メーカー	呼 出 名	波 数
西 消 防 署	指 令 車	88さ8272	トヨタ	5		H5.11.29	4WD AT				たかしょうにし	5 7
	1 号 車	88さ4227	日産UD	7		H11.3.15	水 II	モリタ			たかしょうにし	1 7
	2 号 車	800さ906	トヨタ	6		H12.3.22	CDI AT	日機	C-1	トハツ	たかしょうにし	2 7
	3 号 車	88さ2970	三菱	7		S58.1.27	CDII	モリタ			たかしょうにし	3 3
	広 報 車	88さ5948	ニッサン	6	ライトバン	H1.11.16					たかしょうにし	6 7
	査 察 車	40ら1388	マツダ	4	バン	H6.8.8					たかしょうにし	7 7
	西 救 急 1	800さ3291	トヨタ	7		H14.12.10	高規格 AT				たかしょうにし きゅうきゅう	1 8
	西 救 急 3	88さ8310	ベンツ	8		H5.12.16					たかしょうにし きゅうきゅう	3 8
	災 害 用 人 員 搬 送 車	88や1995	いすゞ	35	中型バス	S62.2.5					たかしょう	6 3
	救 急 普 及 啓 発 広 報 車	88さ4064	ニッサン	8		S61.6.24	1-B				たかしょう きゅうきゅう	12 8
二 輪	こ3400	ヤマハ	2		H7.7.17	90cc						
西 消 防 署	綾 指 令 車	88な6851	トヨタ	5	ライトバン	H9.9.29	AT				たかしょうあやうた	5 3
	1 号 車	88さ9707	三菱	5		H8.2.23	CDI AT	モリタ	C-1	ラビット	たかしょうあやうた	1 4
	2 号 車	88さ2864	いすゞ	6		S57.9.20	CDI	モリタ	C-1	ラビット	たかしょうあやうた	2 3
	西 救 急 2	88す591	トヨタ	7		H9.3.7	高規格 AT,4WD	セントラル			たかしょうあやう たきゅうきゅう	1 5
	査 察 車	40や2032	ホンダ	4	バン	H4.10.29					たかしょうあやうた	7 7
	二 輪	綾上町 ひ88	ホンダ	2		S57.9.25	70cc		B-3	ラビット		
	国 分 寺 出 張 所	国分寺車	88す1525	三菱	5		H10.3.16	CDI	モリタ	C-1	ラビット	たかしょうこくぶん
国 分 寺 救 急	800さ5048	ニッサン	7		H17.4.18	高規格 AT,4WD	オーテック			たかしょうこくぶん じきゅうきゅう	1 7	
二 輪	国分寺町 140	ホンダ	2		S58.9.12	70cc						

受託車両	香川 県	地震体験車	88す95	いすゞ	3		H8.7.30		モリタ			
------	---------	-------	-------	-----	---	--	---------	--	-----	--	--	--

情 報 指 令

通 信 系 統 図



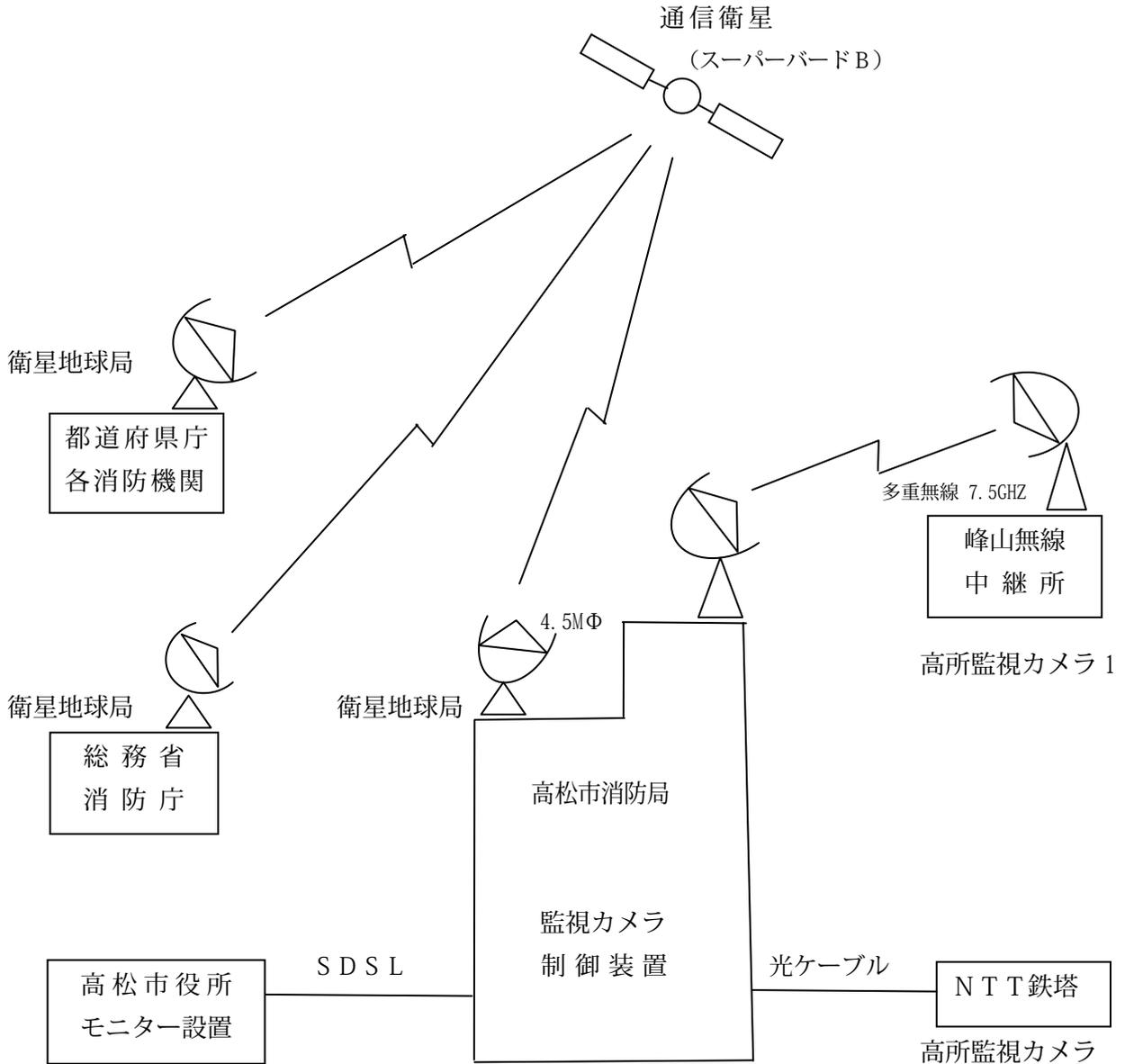
画像伝送システム

画像伝送システムは、平成8年度に新規導入を行った。

画像伝送システムの現況

種 別	数 量	摘 要
衛 星 通 信 装 置	1 式	アンテナ装置・映像系操作卓・テレビモニター 一斉受令装置・送受信装置・映像集配信装置 回線接続装置・監視制御装置・無停電電源装置 電源装置

画像伝送システム（衛星通信地球局）イメージ図



消防局情報ネットワーク

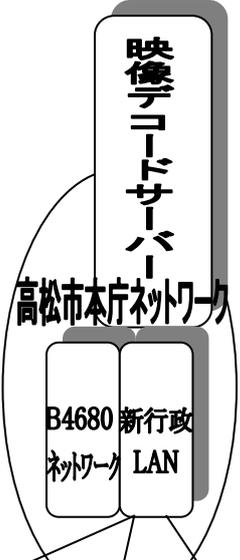
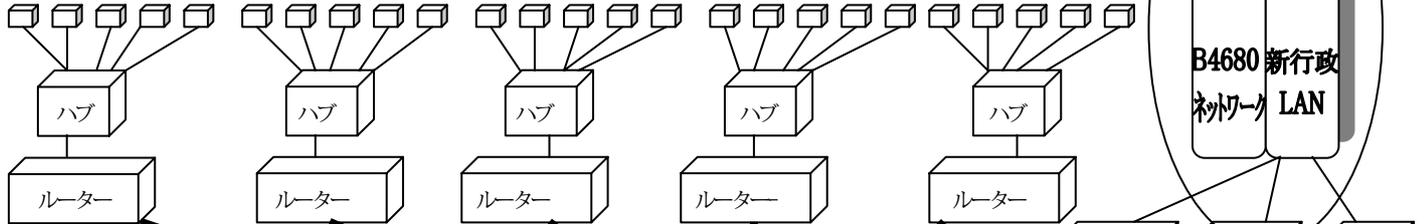
消防局情報ネットワークシステムは、平成12年度に新規導入を行った。

(平成13年1月1日運用開始)

①システム概念図

綾歌東部分署 朝日分署 西消防署 南消防署 東消防署

ノートパソコン12台	ノートパソコン18台	ノートパソコン22台	ノートパソコン25台	ノートパソコン21台
ページプリンター1台	ページプリンター1台	ページプリンター1台	ページプリンター1台	ページプリンター2台
カラープリンター1台	カラープリンター1台	カラープリンター1台	カラープリンター1台	カラープリンター1台
スキャナー1台	スキャナー1台	スキャナー1台	スキャナー1台	スキャナー1台



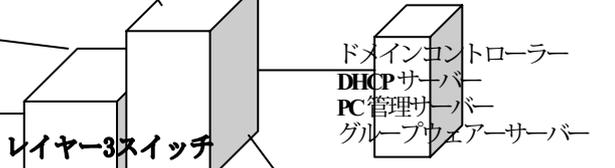
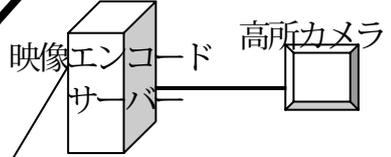
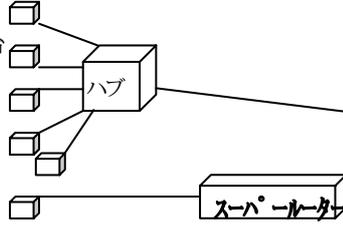
6出張所

ノートパソコン 9台
ページプリンター1台
カラープリンター1台
スキャナー1台



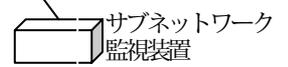
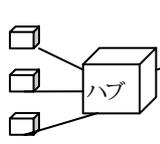
北消防署

ノートパソコン39台
ページプリンター2台
カラープリンター1台
スキャナー1台
財務会計端末



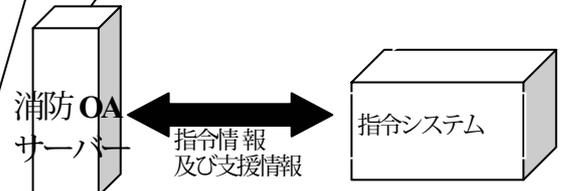
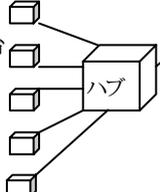
総務課

ノートパソコン13台
ページプリンター1台
カラープリンター1台



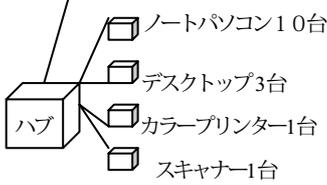
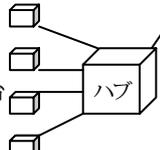
予防課

ノートパソコン18台
ページプリンター2台
カラープリンター1台
スキャナー1台



消防防災課

ノートパソコン6台
ページプリンター1台
カラープリンター1台



情報指令課

固定局無線局（分団サイレン制御装置）設置一覧表

（平成17年4月1日）

No.	親局名	設置場所	出力(W)	メーカー	設置年月
1	峰山中継所	郷東町	10	富士通ゼネラル	H 8. 6
2	消防局(非常用)	宮脇町一丁目2-34	10	〃	H 5. 3
No.	子局名	設置場所	出力(W)	メーカー	設置年月
1	東部分団	観光通り2-9-15	0.5	富士通ゼネラル	H 5. 3
2	西部分団1部	番町2-19-12	0.1	〃	〃
3	西部分団2部	瀬戸内町49-14	0.1	〃	H 6. 3
4	南部分団	栗林町2-10-46	0.5	〃	H 5. 3
5	北部分団	松福町1-20-9	0.5	〃	〃
6	女木分団東浦	女木町2938-1	0.5	〃	H 7. 3
7	女木分団西浦	女木町西浦漁港内	5	〃	H 6. 3
8	男木分団	男木町133-2	5	〃	H 5. 3
9	鶴尾分団1部	田村町264-4	1	〃	〃
10	鶴尾分団2部	勅使町898-3	1	〃	H 6. 3
11	鶴尾分団3部	田村町753-1	1	〃	〃
12	太田分団1部	太田上町1045-2	1	〃	H 5. 3
13	太田分団2部	伏石町841-4	1	〃	H 6. 3
14	三谷分団1部	三谷町161-1	1	〃	H 5. 3
15	三谷分団2部	三谷町3151-9	1	〃	H 6. 3
16	三谷分団3部	三谷町4561-8	1	〃	〃
17	多肥分団1部	多肥上町819-3	1	〃	H 5. 3
18	多肥分団2部	多肥上町1870-1	1	〃	H 6. 3
19	仏生山分団1部	仏生山町甲2518-16	1	〃	H 5. 3
20	仏生山分団2部	仏生山町1673-9	1	〃	H 6. 3
21	一宮分団1部	一宮町616-2	1	〃	H 5. 3
22	一宮分団2部	鹿角町375-1	1	〃	H 6. 3
23	一宮分団3部	一宮町97-1 98-3	1	〃	〃
24	川岡分団	川部町1649-1	1	〃	H 5. 3
25	円座分団	円座町1626-7	1	〃	〃
26	檀紙分団	檀紙町777-10	2.5	〃	〃
27	木太分団1部	木太町3497-1	1	〃	〃
28	木太分団2部	木太町2558	1	〃	H 6. 3
29	古高松分団1部	高松町91-7	1	〃	〃
30	古高松分団2部	新田町甲923-4	1	〃	H 5. 3
31	古高松分団3部	春日町1591-4	1	〃	H 6. 3
32	屋島分団1部	屋島西町299-1	1	〃	〃
33	屋島分団2部	屋島東町1808	1	〃	〃
34	屋島分団3部	屋島西町1584-4	1	〃	H 5. 3
35	屋島分団4部	屋島東町1554-4	1	〃	H 7. 3
36	屋島分団5部	屋島東町528	10	〃	〃
37	前田分団1部	亀田町172-7	1	〃	〃
38	前田分団2部	前田西町2-8	1	〃	H 5. 3
39	川添分団1部	元山町975-9	1	〃	〃
40	川添分団2部	下田井町327-1	1	〃	H 6. 3
41	林分団1部	林町177-6	1	〃	H 5. 3
42	林分団2部	上林町408-5	1	〃	H 6. 3
43	山田分団1部	由良町542-4	1	〃	〃
44	山田分団2部	十川西町575-2	1	〃	H 5. 3
45	山田分団3部	東植田町2026-12	1	〃	H 6. 3
46	山田分団4部	西植田町3034-6	5	〃	〃
47	山田分団菅沢	菅沢町743	10	〃	〃
48	山田分団神内	西植田町7972-4	5	〃	〃
49	弦打分団	鶴市町651-5	1	〃	H 5. 3
50	鬼無分団	鬼無町佐藤31-3	1	〃	〃
51	香西分団	香西西町190-8	1	〃	〃
52	下笠居分団1部	生島町345-2	1	〃	〃
53	下笠居分団2部	亀水町458-1	5	〃	H 6. 3

1 1 9 番 受 信 状 況

() 内は携帯電話から受信した件数

月 別 種 別	総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数	40009 (14580)	3396 (1127)	2844 (1047)	2990 (1047)	2671 (1075)	3212 (1184)	2905 (1039)	3130 (1213)	4186 (1650)	3502 (1229)	4769 (1622)	3087 (1063)	3317 (1284)
火 災	398 (178)	39 (18)	27 (13)	35 (14)	31 (12)	29 (13)	27 (12)	29 (14)	99 (48)	26 (10)	27 (15)	19 (7)	10 (2)
救 急	14906 (3940)	1357 (329)	1194 (298)	1226 (302)	1155 (321)	1192 (287)	1106 (303)	1318 (370)	1219 (310)	1184 (348)	1316 (339)	1245 (341)	1394 (392)
救 助	99 (50)	7 (2)	4 (2)	9 (6)	8 (4)	8 (1)	7 (3)	5 (5)	13 (7)	5 (5)	24 (8)	5 (4)	4 (3)
火災警戒	54 (22)	2 (1)	2 (0)	3 (2)	5 (3)	3 (0)	1 (1)	3 (1)	14 (6)	7 (5)	6 (0)	5 (2)	3 (1)
てい察	66 (26)	5 (2)	2 (1)	6 (3)	5 (3)	3 (1)	2 (1)	1 (0)	12 (7)	11 (3)	7 (2)	3 (1)	9 (2)
水害等	868 (191)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (0)	217 (81)	9 (0)	635 (110)	0 (0)	0 (0)
その他災害	155 (74)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	3 (2)	2 (1)	2 (1)	1 (1)	130 (61)	3 (1)	9 (4)	1 (1)	2 (1)
病院紹介	7327 (2966)	663 (241)	611 (249)	512 (191)	499 (206)	653 (263)	503 (185)	597 (245)	677 (280)	551 (219)	665 (284)	588 (227)	808 (376)
悪 戯	2669 (624)	129 (54)	104 (53)	139 (58)	137 (55)	326 (74)	283 (48)	186 (57)	179 (50)	341 (30)	382 (45)	305 (44)	158 (56)
間 違 い	1595 (624)	142 (54)	125 (53)	156 (58)	139 (55)	151 (74)	121 (48)	148 (57)	139 (50)	99 (30)	118 (45)	118 (44)	139 (56)
応答なし	1151 (826)	51 (38)	38 (30)	67 (46)	52 (38)	82 (68)	75 (56)	78 (64)	173 (115)	120 (103)	238 (127)	105 (82)	72 (59)
訓 練	391 (26)	27 (1)	33 (5)	59 (1)	10 (1)	18 (1)	22 (1)	29 (1)	5 (2)	38 (0)	28 (3)	79 (3)	43 (8)
テ ス ト	3661 (1801)	507 (166)	287 (150)	375 (176)	189 (140)	232 (112)	298 (156)	308 (160)	301 (162)	346 (152)	265 (151)	228 (132)	325 (144)
そ の 他	6669 (3232)	467 (221)	416 (192)	402 (190)	438 (235)	513 (289)	457 (224)	421 (237)	1008 (473)	762 (320)	1049 (489)	386 (170)	350 (192)

管 轄 外 1 1 9 番 等 受 信 状 況

(単位：件)

月 別 種 別	総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
転送状況(119)	1697	126	112	126	138	142	142	174	163	127	174	128	145
大 川	774	65	51	47	73	60	60	78	81	58	81	53	67
讃 岐	764	55	54	63	55	68	70	80	59	57	80	60	63
小 豆	114	5	5	13	8	7	10	15	16	8	7	11	9
中讃地区	45	1	2	3	2	7	2	1	7	4	6	4	6
テレホンガイド	72071	8006	4328	5459	7380	5789	5990	4550	7318	6825	6774	5355	4297

火 災 統 計

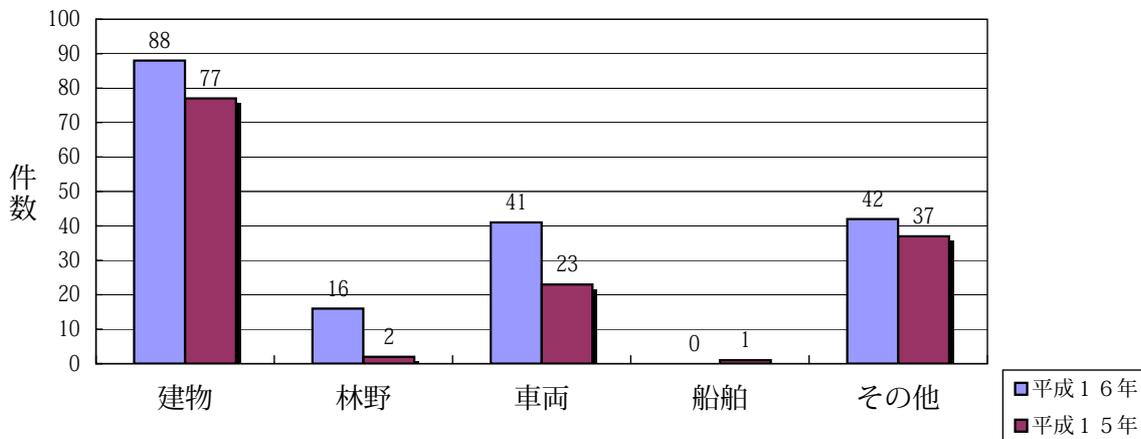
第1表 火災概況

(1) 管内全域

区分	平成16年			平成15年			増減		
	高松市	受託3町	合計	高松市	受託3町	合計	高松市	受託3町	合計
出火件数(件)	155	32	187	124	16	140	31	16	47
建物	78	10	88	69	8	77	9	2	11
林野	7	9	16	1	1	2	6	8	14
車両	40	1	41	23		23	17	1	18
船舶				1		1	▲ 1		▲ 1
その他	30	12	42	30	7	37		5	5
焼損棟数(棟)	98	12	110	98	8	106		4	4
全焼	19	6	25	19	3	22		3	3
半焼	5		5	16	2	18	▲ 11	▲ 2	▲ 13
部分焼	27	2	29	32	1	33	▲ 5	1	▲ 4
ぼや	47	4	51	31	2	33	16	2	18
り災世帯(世帯)	69	8	77	71	6	77	▲ 2	2	
全損	15	3	18	21	3	24	▲ 6		▲ 6
半損	9		9	11	1	12	▲ 2	▲ 1	▲ 3
小損	45	5	50	39	2	41	6	3	9
り災人員(人)	171	20	191	157	20	177	14		14
死者(人)	8		8	6		6	2		2
傷者(人)	20	3	23	12	1	13	8	2	10
建物焼損床面積(m ²)	2,204	555	2,759	3,910	637	4,547	▲ 1,706	▲ 82	▲ 1,788
建物焼損表面積(m ²)	131	7	138	287	17	304	▲ 156	▲ 10	▲ 166
林野焼損面積(a)	15	17	32	9	4	13	6	13	19
損害額(千円)	104,744	8,833	113,577	213,995	23,400	237,395	▲ 109,251	▲ 14,567	▲ 123,818
建物	92,569	8,822	101,391	208,165	23,400	231,565	▲ 115,596	▲ 14,578	▲ 130,174
林野				10		10	▲ 10		▲ 10
車両	8,989	10	8,999	5,496		5,496	3,493	10	3,503
船舶				2		2	▲ 2		▲ 2
その他	650	1	651	322		322	328	1	329
爆発	2,536		2,536				2,536		2,536
出火率	4.6	6.3	4.8	3.8	3.3	3.7	0.8	3.0	1.1

(注) 出火率は人口1万人当たりの出火件数を示し、算出人口は各年とも12月1日現在の住民基本台帳による。

火災種別ごと出火件数

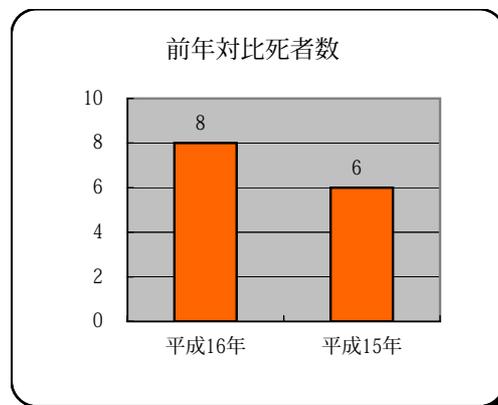
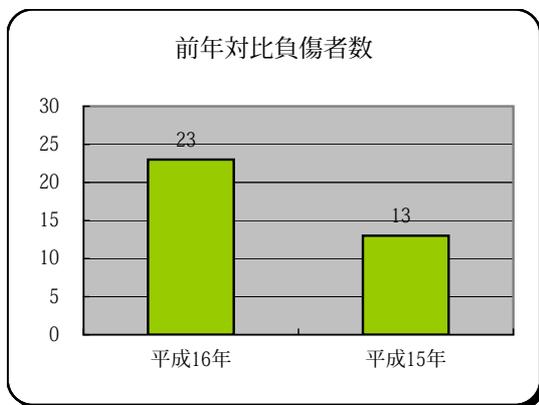


第2表 火災による死傷者の発生状況

(1) 火災種別死傷者数

区 分		合 計	建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		航空機火災		その他火災	
平成 16 年	負 傷 者	23	16	30日		30日	2	30日		30日		30日	5	30日
	死 者	8	4				1						3	
平成 15 年	負 傷 者	13	13	30日		30日		30日		30日		30日		30日
	死 者	6	5				1							

注1 負傷者の30日欄は、負傷後48時間を経過して30日以内に死亡した人数で、負傷者として計上する。



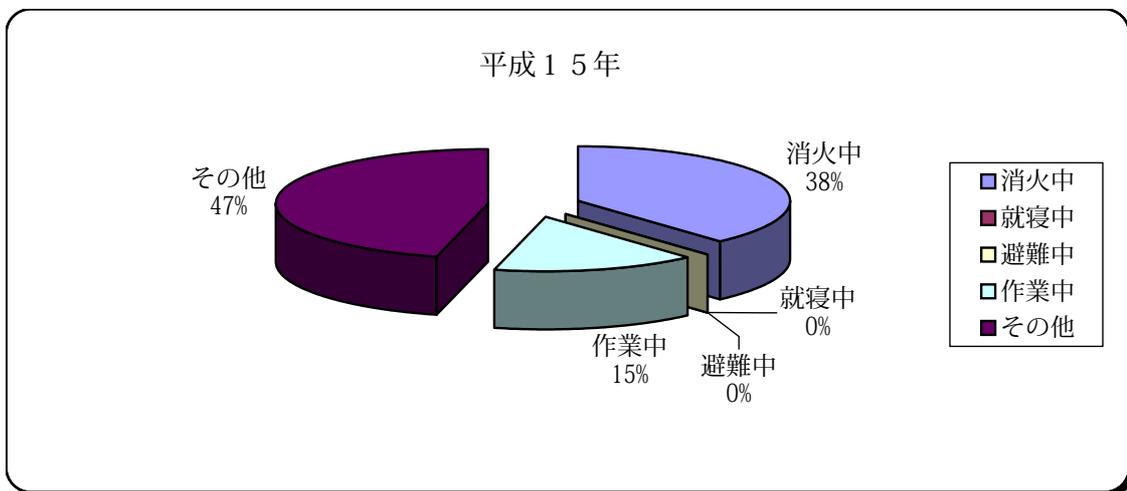
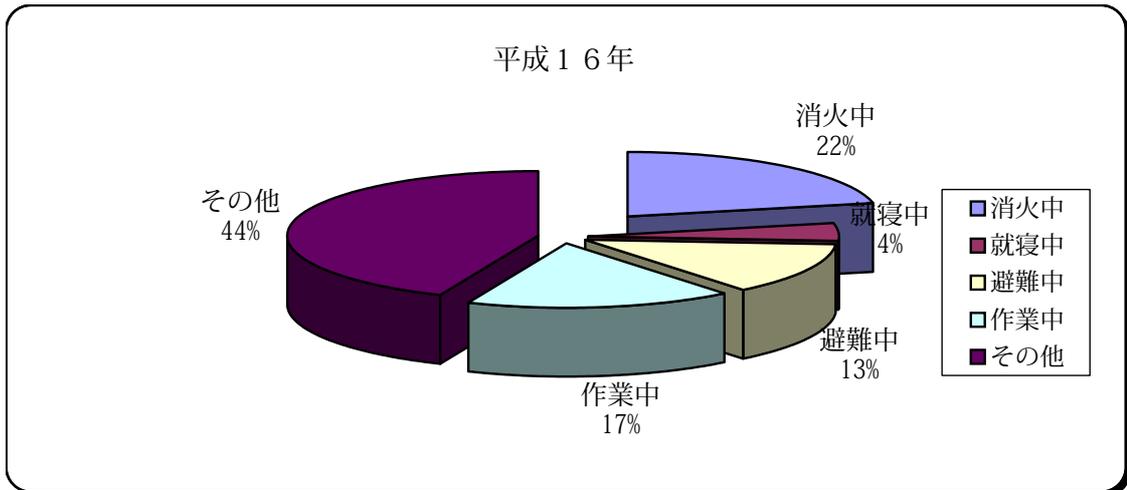
(2) 死者の発生した経過

区 分	計	逃げ遅れ	再 進 入	着 衣 着 火	放 火 自 殺	その他(不明)
平 成 1 6 年	8	3	1	2	2	
平 成 1 5 年	6	6				

(3) 死者の発生した状況

月 日	覚 知 時 間	火 災 種 別	出 火 場 所	性別	年齢
1 1月6日	0時26分	建物	亀田南町	女	74
2 1月25日	22時16分	車両	勅使町	男	50
3 3月17日	1時50分	建物	高松町	男	90
4 3月17日	1時50分	建物	高松町	男	60
5 4月13日	13時18分	建物	川部町	女	80
6 6月3日	14時50分	その他	十川西町	女	81
7 6月15日	16時30分	その他	高松町	女	85
8 11月7日	11時27分	その他	三谷町	女	25

(4) 受傷時の状況



(5) 負傷者の内訳

区分	平成16年	平成15年
計	23	13
消防吏員	1	1
消防団員		
応急消火義務者	14	10
消防協力者	2	
その他の者（自損を含む）	6	2

第3表 建物用途別火災発生状況

区 分	出 火 件 数		死 傷 者 数			
			死 者 数		負 傷 者 数	
	平成16年	平成15年	平成16年	平成15年	平成16年	平成15年
合 計	88	77	4	5	16	13
住 宅	32	37	4	4	11	7
共同住宅	19	14		1	3	3
併用住宅		1				
集 会 場	1					
店 舗	9	5				3
病 院		1				
神社・仏閣	1					
工場・作業場	5	5			1	
倉 庫	5	2				
納屋・物置	8	2			1	
車 庫		1				
事 務 所	2	4				
幼稚園・保育所						
遊 技 場						
福 祉 施 設						
学 校	1					
駅 舎						
体 育 館						
複合用途(特)	3	1				
複合用途(非)	2	1				
空 家						
旅 館						
そ の 他		3				

第4表 原因別火災発生状況

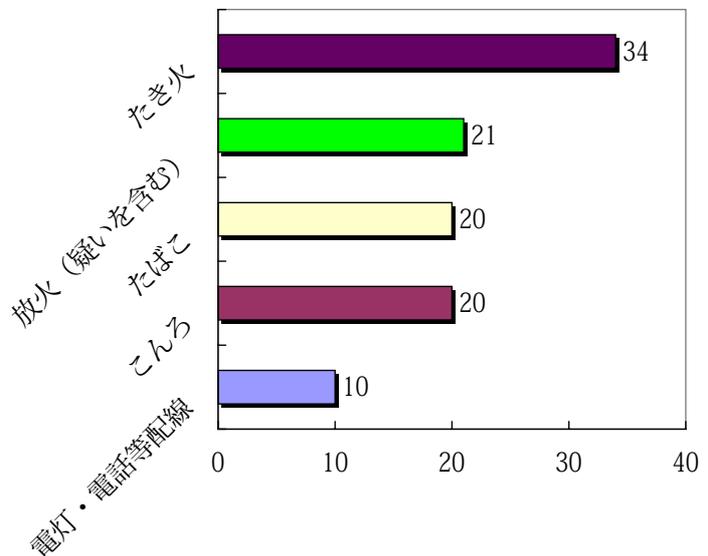
(1) 原因別火災発生状況

区 分	火 災 種 別 件 数						焼 損 棟 数					り 災 世 帯			死 者	負 傷 者	焼 損 面 積			損 害 額 (千円)		
	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 損	半 損			小 損	り 災 人 員	建 物 床 面		建 物 表 面	林 野
総 計	187	88	16	41		42	110	25	5	29	51	77	18	9	50	191	8	23	2,759	138	32	113,577
放火	18	9		6		3	11	1		2	8	5	1		4	7	2	1	25	33		3,652
放火の疑い	3	2	1				2	1		1									206	3	5	5,538
たばこ	20	12	3			5	14	3	1	5	5	14	3	2	9	30		4	389	20	5	17,494
こんろ	20	20					25	4	1	6	14	21	2	2	17	53	1	4	381	9		9,769
かまど																						
風呂かまど	1	1					1			1		1		1	2				30			1,000
炉																						
焼却炉	2	1	1				1	1											10		2	50
ストーブ	6	6					6	1		1	4	14	4	2	8	30		1	157			14,476
こたつ	2	2					2			2		2	1	1	6				35			1,955
ボイラー																						
煙突・煙道	1	1					1				1	1			1	5				1		5
排気管	3			2		1																175
電気機器	2	2					2				2	1	1		3		4					2,546
電気装置	2	1		1			1			1										3		910
電灯・電話等配線	10	9				1	14	4		5	5	9	3	1	5	25	3	3	639	51		25,400
内燃機関																						
配線器具	2	2					2				2	1			1	3				1		55
火遊び	8	2	1			5	2			1	1	1			1	4			2		1	142
マッチ・ライター	3	2		1			5	2	1		2	1	1		1				94	1		6,954
たき火	34	4	10			20	5	3	2								2	2	122		19	2,274
溶接機・溶断機	1					1												1				1
灯火	1	1					1				1	1			1	6						98
衝突の火花																						
取灰																						
火入れ																						
その他	45	9		31		5	12	2		4	6	3			3	9		2	276	16		14,228
不明・調査中	3	2				1	3	3				2	2		7				393			6,855

(2) 原因別出火件数

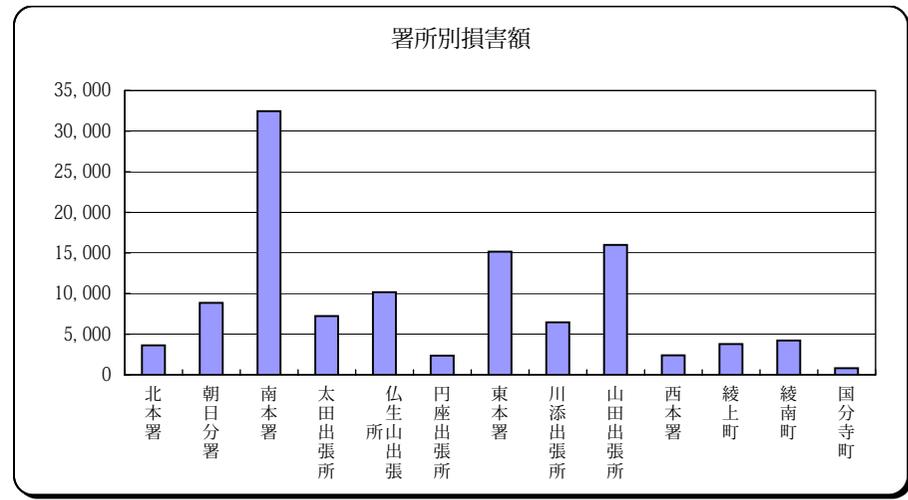
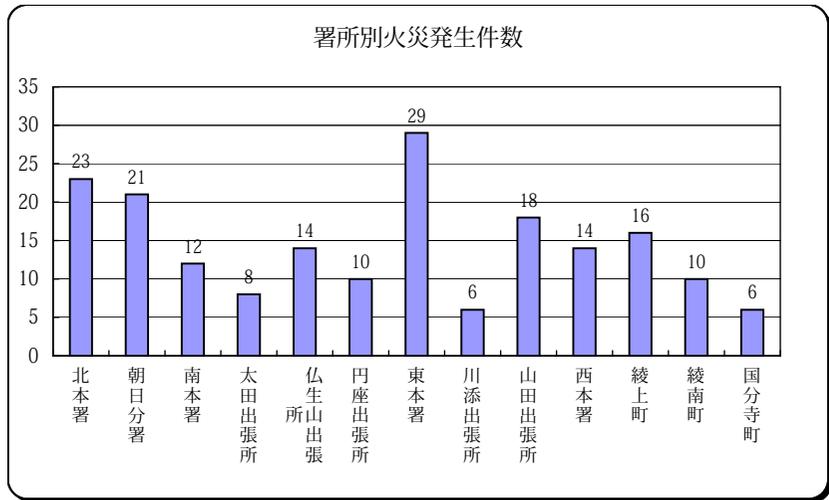
区 分	件 数		
	計	高松市	受託3町
総 計	187	155	32
放火	18	16	2
放火の疑い	3	3	
たばこ	20	17	3
こんろ	20	17	3
かまど			
風呂かまど	1	1	
炉			
焼却炉	2	1	1
ストーブ	6	6	
こたつ	2	2	
ボイラー			
煙突・煙道	1	1	
排気管	3	2	1
電気機器	2	2	
電気装置	2	2	
電灯・電話等配線	10	9	1
内燃機関			
配線器具	2	2	
火遊び	8	7	1
マッチ・ライター	3	3	
たき火	34	18	16
溶接機・溶断機	1		1
灯火	1	1	
衝突の火花			
取灰			
火入れ			
その他	45	44	1
不明・調査中	3	1	2

出火原因ワースト5 (不明・調査中・その他除く)



第7表 署所別（管轄別）火災発生状況

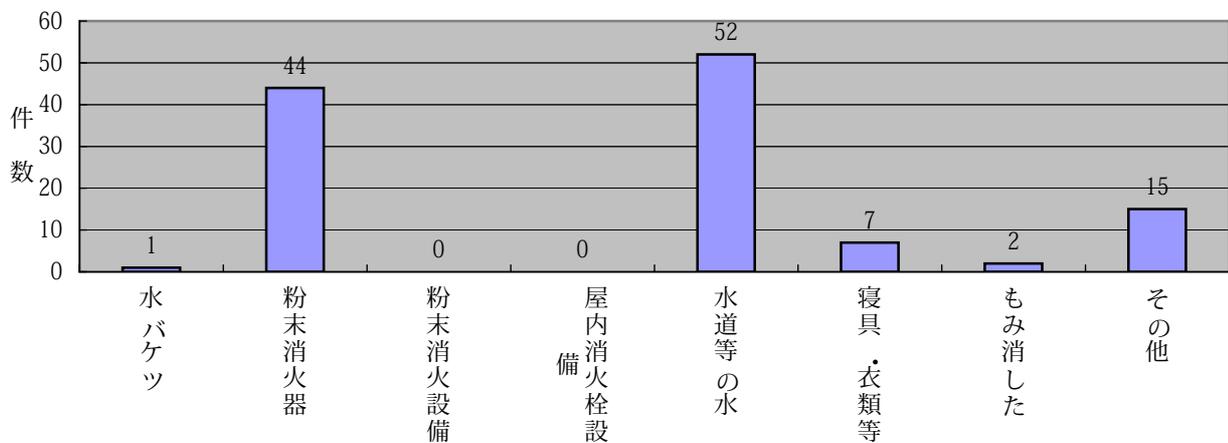
区分	火災種別件数						焼損棟数					り災世帯			死者	負傷者	焼損面積			損害額（千円）										
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損			小損	り災人員	建物床㎡	建物表㎡	林野a	計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発		
総計	187	88	16	41		42	110	25	5	29	51	77	18	9	50	191	8	23	2,759	138	32	113,577	101,391		8,999		651	2,536		
高松市	155	78	7	40		30	98	19	5	27	47	69	15	9	45	171	8	20	2,204	131	15	104,744	92,569		8,989		650	2,536		
北消防署	計	44	22		20		2	25	1	1	10	13	11		5	6	18		6	323	48		12,486	9,240		3,236		10		
	本署	23	11		10		2	14			6	8	6		2	4	10		4	52	46		3,632	2,852		770		10		
	朝日分署	21	11		10			11	1	1	4	5	5		3	2	8		2	271	2		8,854	6,388		2,466				
南消防署	計	44	21	2	10		11	32	10	2	6	14	31	9	4	18	79	3	2	1,011	24	2	52,232	48,317		3,807		108		
	本署	12	7		4		1	10	2	2	4	2	18	7	4	7	40	1	2	247	4		32,468	29,415		2,978		75		
	太田出張所	8	4		3		1	7	2		1	4	2			2	5			235	17		7,241	7,210		11		20		
	仏生山出張所	14	7	1			6	10	3		1	6	8	1		7	26	1		445	2	1	10,170	10,170						
	円座出張所	10	3	1	3		3	5	3			2	3	1		2	8	1		84	1	1	2,353	1,522		818		13		
東消防署	計	53	26	4	10		13	31	7		11	13	21	6		15	58	5	10	810	57	12	37,625	33,089		1,946		54	2,536	
	本署	29	14	2	7		6	14	1		5	8	11	2		9	35	3	6	355	2	6	15,161	10,838		1,733		54	2,536	
	川添出張所	6	3		1		2	3	1		1	1	2	1		1	3		2	110	4		6,461	6,443		18				
	山田出張所	18	9	2	2		5	14	5		5	4	8	3		5	20	2	2	345	51	6	16,003	15,808		195				
西消防署	計	46	19	10	1		16	22	7	2	2	11	14	3		11	36		5	615	9	18	11,234	10,745		10		479		
	本署	14	9	1			4	10	1	2		7	6			6	16		2	60	2	1	2,401	1,923				478		
	受託	綾上町	16	3	6			7	4	2		1	1	3	1		2	12		2	250	5	11	3,783	3,782				1	
		綾南町	10	3	2			5	4	4				1	1			1			285		5	4,231	4,231					
		国分寺町	6	4	1	1			4				3	4	1		3	7		1	20	2	1	819	809		10			



第8表 初期消火の実施状況

種 別	火 災 種 別 件 数					
	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他
総 計	187	88	16	41		42
初期消火に成功	65	37	1	13		14
水 バ ケ ツ	1					1
初期消火に成功						
粉末消火器	44	23		17		4
初期消火に成功	22	11		8		3
屋内消火栓設備						
初期消火に成功						
水道・浴槽・汲み置き等の水をかけた	52	27	2	6		17
初期消火に成功	31	18		5		8
寝具・衣類等をかけた	7	7				
初期消火に成功	7	7				
もみ消した	2		1			1
初期消火に成功	1		1			
そ の 他	15	3	5			7
初期消火に成功	4	1				3
粉末消火設備						
初期消火に成功						
初期消火なし	66	28	8	18		12

初期消火状況



第9表 住宅火災の発生状況

(1) 住宅種別火災発生状況（類焼を含む）

区分	火災件数	焼 損 棟 数					り 災 世 帯				り 災人員	死 者	負 傷者	焼損面積 (㎡)		損害額 (千円)
		計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損				床面積	表面積	
住宅	32	46	14	3	8	21	38	12	3	23	108	4	11	1,504	58	55,924
共同住宅	19	19			7	12	31	6	6	19	58		3	153	9	19,766
併用住宅																
合計	51	65	14	3	15	33	69	18	9	42	166	4	14	1,657	67	75,690

(2) 火災原因別発生状況

区分	計	放 火	放 火の 疑い	た ばこ	こ んろ	か まど	風 呂か まど	炉	焼 却炉	ス ト ー ブ	こ た つ	ボ イ ラ ー	煙 突・ 煙道	排 気 管	電 気 機 器	電 気 装 置	電 灯・ 電話 等	内 燃 機 関	配 線 器 具
住宅	32	2		1	12		1			4	1		1		1		3		1
共同住宅	19	2		4	6					2	1						1		
併用住宅																			
合計	51	4		5	18		1			6	2		1		1		4		1

区分	火 遊 び	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	た き 火	溶 接 機 ・ 溶 断 機	灯 火	衝 突 の 火 花	取 灰	そ の 他	不 明
住宅		1			1			1	2
共同住宅	1							2	
併用住宅									
合計	1	1			1			3	2

(3) 死者の発生した状況

区分	計	逃 げ 遅 れ	再 進 入	着 衣 着 火	自 殺 放 火	そ の 他
住宅	4	3	1			
共同住宅						
併用住宅						
合計	4	3	1			

(4) 受傷時の状況

区分	計	消 火 中	就 寝 中	避 難 中	作 業 中	そ の 他
住宅	11	2	1	3	1	4
共同住宅	3	1				2
併用住宅						
合計	14	3	1	3	1	6

第10表 覚知別火災発生状況

区 分		平成16年		平成15年	
		出火件数	損害額(千円)	出火件数	損害額(千円)
総 数		187	113,577	140	237,395
高 松 市	総 数	155	104,744	124	213,995
	火災報知器			1	33
	119番(加入)	83	65,293	102	202,927
	119番(携帯)	47	31,100		
	加入電話(加入)	2	55	4	63
	加入電話(携帯)	1	66		
	警察電話	5	7,297	9	9,189
	駆け付け	1		3	44
	事後聞知	10	212	4	1,724
	その他	6	721	1	15
受 託	総 数	32	8,833	16	23,400
	火災報知器				
	119番(加入)	25	4,927	14	23,400
	119番(携帯)	4	3,895		
	加入電話(加入)			1	
	加入電話(携帯)				
	警察電話	1	10		
	駆け付け	1	1	1	
	事後聞知	1			
	その他				

第11表 損害額別火災発生状況

損 害 額	出 火 件 数			
	平成16年		平成15年	
	高松市	受託	高松市	受託
総 数	155	32	124	16
1000円未満	29	20	35	10
1000円以上 ~ 10万円未満	77	5	41	2
10万円以上 ~ 100万円未満	28	5	17	
100万円以上 ~ 500万円未満	13	2	19	1
500万円以上 ~ 1000万円未満	8		6	3
1000万円以上 ~ 3000万円未満			6	
3000万円以上				

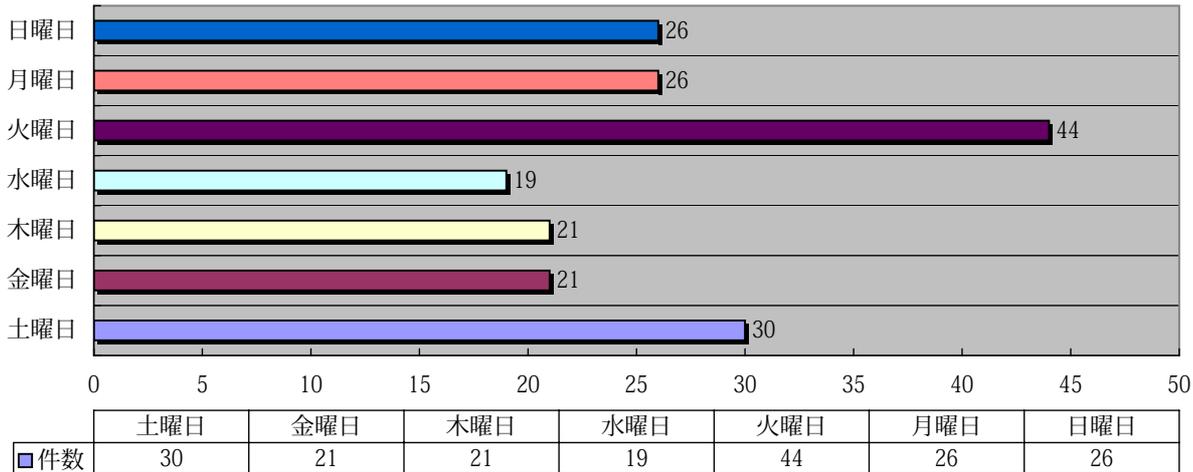
第5表 月別・曜日別・時間別・気象別火災発生状況

(1) 月別火災発生状況

区分	火災種別件数						焼損棟数					り災世帯				り災人員	死者	負傷者	焼損面積			損害額(千円)
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損				建物床㎡	建物表㎡	林野a	
総計	187	88	16	41		42	110	25	5	29	51	77	18	9	50	191	8	23	2,759	138	32	113,577
1月	19	11	4	1		3	14	4		5	5	16	5	2	9	41	2	2	455	53	10	20,623
2月	15	7	3			5	9	3	1	2	3	5	2		3	11		5	490	10	5	14,988
3月	19	11	2	4		2	11	2	1	3	5	8	1	3	4	22	2	6	230	6	4	11,396
4月	20	13	2	1		4	17	6		4	7	9	3	1	5	12	1		299	2	2	8,233
5月	15	8		1		6	9	1		6	2	6	1	1	4	19		1	203	1		9,819
6月	16	7	2	4		3	8	2	1	1	4	3			3	6	2	2	174	2	4	3,722
7月	14	3	2	2		7	3			2	1	2		1	1	4		2	30	4	6	990
8月	30	5		21		4	10	2		3	5	5			5	14			240	48		11,524
9月	13	8	1	3		1	9	1		1	7	5			5	11		1	88	8	1	1,248
10月	9	4		3		2	7	3	2		2	3	3			11		2	301	2		16,824
11月	9	6		1		2	8	1		1	6	11	3	1	7	27	1	1	245	1		14,101
12月	8	5				3	5			1	4	4			4	13		1	4	1		109

(2) 曜日別火災発生状況

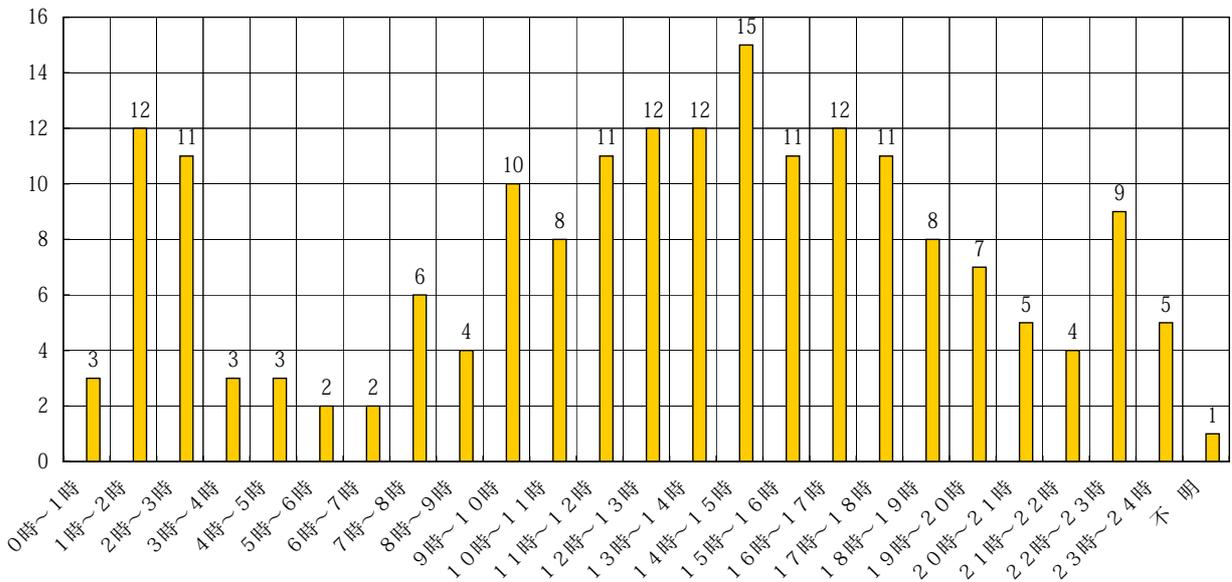
件数



(3) 時間帯別火災発生状況

区分	火災種別件数						焼損棟数					り災世帯			り災人員	死者	負傷者	焼損面積			損害額 (千円)	
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損				小損	建物床 ㎡	建物表 ㎡		林野 a
総計	187	88	16	41		42	110	25	5	29	51	77	18	9	50	191	8	23	2,759	138	32	113,577
0時～1時	3	1		1		1	4	1		1	2	4	1		3	9	1	2	163	50		8,513
1時～2時	12	6		5		1	6	2		2	2	3	2	1	10	2	1	447	1			15,765
2時～3時	11	2		9			2				2	1			1	2		1				3,137
3時～4時	3	1		2			1				1						1		1			25
4時～5時	3	1		1		1	1				1							1				80
5時～6時	2	2					2				2	2			2	6						42
6時～7時	2	1		1			1				1	1			1	3						35
7時～8時	6	4		2			4			2	2	2			2	3		1	147	1		3,217
8時～9時	4	2		2			2			1	1							24	1			1,861
9時～10時	10	3	1	1		5	3		1	1	1							69		1		3,024
10時～11時	8	2	2	2		2	2				2	2			2	5		3		1	2	788
11時～12時	11	1		2		8	1				1	1			1	1	1	1		1		2,081
12時～13時	12	5	1	1		5	7	2	1	1	3	7	2		5	28		1	289		3	8,998
13時～14時	12	6	3	2		1	10	6		1	3	4	2		2	8	1	3	355	1	9	7,265
14時～15時	15	6	4	2		3	7	2	1	1	3	4	1		3	6	1		138	3	8	7,329
15時～16時	11	6	1	1		3	6	2		2	2	2			2	5			74		1	1,358
16時～17時	12	6	1	1		4	6			4	2	5		2	3	14	1	2	43	1	1	2,295
17時～18時	11	6	1	1		3	8	2		1	5	6	2		4	19		3	229	2	1	6,256
18時～19時	8	5	1			2	6	2		2	2	3	1		2	3		1	37	10	5	1,571
19時～20時	7	6	1				6			2	4	4		1	3	10		2	1	7	1	358
20時～21時	5	5					8	3	1	1	3	4	2		2	12		1	260	6		10,212
21時～22時	4	2		1		1	2			1	1	1			1	1		1	9			211
22時～23時	9	5		3		1	8	2	1	4	1	10	2	3	5	22	1		349	15		20,308
23時～24時	5	4		1			7	1		2	4	11	3	2	6	24			123	37		8,847
不明	1					1																1

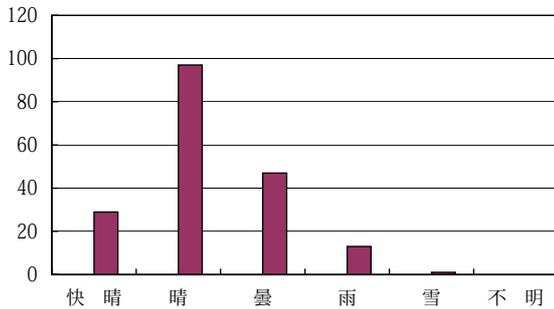
時間帯別発生件数



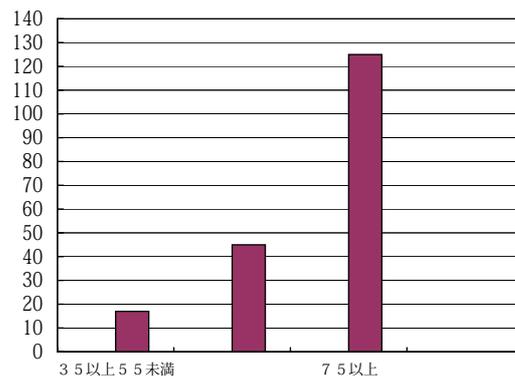
(4) 気象別火災発生状況

区分	火災種別件数						焼損棟数					り災世帯				り災人員	死者	負傷者	焼損面積			損害額 (千円)	
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損				建物床 ㎡	建物表 ㎡	林野 a		
総計	187	88	16	41		42	110	25	5	29	51	77	18	9	50	191	8	23	2,759	138	32	113,577	
天候	快晴	29	13	2	7		7	16	3	1	2	10	6	1	5	10	3	2	169	5	2	8,096	
	晴	97	47	8	17		25	60	16	4	18	22	43	11	4	28	116	5	12	1,707	105	16	70,970
	曇	47	18	5	15		9	24	4		5	15	22	5	3	14	54		4	728	24	13	26,463
	雨	13	9	1	2		1	9	1		4	4	6	1	2	3	11		5	152	4	1	8,038
	雪	1	1					1	1											3			10
	不明																						
風速 m	0以上3未満	76	40	5	12		19	51	8		14	29	38	7	4	27	88	5	10	1,354	119	9	59,825
	3以上6未満	96	42	7	25		22	50	12	5	12	21	35	9	4	22	95	3	11	837	18	14	38,727
	6以上	15	6	4	4		1	9	5		3	1	4	2	1	1	8		2	568	1	9	15,025
	不明																						
湿度 %	35以上55未満	17	7	2	3		5	7			2	5	5		5	15	1	1	5	4	3	1,944	
	55以上75未満	45	24	6	4		11	31	11	2	11	7	25	7	5	13	55	2	3	861	4	12	25,648
	75以上	125	57	8	34		26	72	14	3	16	39	47	11	4	32	121	5	19	1893	130	17	85,985
	不明																						

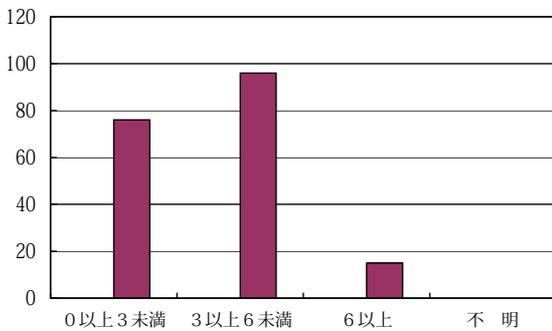
天候別火災発生状況



湿度別火災発生状況



風速別火災発生状況



15表 過去20年間の火災発生状況

年 別	件 数	死 者	負 傷 者	建物焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)
昭和60年					
高松市	160	1	18	4,383	324,481
受託	27	1	2	711	53,285
昭和61年					
高松市	152	9	15	5,928	803,063
受託	30	1	3	744	28,619
昭和62年					
高松市	125	3	15	3,935	507,757
受託	24	0	4	777	68,512
昭和63年					
高松市	113	5	10	3,921	398,733
受託	13	0	1	702	38,043
平成元年					
高松市	111	7	15	5,782	308,357
受託	26	2	3	504	47,895
平成2年					
高松市	140	8	16	2,599	300,413
受託	34	0	6	1,544	62,314
平成3年					
高松市	141	5	24	5,857	456,323
受託	34	0	1	682	36,821
平成4年					
高松市	97	7	21	2,460	203,632
受託	20	2	5	1,504	67,480
平成5年					
高松市	113	8	22	2,980	255,705
受託	28	0	3	905	50,755
平成6年					
高松市	128	13	15	6,297	537,877
受託	37	2	9	678	13,381
平成7年					
高松市	157	8	22	8,136	527,957
受託	26	6	5	1,060	76,772
平成8年					
高松市	144	2	18	3,556	384,375
受託	26	0	3	1,034	22,795
平成9年					
高松市	122	12	25	4,001	373,813
受託	23	1	1	1,565	141,812
平成10年					
高松市	147	12	24	5,108	493,362
受託	15	1	1	313	36,830
平成11年					
高松市	145	4	24	2,311	228,576
受託	30	0	2	903	50,523
平成12年					
高松市	180	4	10	4,263	674,602
受託	26	0	2	649	45,181
平成13年					
高松市	161	4	16	3,617	252,906
受託	24	1	5	380	26,526
平成14年					
高松市	169	4	18	3,616	272,976
受託	41	0	5	971	130,297
平成15年					
高松市	124	6	12	3,910	213,995
受託	16	0	1	637	23,400
平成16年					
高松市	155	8	20	2,204	104,744
受託	32	0	3	555	8,833

救急・救助統計

救 急 活 動 の 推 移

年 別	救急出場 件 数	対 前 年 増減率(%)	救 急 台 数	人 口 (人)	人口1万人 当出場件数	1 日 平 均 出 場 件 数	救急告示 医 療 機 関
4 2 年	1,948	25.5	2	263,996	73.8	5.3	20
4 3 年	2,135	9.6	2	265,747	80.3	5.8	20
4 4 年	2,448	14.7	2	268,826	91.1	6.7	21
4 5 年	2,718	11.0	2	269,983	100.7	7.4	26
4 6 年	3,192	17.4	3	280,665	113.7	8.7	30
4 7 年	3,710	16.2	3	285,978	129.7	10.2	30
4 8 年	3,941	6.2	3	334,239	117.9	10.8	32
4 9 年	3,987	1.2	3	330,080	120.8	10.9	35
5 0 年	4,572	14.7	3	335,674	136.2	12.5	37
5 1 年	4,805	5.1	3	340,084	141.3	13.2	39
5 2 年	4,875	1.5	3	345,006	141.3	13.4	42
5 3 年	5,348	9.7	3	349,181	153.2	14.7	42
5 4 年	5,813	8.7	4	353,600	164.4	15.9	46
5 5 年	6,307	8.5	4	356,297	177.0	17.3	49
5 6 年	6,508	3.2	5	360,200	180.7	17.8	50
5 7 年	7,004	7.6	6	362,891	193.0	19.2	52
5 8 年	7,268	3.8	6	364,832	199.2	19.9	53
5 9 年	7,323	0.8	6	367,940	199.0	20.1	55
6 0 年	7,600	3.8	6	368,859	206.0	20.8	55
6 1 年	7,520	△ 1.1	6	370,618	202.9	20.6	55
6 2 年	7,672	2.0	6	371,814	206.3	21.0	54
6 3 年	8,287	8.0	8	373,343	222.0	22.7	54
平成 元 年	8,551	3.2	8	373,936	228.7	23.4	57
2 年	8,725	2.0	13	374,255	233.1	23.9	58
3 年	8,784	0.7	14	376,088	233.6	24.1	58
4 年	9,057	3.1	14	377,533	239.9	24.8	56
5 年	8,896	△ 1.8	13	376,444	236.3	24.4	57
6 年	9,508	6.9	13	378,160	251.4	26.0	56
7 年	10,201	7.3	13	378,915	269.2	27.9	56
8 年	10,625	4.2	12	380,341	279.4	29.1	56
9 年	11,151	5.0	12	381,498	292.3	30.6	52
1 0 年	12,054	8.1	11	383,087	314.7	33.0	51
1 1 年	12,755	5.8	12	383,165	332.9	34.9	46
1 2 年	13,652	7.0	12	383,594	355.9	37.4	46
1 3 年	13,753	0.7	12	383,778	358.4	37.7	48
1 4 年	14,135	2.8	12	387,041	365.2	38.7	40
1 5 年	14,826	4.9	12	389,635	380.5	40.6	44
1 6 年	15,825	6.7	12	385,770	410.2	43.4	40

注1. 人口は12月末常住人口。

2. 昭和38年2月1日救急業務開始。

3. 昭和48年4月1日綾上町、綾南町および国分寺町受託救急業務開始。従って、昭和48年は受託3町を含んだ人口。

10年間の救急事故の推移

年 別	区 分	出 場 件 数			急 病		交 通 事 故		一 般 負 傷	
		件 数	指 数	対前年対比	件 数	指 数	件 数	指 数	件 数	指 数
平 成	6 年	9,508	100	0.0	4,363	100	2,571	100	1,041	100
	7	10,201	107	4.2	4,861	111	2,622	102	1,111	107
	8	10,625	112	5.0	5,005	115	2,659	103	1,187	114
	9	11,151	117	5.0	5,444	125	2,697	105	1,200	115
	10	12,054	127	8.1	5,906	135	2,874	112	1,381	133
	11	12,755	134	5.8	6,310	145	2,843	111	1,567	151
	12	13,652	144	7.0	6,960	160	3,002	117	1,541	148
	13	13,753	145	0.7	7,056	162	2,843	111	1,617	155
	14	14,135	149	2.8	7,372	169	2,775	108	1,688	162
	15	14,826	145	4.9	7,970	164	2,713	103	1,765	159
	16	15,825	149	6.7	8,493	170	2,719	102	1,957	165

時間別救急出場件数

時間別	区 分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
		合 計	159	34	14	2,719	112	124	1,957	134	202	8,493	1,877
0 ~ 2	13	3	1	96	1	0	82	26	13	542	49	826	
2 ~ 4	3	0	0	58	3	0	63	15	18	457	34	651	
4 ~ 6	4	0	1	62	0	0	50	15	9	423	36	600	
6 ~ 8	4	1	0	216	5	3	108	9	7	616	42	1,011	
8 ~ 10	14	2	0	388	19	7	207	3	19	910	250	1,819	
10 ~ 12	13	3	0	283	22	24	198	3	11	866	354	1,777	
12 ~ 14	25	6	1	277	10	24	212	2	20	841	289	1,707	
14 ~ 16	24	7	1	275	24	36	218	5	15	725	263	1,593	
16 ~ 18	18	4	3	383	17	14	235	8	20	710	235	1,647	
18 ~ 20	15	5	4	338	6	8	225	11	28	854	133	1,627	
20 ~ 22	16	0	0	215	3	7	208	16	25	862	93	1,445	
22 ~ 24	10	3	3	128	2	1	151	21	17	687	99	1,122	

月別救急出場状況

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
													転院搬	医送	師搬	資器材搬	その他
合計	出場件数	15,825	159	34	14	2,719	112	124	1,957	134	202	8,493	1,605	9	1	262	
	不搬送件数	1,410	142	22	7	204	2	0	105	20	36	615	3	9	1	244	
	搬送人員	14,787	18	13	7	2,834	110	133	1,865	123	166	7,893	1,602	0	0	22	
1月	出場件数	1,407	21	0	0	206	8	9	158	10	20	787	159	1	0	28	
	不搬送件数	144	19	0	0	14	0	0	12	2	2	68	0	1	0	26	
	搬送人員	1,290	2	0	0	216	8	9	147	8	18	721	159	0	0	2	
2月	出場件数	1,278	14	0	0	201	5	11	136	9	20	705	162	1	0	14	
	不搬送件数	108	11	0	0	20	0	0	10	0	1	51	1	1	0	13	
	搬送人員	1,192	3	0	0	201	5	11	126	10	19	654	162	0	0	1	
3月	出場件数	1,317	15	0	1	247	10	10	160	18	17	689	128	1	0	21	
	不搬送件数	105	12	0	1	14	1	0	13	3	1	40	0	1	0	19	
	搬送人員	1,243	4	0	0	261	9	10	147	17	16	649	128	0	0	2	
4月	出場件数	1,233	17	0	0	239	6	10	146	12	16	649	115	1	0	22	
	不搬送件数	113	17	0	0	17	0	0	7	1	3	46	0	1	0	21	
	搬送人員	1,152	0	0	0	251	6	11	141	11	13	603	115	0	0	1	
5月	出場件数	1,282	12	0	2	234	12	16	148	19	17	675	127	1	0	19	
	不搬送件数	98	11	0	0	14	1	0	3	3	3	43	0	1	0	19	
	搬送人員	1,217	1	0	2	248	11	18	146	16	14	633	126	0	0	2	
6月	出場件数	1,184	16	1	2	206	4	7	138	9	16	640	124	1	1	19	
	不搬送件数	106	15	0	1	14	0	0	6	4	4	43	0	1	1	17	
	搬送人員	1,105	1	1	1	219	4	7	132	5	12	597	124	0	0	2	
7月	出場件数	1,379	14	0	1	239	12	20	159	14	20	773	108	1	0	18	
	不搬送件数	98	12	0	0	14	0	0	4	0	7	43	0	1	0	17	
	搬送人員	1,311	2	0	1	248	12	22	157	15	13	732	108	0	0	1	
8月	出場件数	1,308	19	14	5	203	9	7	180	5	12	699	125	0	0	30	
	不搬送件数	145	19	11	3	16	0	0	8	0	5	54	1	0	0	28	
	搬送人員	1,201	0	3	2	217	9	10	172	5	7	649	125	0	0	2	
9月	出場件数	1,266	10	4	0	218	13	9	164	10	19	672	122	0	0	25	
	不搬送件数	113	9	2	0	24	0	0	5	4	2	42	0	0	0	25	
	搬送人員	1,189	1	2	0	226	13	9	161	6	17	632	121	0	0	0	
10月	出場件数	1,405	6	15	3	249	13	7	179	9	19	736	150	0	0	19	
	不搬送件数	131	4	9	2	21	0	0	12	2	3	61	0	0	0	17	
	搬送人員	1,307	2	7	1	254	13	8	169	7	16	677	150	0	0	3	
11月	出場件数	1,315	10	0	0	230	11	11	185	8	14	683	142	1	0	20	
	不搬送件数	116	9	0	0	19	0	0	7	7	3	56	1	1	0	19	
	搬送人員	1,224	1	0	0	235	11	11	178	7	11	628	141	0	0	1	
12月	出場件数	1,451	5	0	0	247	9	7	204	11	12	785	143	1	0	27	
	不搬送件数	133	4	0	0	17	0	0	18	0	2	68	0	1	0	23	
	搬送人員	1,356	1	0	0	258	9	7	189	16	10	718	143	0	0	5	

医療機関別搬送人員状況

区 分	合 計		急 病		交 通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他		
	人 員	う ち 管 外	人 員	う ち 管 外	人 員	う ち 管 外	人 員	う ち 管 外	人 員	う ち 管 外	
合 計	14,787	1,163	7,893	499	2,834	232	1,865	128	2,195	304	
救 急 告 示 機 関 の 他 関 連 機 関	国 立	683	574	331	263	65	61	48	38	239	212
	公 立	4,063	48	2394	21	506	4	421	1	742	22
	公 的	3,867	3	2313	1	600	1	465	0	489	1
	私 病 院	5,423	511	2546	197	1381	163	818	87	678	64
	的 診 療 所	749	26	309	17	282	3	113	2	45	4
その他の場所	2	1	0	0					2	1	

年齢区分別搬送人員状況

区 分	合 計	火 災	自 然	水 難	交 通	労 災	運 動	一 般	加 害	自 損	急 病	そ の 他
合 計	14,787	18	13	7	2,834	110	133	1,865	123	166	7,893	1,625
新 生 児	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6	4
乳 幼 児	844	0	0	1	105	0	0	237	1	0	448	52
少 年	713	0	0	1	302	0	45	96	9	3	224	33
成 人	7,031	14	4	3	1,937	93	84	639	106	150	3,472	529
老 人	6,188	4	9	2	490	17	4	892	7	13	3,743	1,007

傷病程度別搬送人員状況

区分	合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他
合計	14,787	18	13	7	2,834	110	133	1,865	123	166	7,893	1,625
死亡	145	0	1	0	17	4	0	18	0	10	88	7
重症	1,490	3	0	3	123	16	7	160	3	21	640	514
中等症	7,301	9	8	2	885	61	63	775	49	90	4,365	994
軽症	5,839	6	4	2	1,809	29	63	912	71	45	2,795	103
その他	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	7

転送回数別搬送人員状況

区分	合計	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
合計	14,775	14,677	97	1	0	0	0
死亡	145	145	0	0	—	—	—
重症	1,490	1,465	25	0	—	—	—
中等症	7,301	7,245	55	1	—	—	—
軽症	5,839	5,822	17	0	—	—	—

傷病程度該当しないその他搬送者 12人

不搬送件数状況

事故種別 理由	合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他			
												転搬 院送	医搬 師送	資搬 器材送	その他
合計	1,409	142	22	7	204	2	0	105	20	36	614	3	9	1	244
緊急性なし	160	1	0	0	32	0	0	14	4	1	81	1	0	0	26
傷病者なし	283	123	11	2	41	0	0	8	4	1	44	0	0	0	49
拒否	542	4	2	2	100	1	0	57	8	6	307	0	0	0	55
酩酊	66	0	0	0	2	0	0	3	0	0	23	0	0	0	38
死亡	139	5	2	0	2	1	0	4	0	26	94	0	0	0	5
現場処置	13	0	0	0	2	0	0	6	0	0	5	0	0	0	0
誤報・いたづら	71	5	1	2	2	0	0	1	2	2	21	0	0	0	35
その他	135	4	6	1	23	0	0	12	2	0	39	2	9	1	36

現場到着所要時間別出場件数状況

事故種別 所要時間	計	5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上
計	15,825	3,980	9,932	1,841	72
急病	8,493	1,773	5,620	1,069	31
交通事故	2,719	797	1,641	270	11
一般負傷	1,957	460	1,246	246	5
その他	2,656	950	1,425	256	25

救急隊員の行った応急処置件数状況

事故種類	応急処置		止血	固定	人口呼吸	心臓マツサージ	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温
	処置対象人員	合計								
合計	12,010	31,437	761	982	33	3	221	2,889	434	2,931
急病	6,874	18,599	33	48	19	1	143	1,959	287	1,912
交通事故	1,908	4,796	312	547	1	-	23	158	35	248
一般負傷	1,425	3,426	307	264	2	1	25	117	43	291
その他	1,803	4,616	109	123	11	1	30	655	69	480

事故種類	被覆	在宅医療維持	ショックパンツ	除細動	静脈路確保	他の処置	血圧測定	聴診器	血中飽和	心電図(電送)	
										1,450	(34)
合計	1,067	29	0	19	8	714	8,891	706	10,299	1,450	(34)
急病	28	24	-	17	5	498	5,678	425	6,398	1,124	(26)
交通事故	479	-	-	1	1	69	1,264	156	1,429	73	(2)
一般負傷	423	2	-	-	1	61	830	58	947	54	(1)
その他	137	3	-	1	1	86	1,119	67	1,525	199	(5)

応急手当普及啓発活動状況

1. 応急手当普及員講習

実施年	実施回数	実施人員	対象者
平成13年まで	4回	94人	-
平成14年	-	-	-
平成15年	-	-	-

2. 普通救命講習

実施年	実施回数	対象者別講習人員						合計	男性	女性
		消防団員	防火協会等	事業所	婦人防火クラブ	市職員	その他			
合計	333回	500人	364人	2,242人	185人	945人	3,432人	4,382人	3,286人	
平成12年	60回	59人	49人	462人	35人	198人	455人	778人	480人	
平成13年	67回	104人	52人	470人	23人	261人	688人	776人	822人	
平成14年	71回	53人	81人	451人	38人	182人	875人	866人	814人	
平成15年	63回	268人	90人	272人	51人	194人	616人	993人	498人	
平成16年	72回	16人	92人	587人	38人	110人	798人	969人	672人	

救 助 活 動 状 況

区 分	出 場 件 数	出 場 人 員	活 動 件 数	活 動 人 員	救 助 人 員
平成 1 5 年	128	2,228	82	1,150	74
平成 1 6 年	184	3,021	137	1,652	199
火 災	6	387	6	100	6
交 通 事 故	84	1,422	68	839	77
水 難 事 故	13	261	8	112	12
風水害等自然災害	51	472	30	336	59
機械による事故	5	81	4	35	4
建物等による事故	12	194	10	116	9
ガスおよび酸欠事故	0	0	0	0	0
破 裂 事 故	0	0	0	0	0
そ の 他	13	204	11	114	32

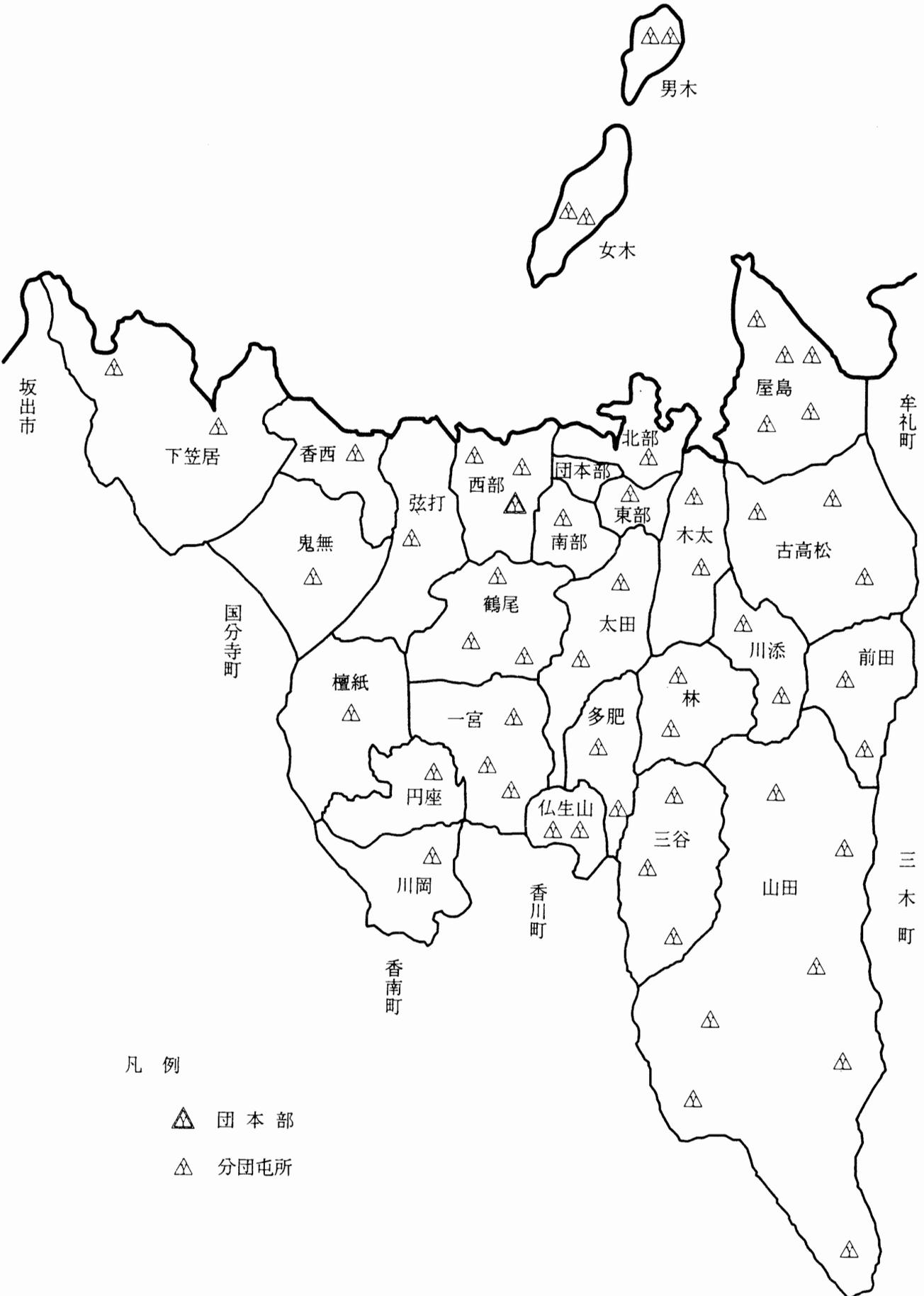
注 1. 火災の出場件数は、要救助者の存在が予想される火災および救助活動を行った火災。

署 所 出 場 状 況

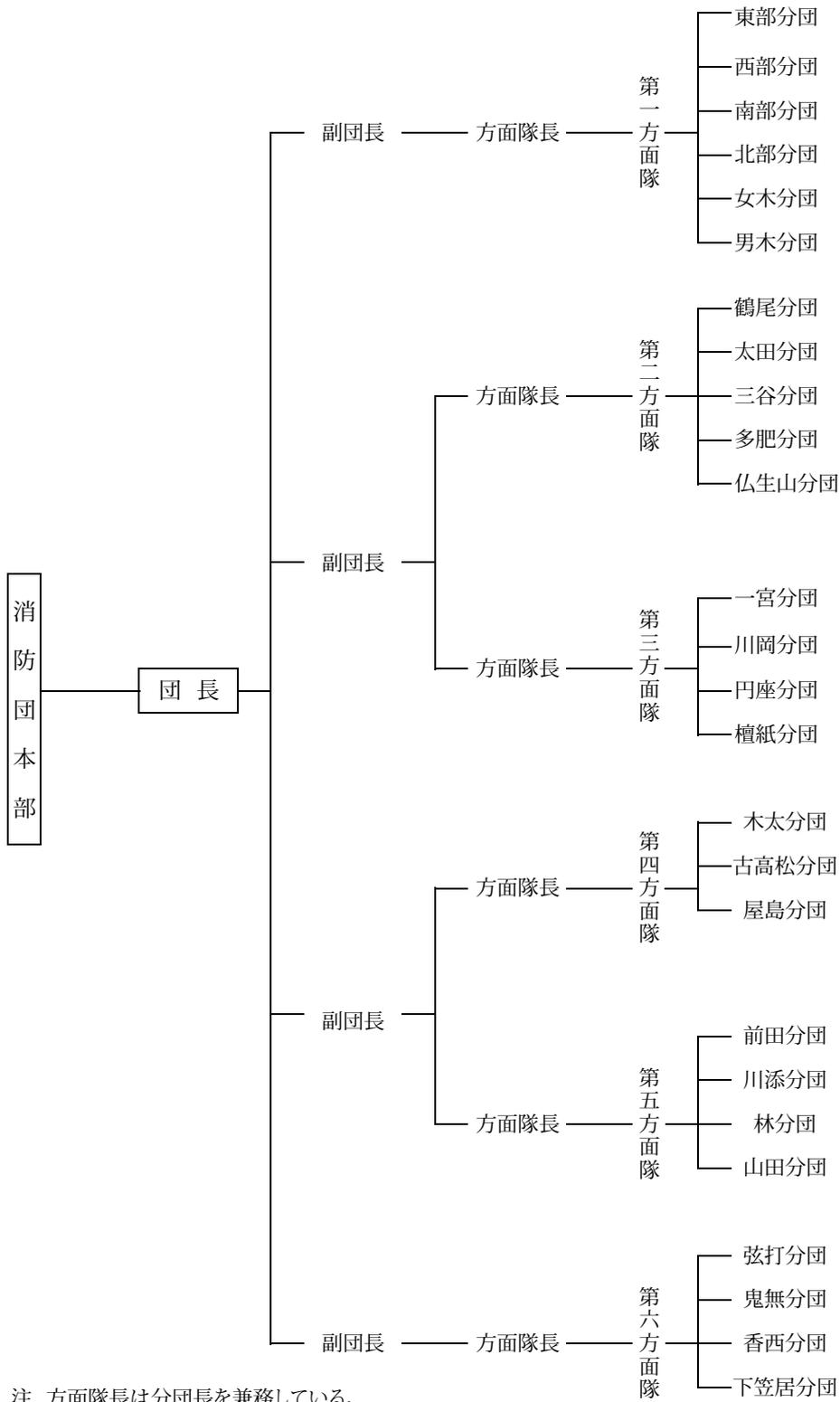
区 分		総	火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ
		数	災	通	難	然	械	物	酸	裂	の
				事	事	災			欠		他
				故	故	害			ス		
出 場 件 数	合 計	184	6	84	13	51	5	12	0	0	13
	北 署	60	2	11	9	26	2	5	0	0	5
	南 署	47	1	26	1	12	0	3	0	0	4
	東 署	42	3	23	2	8	2	4	0	0	0
	西 署	35	0	24	1	5	1	0	0	0	4
出 場 人 員	合 計	3021	387	1422	261	472	81	194	0	0	204
	北 署	800	77	169	166	205	34	78	0	0	71
	南 署	706	96	420	6	69	0	45	0	0	70
	東 署	859	214	411	83	47	33	71	0	0	0
	西 署	656	0	422	6	151	14	0	0	0	63
活 動 件 数	合 計	137	6	68	8	30	4	10	0	0	11
	北 署	48	2	11	6	19	2	4	0	0	4
	南 署	24	1	15	0	2	0	2	0	0	4
	東 署	35	3	19	1	7	1	4	0	0	0
	西 署	30	0	23	1	2	1	0	0	0	3
活 動 人 員	合 計	1652	100	839	112	336	35	116	0	0	114
	北 署	540	7	136	102	147	22	59	0	0	67
	南 署	243	7	178	0	8	0	16	0	0	34
	東 署	462	86	286	4	39	6	41	0	0	0
	西 署	407	0	239	6	142	7	0	0	0	13
救 助 人 員	合 計	199	6	77	12	59	4	9	0	0	32
	北 署	73	0	12	10	18	2	5	0	0	26
	南 署	19	0	13	0	2	0	1	0	0	3
	東 署	66	6	29	1	26	1	3	0	0	0
	西 署	41	0	23	1	13	1	0	0	0	3

消 防 団

消防団本部・分団屯所配置図



高松市消防団の組織



消 防 団 員 の 定 数 と 実 員 状 況

(平成17年4月1日)

区 分	総 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
定 員	806	1	4	26	55	84	158	478
実 員	753	1	4	26	55	83	157	427
団 本 部	5	1	4	—	—	—	—	—
東 部 分 団	15	—	—	1	2	2	3	7
西 部 "	22	—	—	1	2	3	5	11
南 部 "	14	—	—	1	2	2	3	6
北 部 "	13	—	—	1	2	2	3	5
女 木 "	19	—	—	1	2	2	4	10
男 木 "	14	—	—	1	2	2	3	6
鶴 尾 "	28	—	—	1	2	4	7	14
太 田 "	30	—	—	1	2	3	6	18
三 谷 "	34	—	—	1	2	4	7	20
多 肥 "	23	—	—	1	2	3	5	12
仏 生 山 "	22	—	—	1	2	3	5	11
一 宮 "	44	—	—	1	2	5	10	26
川 岡 "	18	—	—	1	2	2	4	9
円 座 "	20	—	—	1	2	2	4	11
檀 紙 "	26	—	—	1	2	3	6	14
木 太 "	25	—	—	1	2	3	5	14
古 高 松 "	45	—	—	1	2	5	10	27
屋 島 "	56	—	—	1	3	5	10	37
前 田 "	32	—	—	1	2	4	7	18
川 添 "	35	—	—	1	2	4	7	21
林 "	30	—	—	1	2	3	6	18
山 田 "	81	—	—	1	4	6	16	54
弦 打 "	20	—	—	1	2	2	4	11
鬼 無 "	29	—	—	1	2	3	6	17
香 西 "	19	—	—	1	2	2	4	10
下 笠 居 "	34	—	—	1	2	4	7	20

消 防 団 員 の 年 齢 状 況

(平成17年4月1日)

区 分	総 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
総 数	753	1	4	26	55	83	157	427
20 歳 未 満	2	—	—	—	—	—	—	2
20 ～ 22 歳	2	—	—	—	—	—	—	2
22 ～ 24	9	—	—	—	—	—	—	9
24 ～ 26	9	—	—	—	—	—	—	9
26 ～ 28	16	—	—	—	—	—	—	16
28 ～ 30	30	—	—	—	—	—	—	30
30 ～ 32	41	—	—	—	—	—	1	40
32 ～ 34	47	—	—	—	—	—	—	47
34 ～ 36	43	—	—	—	—	1	5	37
36 ～ 38	34	—	—	—	—	—	5	29
38 ～ 40	35	—	—	—	—	—	2	33
40 ～ 42	42	—	—	—	—	2	7	33
42 ～ 44	37	—	—	—	2	1	9	25
44 ～ 46	56	—	—	—	—	7	15	34
46 ～ 48	36	—	—	—	1	3	9	23
48 ～ 50	41	—	—	—	1	7	16	17
50 ～ 52	42	—	—	—	2	11	17	12
52 ～ 54	46	—	—	—	1	7	26	12
54 ～ 56	50	—	—	1	10	12	17	10
56 ～ 58	60	—	—	2	15	19	19	5
58 ～ 60	45	—	1	7	13	13	9	2
60 ～ 62	8	—	—	3	5	—	—	—
62 ～ 64	11	—	1	8	2	—	—	—
64 歳 以 上	11	1	2	5	3	—	—	—
平均 年 齢	44.1	67.0	62.3	60.9	56.4	52.5	49.5	37.7

消防団員の勤続年数状況

(平成17年4月1日)

区 分	総 数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
総 数	753	1	4	26	55	83	157	427
1 年 未 満	29	—	—	—	—	—	—	29
1年以上3年未満	84	—	—	—	—	—	—	84
3 ～ 5	58	—	—	—	—	—	1	57
5 ～ 7	49	—	—	—	—	—	3	46
7 ～ 9	50	—	—	—	—	—	2	48
9 ～ 11	56	—	—	—	—	—	4	52
11 ～ 13	45	—	—	—	—	—	9	36
13 ～ 15	69	—	—	—	—	4	35	30
15 ～ 17	58	—	—	—	1	12	23	22
17 ～ 19	34	—	—	—	2	7	13	12
19 ～ 21	45	—	—	2	5	6	25	7
21 ～ 23	43	—	—	1	8	14	19	1
23 ～ 25	32	—	—	1	8	17	6	—
25 ～ 27	19	—	—	1	8	3	4	3
27 ～ 29	23	—	1	5	5	6	6	—
29 ～ 31	12	—	—	4	2	4	2	—
31 ～ 33	8	—	—	—	4	2	2	—
33 ～ 35	7	—	—	2	4	—	1	—
35 ～ 37	13	—	—	2	5	5	1	—
37 ～ 39	9	—	2	3	2	1	1	—
39 ～ 41	4	—	1	1	—	2	—	—
41 ～ 43	1	—	—	1	—	—	—	—
43 ～ 45	3	—	—	2	1	—	—	—
45 ～ 47	1	—	—	1	—	—	—	—
47 年 以 上	1	1	—	—	—	—	—	—
平均勤続年数	13.4	48.0	35.3	31.8	26.7	22.3	17.7	7.1

消 防 団 員 の 報 酬 支 給 状 況

(平成17年4月1日)

区分	単位	金額(円)	支給対象
出 動 報 酬	1人 1回	2,800	4時間以上の火災出動者および水防出動者
		2,400	4時間未満の火災, 訓練等出動者
技 術 報 酬	消防車1人 年	6,950	分団主任機関員
	小型ポンプ 機関員1人 年	3,050	"
年 報 酬	団 長 報 酬	1人 年 151,900	団 長
	副団長 "	" 88,000	副 団 長
	分団長 "	" 63,200	分 団 長
	副分団長 "	" 36,000	副 分 団 長
	部 長 "	" 29,700	部 長
	班 長 "	" 27,500	班 長
	団 員 "	" 25,500	団 員

消 防 団 員 職 業 別 状 況

(平成17年4月1日)

総 数	農 業	漁水 産業	建 設 業	製 造 業	卸飲 ・ 小食 売業	サ ー ビ ス 業	運通 輸信 業業	電水 気道 ・ガ ス業	団 体 職 員	そ の 他
753	43	27	188	97	96	184	36	40	4	38

消 防 団 員 教 養 状 況

区 分	種 別	回 数	日 数	人 員	対 象 者
学 校 教 養	県消防学 新入団員教養	1	1	26	新入団員
	〃 分団幹部教養	1	2	10	班長以上
	〃 専科教育機関科	1	2	6	分団主任機関員
一 般 教 養	消 防 団 機 関 員 教 養	1	1	31	各分団補助機関員
	〃 庶務担当者教養	1	1	29	各分団庶務担当者
	〃 上級幹部教養	1	1	26	部長以上
その他の教養	県消防協会消防団指導員教養	1	2	2	班長以上

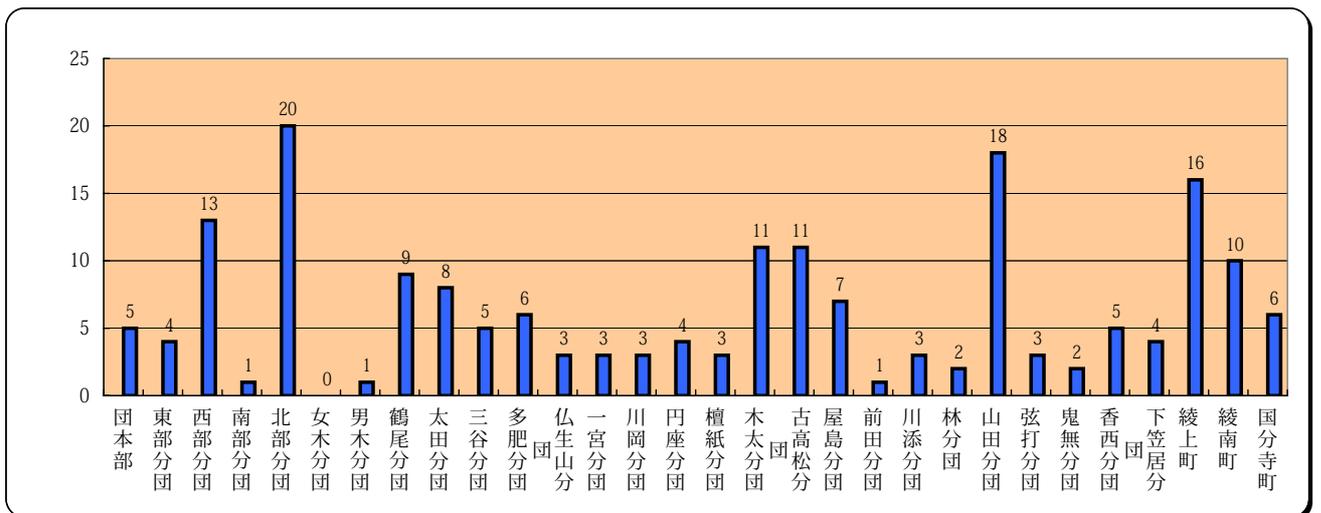
消 防 団 員 表 彰 状 況

(平成16年度)

区 分	総 数	叙 勲	長 官	知 事	市 長	局 長	団 長	日 協 本 会 消 防 長	香 防 川 協 会 長 消 長
総 数	273	—	2	5	54	7	168	13	24
市 政 功 勞	2	—	—	—	2	—	—	—	—
永 年 勤 続 功 勞 章	7	—	2	5	—	—	—	—	—
竿 頭 綬 章	1	—	—	—	—	—	—	1	—
功 績 章	4	—	—	—	—	—	—	1	3
精 積 章	11	—	—	—	—	—	9	2	—
功 勞 章	33	—	—	—	—	—	25	—	8
勤 続 章	22	—	—	—	—	—	—	9	13
優 良 消 防 団 員 章	24	—	—	—	24	—	—	—	—
精 勤 章	111	—	—	—	—	—	111	—	—
優 良 分 団 族 員	7	—	—	—	—	7	—	—	—
優 良 団 員 家 族 員	9	—	—	—	—	—	9	—	—
退 職 団 員	42	—	—	—	28	—	14	—	—

第6表 分団区域別火災発生状況

区 分	火 災 種 別 件 数						焼 損 棟 数					り 災 世 帯			り 災 人 員	死 者	負 傷 者	焼 損 面 積			損 害 額 (千円)	
	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 損	半 損				小 損	建 物 床 面	建 物 表 面		林 野 a
総 計	187	88	16	41		42	110	25	5	29	51	77	18	9	50	191	8	23	2,759	138	32	113,577
団本部	5	5					6			2	4	2		1	1	2		2	5	13		1,581
東部分団	4	3				1	3			2	1	1			1	1		1	17	1		359
西部分団	13	2		10		1	4			2	2	2		1	1	4		1	30	31		1,682
南部分団	1	1					1				1	1			1	3					1	10
北部分団	20	10		10			10		1	4	5	5		3	2	8		2	121	2		7,899
女木分団																						
男木分団	1	1					1	1											150			955
鶴尾分団	9	5		4			8	2	1	3	2	16	6	3	7	32	1	1	194	4		27,885
太田分団	8	4		3		1	7	2		1	4	2			2	5			235	17		7,241
三谷分団	5		1			4										1					1	
多肥分団	6	5				1	8	2	1	5	7	1		6	25				396	1		9,737
仏生山分団	3	2				1	2	1			1	1			1	1			49	1		433
一宮分団	3	2				1	2		1	1		2	1	1		8	1		53			4,583
川岡分団	3	1	1	1			3	3				1	1			1	1		84		1	1,550
円座分団	4	1		1		2	1				1	1			1	2						28
檀紙分団	3	1		1		1	1				1	1			1	5				1		775
木太分団	11	6		3		2	6			2	4	6	1		5	17	5		8	1		3,712
古高松分団	11	5	1	2		3	5	1		2	2	3	1		2	11	3		333	1	5	10,241
屋島分団	7	3	1	2		1	3			1	2	2			2	7		1	14		1	1,208
前田分団	1	1					1	1				1	1			2			110			6,400
川添分団	3	1				2	1				1	1			1	1	1			1		5
林分団	2	1		1			1			1							1			3		56
山田分団	18	9	2	2		5	14	5	5	4	8	3		5	20	2	2		345	51	6	16,003
弦打分団	3	1				2	1				1						1					468
鬼無分団	2	1				1	1				1	1		1	6		1					103
香西分団	5	4				1	4				4	4			4	8				2		61
下笠居分団	4	3	1				4	1	2		1	1			1	2			60		1	1,769
綾上町	16	3	6			7	4	2		1	1	3	1		2	12	2		250	5	11	3,783
綾南町	10	3	2			5	4	4				1	1			1			285		5	4,231
国分寺町	6	4	1	1			4			1	3	4	1		3	7		1	20	2	1	819



消 防 団 活 動 状 況

(平成16年)

区 分	出場回数	出場台数	出場延人数	放水回数	放水延台数
総 数	556	1353	16,359	62	142
火 災 出 場	110	451	4,312	37	57
火災警戒等の出場	56	183	1,792	—	—
訓練その他の出場	258	459	6,880	25	85
水 防 出 場	132	260	3,375	—	—

消 防 自 動 車 等 現 有 状 況

(平成17年4月1日)

区 分	総 数	分 部													
		団 本 部	東 部 分 団	西 部 分 団	南 部 分 団	北 部 分 団	女 木 分 団	男 木 分 団	鶴 尾 分 団	太 田 分 団	三 谷 分 団	多 肥 分 団	仏 生 山 分 団	一 宮 分 団	
総 数	74	3	1	2	1	1	3	2	4	2	5	2	3	3	
指 揮 広 報 車	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
ポ ン プ 車	34	1	1	2	1	1	—	—	1	2	1	2	1	3	
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	6	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	
積 載 車	15	—	—	—	—	—	1	—	1	—	2	—	1	—	
小 型 動 力 ポ ン プ	18	1	—	—	—	—	1	1	1	—	2	—	1	—	
区 分	川 岡 分 団	分 団													
		円 座 分 団	檀 紙 分 団	木 太 分 団	古 高 松 分 団	屋 島 分 団	前 田 分 団	川 添 分 団	林 分 団	山 田 分 団	弦 打 分 団	鬼 無 分 団	香 西 分 団	下 笠 居 分 団	
総 数	1	1	1	2	4	7	3	2	3	10	1	3	1	3	
指 揮 広 報 車	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
ポ ン プ 車	1	1	1	1	1	1	1	2	1	4	1	1	1	1	
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
積 載 車	—	—	—	—	1	2	1	—	1	3	—	1	—	1	
小 型 動 力 ポ ン プ	—	—	—	—	1	3	1	—	1	3	—	1	—	1	

消 防 団 車 両 現 況

(平成17年4月1日)

分団別	名 称	車 番		車 名	定 員	種 別	登 録 年 月 日	性 能 等		小 型 ポ ン プ		無 線 (た か し ょ う)			
		番	号					型 式 等	メ ー カ ー	型 式	メ ー カ ー	呼 出 名	波 数		
団本部	指揮広報車	88	な	6483	ニッサン	5	セダン	H. 7. 6. 26					だん	1	7
	本部車	88	さ	2872	ニッサン	5		S. 57. 9. 27	BD-1	モリタ					
第1方面隊	東 部	88	さ	7569	ニッサン	8		H. 4. 8. 28	BS-1	日 機			だんとうぶ	1	2
	西 部 1 部	800	さ	3427	い す ゞ	8		H. 15. 2. 14	CD-1	モリタ			だんせいぶ	1	2
	西 部 2 部	800	さ	1640	い す ゞ	8		H. 12. 11. 30	CD-1	日 機			だんせいぶ	2	2
	南 部	800	さ	1639	い す ゞ	8		H. 12. 11. 30	CD-1	日 機			だんなんぶ	1	2
	北 部	800	さ	627	い す ゞ	8		H. 11. 12. 15	CD-1	モリタ			だんほくぶ	1	2
	女木東浦	80	あ	1186	ス バ ル	4	全自動	H. 14. 2. 26			B3	ラビット	だんめぎ	1	2
	女木西浦	80	あ	680	ス ズ キ	4	積載車	H. 9. 12. 11			B3	ラビット	だんめぎ (携帯用)	2	2
	男木港	80	あ	778	ダイハツ	2	全自動	H. 10. 11. 27			B3	トーハツ	だんおぎ	1	2
男木山上										C1	ラビット	だんおぎ (携帯用)	2	2	
第2方面隊	鶴尾1部	88	さ	4467	ニッサン	8		S. 62. 7. 2	BS-1	日 機			だんつるお	1	2
	鶴尾2部	88	さ	5405	ト ヨ タ	6	積載車	S. 63. 10. 27			B3	トーハツ	だんつるお	2	2
	鶴尾3部	88	さ	5990	ニッサン	6	全自動	H. 1. 12. 12			B3	ラビット	だんつるお	3	2
	太田1部	88	さ	4078	ニッサン	8		S. 61. 7. 3	BS-1	モリタ			だんおおた	1	2
	太田2部	88	さ	7570	ニッサン	8		H. 4. 8. 28	BS-1	日 機			だんおおた	2	2
	三谷1部	88	さ	7064	ニッサン	8		H. 3. 10. 21	BS-1	日 機			だんみたに	1	2
	三谷2部	88	さ	8723	ト ヨ タ	6	積載車	H. 6. 9. 29			B3	ラビット	だんみたに	2	2
	三谷3部	88	な	1743	ニッサン	6	積載車	S. 55. 7. 25			B3	ラビット	だんみたに	3	2
多肥1部	88	さ	5376	ニッサン	8		S. 63. 10. 6	BS-1	モリタ			だんたひ	1	2	

分団別	名称	車番		車名	定員	種別	登録年月日	性能等		小型ポンプ		無線(たかしょう)		
		番	号					型式等	メーカー	型式	メーカー	呼出名	波数	
第2方面隊	多肥2部	800	さ	4993	いすゞ	8	H17.3.8					だんたひ	2	2
	仏生山1部	88	す	624	トヨタ	8	H.9.3.18	CD-1	モリタ			だんぶっしょうざん	1	2
	仏生山2部	88	な	1222	ニッサン	9	積載車	S.52.8.25		B3	ラビット	だんぶっしょうざん	2	2
第3方面隊	一宮1部	88	さ	5377	ニッサン	8	S.63.10.6	BS-1	モリタ			だんいちのみや	1	2
	一宮2部	88	さ	2571	ニッサン	8	S56.8.18	BS-1	モリタ			だんいちのみや	2	2
	一宮3部	800	さ	2561	いすゞ	8	H.13.12.10	CD-1	モリタ			だんいちのみや	3	2
	川岡	88	さ	8123	ニッサン	8	H.5.8.26	BS-1	日機			だんかわおか	1	2
	円座	88	す	1429	いすゞ	8	H.10.2.9	CD-1	日機			だんえんざ	1	2
	檀紙	88	さ	3166	ニッサン	8	S.58.10.13	BS-1	モリタ			だんだんし	1	2
第4方面隊	木太1部	88	さ	8124	ニッサン	8	H.5.8.26	BS-1	日機			だんきた	1	2
	木太2部	888	さ	5464	ニッサン	6	全自動	S.63.11.28		B3	ラビット	だんきた	2	2
	古高松1部	88	さ	7571	ニッサン	8	H.4.8.28	BS-1	日機			だんふるたかまつ	1	2
	古高松2部	800	さ	4944	トヨタ	6	積載車	H17.3.11		B3	トーハツ	だんふるたかまつ	2	2
	古高松3部	88	さ	4638	トヨタ	7	全自動	S.62.11.30		B3	ラビット	だんふるたかまつ	3	2
	屋島1部	88	さ	8725	トヨタ	6	積載車	H.6.9.29		B3	シバウラ	だんやしま	1	2
	屋島2部									B3	シバウラ			
	屋島3部	800	さ	4058	いすゞ	8	H.15.12.24	CD-1	日機			だんやしま	3	2
	屋島4部	88	さ	8985	トヨタ	6	積載車	H.7.3.13		B3	ラビット	だんやしま	4	2
屋島5部	88	さ	6398	トヨタ	6	全自動	H.2.9.20		B3	シバウラ	だんやしま	5	2	
第5方面隊	前田1部	88	さ	9432	トヨタ	6	積載車	H.7.10.20		B3	シバウラ	だんまえだ	1	2
	前田2部	88	さ	8122	ニッサン	8	H.5.8.26	BS-1	日機			だんまえだ	2	2
	川添1部	88	さ	3460	ニッサン	8	S.59.9.25	BS-1	モリタ			だんかわぞえ	1	2

分団別	名称	車 両 号			車 名	定 員	種 別	登 録 年 月 日	性 能 等		小 型 ポ ン プ		無 線 (た か し ょ う)		
		車 番	番 号	号					型 式 等	メーカ	型 式	メーカ	呼 出 名	波 数	
第 5 方 面 隊	川 添 2 部	88	さ	6494	ニッサン	7		H. 2.11.19	BS-1	モリタ			だんかわぞえ	2	2
	林 1 部	88	さ	7062	ニッサン	8		H. 3.10.21	BS-1	日 機			だんはやし	1	2
	林 2 部	88	な	2003	ニッサン	6	積載車	S.57. 7. 9			B3		だんはやし	2	2
	山 田 1 部	88	す	1430	い す ゞ	8		H.10. 2. 9	CD-1	日 機			だんやまだ	1	2
第 5 方 面 隊	山 田 2 部	88	さ	7063	ニッサン	8		H. 3.10.21	BS-1	日機			だんやまだ	2	2
	山 田 3 部	88	さ	3801	ニッサン	8		S.60. 9.26	BS-1	モリタ			だんやまだ	3	2
	山 菅 田 3 部 沢	88	さ	8724	ト ヨ タ	6	積載車	H. 6. 9.29			B3	ラビット	だんやまだ	6	2
	山 田 3 部 城	88	さ	4213	ニッサン	6	積載車	S.61.11.18			B3	トーハツ			
	山 田 4 部	800	さ	628	い す ゞ	8		H.11.12.15	CD-1	モリタ			だんやまだ	4	2
	山 神 田 4 部 内	800	さ	3856	ト ヨ タ	6	積載車	H.15.11.14			B3	トーハツ	だんやまだ	5	2
第 6 方 面 隊	弦 打	88	さ	6046	ニッサン	7		H. 2. 1.25	BS-1	日機			だんつるうち	1	2
	鬼 無 1 部	88	さ	6496	ニッサン	7		H. 2.11.19	BS-1	モリタ			だんきなし	1	2
	鬼 無 2 部	88	さ	5854	ニッサン	6	積載車	H. 1. 9.11			B3	トーハツ	だんきなし	2	2
	香 西	88	さ	6495	ニッサン	7		H. 2.11.19	BS-1	モリタ			だんこうざい	1	2
	下 笠 居 1 部	88	さ	4466	ニッサン	8		S.62. 7. 2	BS-1	日機			だんしもかさい	1	2
	下 笠 居 2 部	88	さ	3802	ニッサン	6	積載車	S.60. 9.26			B3	ラビット	だんしもかさい	2	2

消 防 団 屯 所 状 況

(平)

番号	分 団 名	所 在 地	敷地面積	建築年月日	延面積	構 造
1	東 部	観光通2-9-15	61.53	S56.3.31	43.03	RC2階
2	西 部 1 部	番町2-19-12	213.30	H13.3.31	136.08	RC2階
3	西 部 2 部	瀬戸内町49-14	117.30	S52.10.26	47.31	木造平家スレート
4	南 部	栗林町2-10-46	95.86	S61.3.31	44.34	RC平家
5	北 部	松福町1-20-9	53.48	S35.10.30	117.02	RC2階
6	女 木 東 浦	女木町2938-1	144.00	H7.3.31	60.13	RC平家
7	女 木 西 浦	女木町西浦漁港内	24.00	S61.5.19	17.82	ブロック平家
8	男 木 港	男木町133-2		S59.3.14	31.56	RC平家一部ブロック造
9	男 木 山 上	男木町1903	30.00	S49.3.30	10.00	ブロック平家
10	鶴 尾 1 部	田村町264-4	209.21	H4.3.31	62.45	RC平家
11	鶴 尾 2 部	勅使町898-3	110.37	S57.12.16	41.69	RC平家
12	鶴 尾 3 部	田村町753-1		S54.9.19	49.99	RC平家
13	太 田 1 部	太田上町1045-2		S57.3.29	41.61	RC平家
14	太 田 2 部	伏石町1120-3	305.00	H15.3.26	71.31	鉄筋コンクリート
15	三 谷 1 部	三谷町161-1		S54.3.26	41.61	鉄骨ブロック平家
16	三 谷 2 部	三谷町3151-9	99.07	S60.3.30	41.84	RC平家
17	三 谷 3 部	三谷町4561-8	182.85	H17.3.11	61.31	RC平家
18	多 肥 1 部	多肥上町819-3	240.21	S59.3.31	51.36	RC平家
19	多 肥 2 部	多肥上町1843-3	182.00	H16.3.11	65.81	RC平家
20	仏 生 山 1 部	仏生山町甲2528-16	357.33	S62.3.31	52.12	RC平家
21	仏 生 山 2 部	仏生山町甲1011-5	168.00	H17.3.10	61.31	RC平家
22	一 宮 1 部	一宮町834-7	398.33	H13.3.30	67.37	RC平家
23	一 宮 2 部	鹿角町375-1	91.46	S55.3.31	41.61	鉄骨ブロック平家
24	一 宮 3 部	一宮町97-6	146.55	S52.10.26	48.86	木造スレート瓦平家, 車庫鉄板
25	川 岡	川部町1649-1	142.00	S63.3.31	60.89	RC2階
26	円 座	円座町1626-7	149.00	H6.3.30	68.95	RC平家
27	檀 紙	檀紙町777-10	154.19	H4.3.12	64.65	RC2階
28	木 太 1 部	木太町3497-1		S47.10.16	81.16	木造スレート平家
29	木 太 2 部	木太町2558	137.27	S55.3.29	56.28	鉄骨ブロック平家

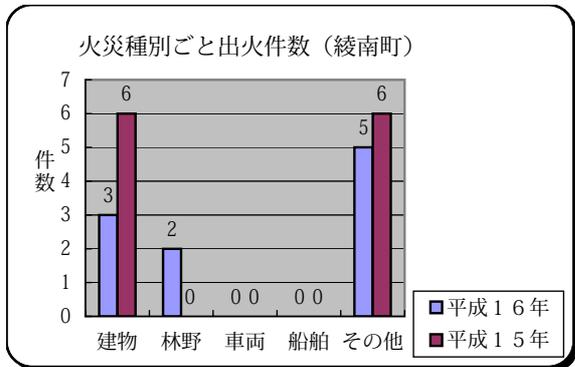
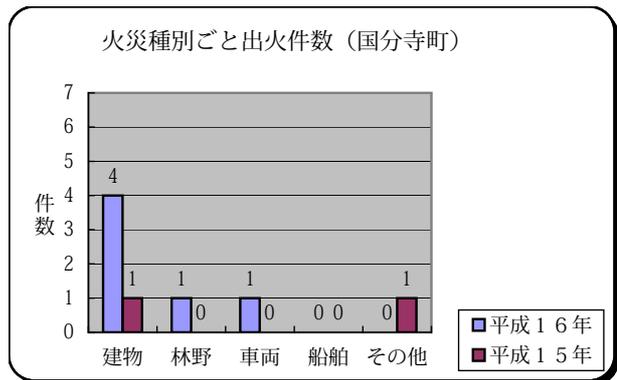
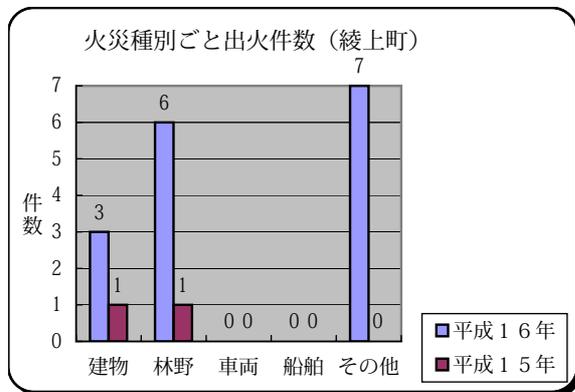
30	古高松1部	高松町91-7(東消防署)	788.62	S54.3.31	828.05	RC3階
31	古高松2部	新田町甲923-4	155.3	S60.3.30	45.11	RC平家
32	古高松3部	春日町1591-4	79.46	S50.5.24	129.8	鉄骨ブロック2階
33	屋島1部	屋島西町299-1	80.00	S57.12.16	43.20	RC2階
34	屋島2部	屋島東町1808	12.00	S55.2.22	8.43	鉄骨スレート平家
35	屋島3部	屋島西町1584-4	52.13	S53.12.15	45.22	鉄骨ブロック平家
36	屋島4部	屋島東町1554-4	137.68	H7.3.24	60.68	RC2階
37	屋島5部	屋島東町528	111.80	H2.3.30	60.68	RC2階
38	前田1部	亀田町172-7	100.00	S55.12.16	41.61	RC平家
39	前田2部	前田西町2-8	99.40	S59.3.31	61.64	RC2階
40	川添1部	元山町975-9	93.41	S62.3.31	54.23	RC2階
41	川添2部	下田井町327-1	48.27	S58.3.31	52.52	RC2階
42	林1部	林町177-6	99.98	S55.3.31	41.61	鉄骨ブロック平家
43	林2部	上林町408-5	99.82	S61.3.31	41.83	RC平家
44	山田1部	由良町542-4	225.58	H1.3.31	61.02	RC平家
45	山田2部	十川西町575-2	120.02	S53.11.27	41.61	鉄骨ブロック平家
46	山田3部	東植田町2026-12	133.76	H6.3.31	60.11	RC平家
47	山田菅沢	菅沢町字宮ノ谷338-1	1257.00	H12.3.31	87.60	RC平家
48	山田城	東植田町3442	10.85	S56.2.20	7.82	ブロック平家
49	山田4部	西植田町字中塚3039-2	472.24	H12.3.31	66.55	RC平家
50	山田神内	西植田町7972-4	128.99	S61.3.24	44.57	RC平家
51	弦打	鶴市町651-5	138.38	H2.3.31	60.68	RC平家
52	鬼無	鬼無町佐藤31-3	289.05	S53.9.30	72.10	鉄骨ブロック平家
53	香西	香西西町190-8	81.67	S56.12.12	44.79	RC平家
54	下笠居1部	生島町345-2	52.00	S45.5.1	62.05	鉄骨ブロック2階
55	下笠居2部	亀水町458-1	120.20	S52.10.31	41.61	木造スレート平家
56	消防山田倉庫	西植田町3034-6	78.04	S56.12.7	37.78	RC平家

受 託 消 防

(2) 受託3町

区 分	平成16年			平成15年			増 減		
	綾上町	綾南町	国分寺町	綾上町	綾南町	国分寺町	綾上町	綾南町	国分寺町
出火件数(件)	16	10	6	2	12	2	14	▲ 2	4
建 物	3	3	4	1	6	1	2	▲ 3	3
林 野	6	2	1	1			5	2	1
車 両			1						1
船 舶									
その他	7	5			6	1	7	▲ 1	▲ 1
焼損棟数(棟)	4	4	4	1	6	1	3	▲ 2	3
全 焼	2	4		1	1	1	1	3	▲ 1
半 焼					2			2	
部分焼	1		1		1		1	1	1
ぼ や	1		3		2		1	2	3
り災世帯(世帯)	3	1	4	1	4	1	2	▲ 3	3
全 損	1	1	1	1	1	1			
半 損					1			1	
小 損	2		3		2		2	2	3
り災人員(人)	12	1	7	2	13	5	10	▲ 12	2
死 者(人)									
傷 者(人)	2		1		1		2	▲ 1	1
建物焼損床面積(m ²)	250	285	20	92	442	103	158	▲ 157	▲ 83
建物焼損表面積(m ²)	5		2		17		5	▲ 17	2
林野焼損面積(a)	11	5	1	4			7	5	1
損害額(千円)	3,783	4,231	819	1,689	13,931	7,780	2,094	▲ 9,700	▲ 6,961
建 物	3,782	4,231	809	1,689	13,931	7,780	2,093	▲ 9,700	▲ 6,971
林 野									
車 両			10						10
船 舶									
その他	1						1		
爆 発									
出 火 率	22.9	5.0	2.5	2.9	6.4	1.0	20.0	▲ 1.4	1.5

(注) 出火率は人口1万人当たりの出火件数を示し、算出入口は各年とも12月1日現在の住民基本台帳による。



高松市・受託町別活動状況

(平成17年4月1日)

区 分	出 場 件 数				搬 送 人 員				
	合 計	綾 上 町	綾 南 町	国 分 寺 町	合 計	綾 上 町	綾 南 町	国 分 寺 町	
合 計	1440	262	551	627	1346	234	507	605	
火 災	31	14	11	6	2	1	—	1	
自 然 災 害	7	5	—	2	5	4	—	1	
水 難	1	—	1	—	1	—	1	—	
交 通 事 故	238	29	81	128	245	28	78	139	
労 働 災 害	15	7	6	2	14	6	6	2	
運 動 競 技	9	1	6	2	9	1	6	2	
一 般 負 傷	181	40	71	70	175	39	68	68	
加 害 事 故	8	1	2	5	9	1	2	6	
自 損 事 故	14	2	7	5	9	2	4	3	
急 病	768	154	259	355	726	145	243	338	
そ の 他	転 院 搬 送	149	7	98	44	148	7	97	44
	医 師 搬 送	1	—	1	—	—	—	—	—
	資 器 材 搬 送	—	—	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	18	2	8	8	3	—	2	1

消 防 水 利 状 況

(平成17年4月1日)

1. 消火栓現況と管径別状況 (公設)

区 分	総数	50mm	75mm	100mm	125mm	150mm	200mm	250mm	300mm	350mm
綾歌東部分署	301	6	146	54	-	49	35	8	2	1
国分寺出張所	363	4	241	82	2	28	5	1	-	-

2. 防火水そうの現況 (公設)

区 分	40m ³ 以上	40m ³ 未満
綾歌東部分署	30	3
国分寺出張所	60	6

消 防 年 報

平成 16 年度版

編 集 高松市消防局総務課

〒 760-0005

高松市宮脇町 1 丁目 2 番 3 4 号

TEL (087) 861-2502

FAX (087) 861-2504